
まちづくりに関する市民意向調査結果
一 報 告 書 一

平成 25 年 1 月
小 牧 市

まちづくりに関する市民意向調査結果 報告書

目 次

I	調査の概要	I-1
II	調査結果の要旨	II-1
III	調査の結果	III-1
1	回答者の属性【問 1～10】	III-1
2	市政全般に対する満足度・重要度【問 11～14】	III-5
	(1) 施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」	-5
	(2) 今後最も優先して実施すべき施策	-17
	(3) 総合的にみた小牧市の住みよさ	-19
	(4) 現在及び今後の小牧市のイメージ	-21
3	今後の定住意向【問 15】	III-25
	(1) 今後の定住意向	-25
	(2) 「今後も暮らしたい」「暮らしたいとは思わない」理由	-27
4	中心市街地の活性化【問 16～18】	III-33
	(1) 現在の中心市街地全体の印象	-33
	(2) 今後、中心市街地が目指すべき姿	-35
	(3) 中心市街地への定住意向	-37
5	個別のまちづくり課題【問 19～28】	III-39
	(1) ごみの減量	-39
	(2) 環境	-41
	(3) 景観	-43
	(4) 子育て支援	-45
	(5) 高齢社会の対策	-47
	(6) 生き方	-49
	(7) 教育	-51
	(8) 外国人との共生	-53
	(9) 産業	-55
	(10) 行財政改革	-57
6	市民参画・協働のまちづくり【問 29～34】	III-59
	(1) 市民参画・協働への意向	-59
	(2) 市民意見の市政への反映	-67
	(3) 地域活動の状況	-69
	(4) 公共サービスの提供に対する協力の意向	-70
	(5) 参加したい市民活動や地域活動の内容	-71
	(6) 市民活動や地域活動への参加状況	-73

(7) 参加している又は参加しようと思っている活動の内容-----	-75
(8) 活動に参加しようと思わない理由-----	-77
7 行政サービス【問 35・36】-----	Ⅲ-79
(1) 窓口サービスの利便性向上のための対応策-----	-79
(2) 行政サービスと市民負担のバランス-----	-81

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、小牧市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や、今後力を入れるべき施策等について、市民の意向を把握し、「第6次小牧市総合計画 後期基本計画」の策定に向けた重要な基礎情報の1つとして活用することを目的としています。

2 調査の実施方法・期間

(1) 調査の対象者

小牧市に住民登録している満18歳以上（生年月日が平成6年3月31日以前）の市民の中から、無作為抽出した3,000人（※外国人市民150人を含む）

(2) 調査の実施方法

郵送による調査票の配布・回収

(3) 調査の実施期間

平成24年7月23日（月）～8月6日（月）

(4) 回収状況

回収数1,189票（※外国人市民14票を含む）、回収率39.6%

3 質問の構成

【問1～10】回答者の属性

【問11～14】市政全般に対する満足度・重要度

【問15】今後の定住意向

【問16～18】中心市街地の活性化

【問19～28】個別のまちづくり課題

【問29～34】市民参画・協働のまちづくり

【問35・36】行政サービス

【その他】市政全般に対する自由意見

4 報告書を読む際の注意事項

(1) 集計方法

○回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。

○年代別のクロス集計のうち、10歳代（18・19歳）は回答者数が少ないため、本集計の結果が小牧市における当該年代の傾向とは、必ずしも合致しない場合があります。

(2) 単純集計結果の補正

- 一般に年代を特定せず広く住民を対象に実施するアンケート調査では、年代別の回収率にバラつきが生じ、単純集計の結果には、回収率の高い年代の意向が色濃く反映されることとなります。
- 本調査では、回収率の高い年代の意向を適正に反映できるよう、単純集計に関しては、対象者を抽出した際の住民基本台帳の年代別人口構成比に基づき、回答結果を補正しています。具体的な補正方法は、以下に示す通りです。

- ①対象者抽出時の住民基本台帳に基づき、年代別人口構成比を算出
- ②本調査の「問2 あなたの年齢」の回答結果に基づく、年代別人口構成比を算出
- ③上記①を②で除した年代別補正係数を算出

表－1 年代別補正係数

年代	人口構成比(%)		③補正係数 (①/②)
	①住民基本台帳	②回答結果	
18・19歳	2.5	0.8	3.30
20歳代	14.9	9.9	1.50
30歳代	18.7	14.0	1.33
40歳代	17.7	15.0	1.18
50歳代	13.6	15.6	0.87
60歳代	16.9	24.2	0.70
70歳以上	15.8	20.6	0.77

- ④各質問における年代別の回答実数に、上記③で算出した年代別補正係数を乗じて年代別の回答実数を補正
- ⑤上記④で補正した年代別の回答実数を全年代で合計

(3) 集計結果の端数処理

- 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積上げたパーセントの合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- 回答比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。（※複数回答を除く）

(4) その他

- 一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれています。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数3,000人（回収数1,189人）は、統計上有効な数値であると考えられます。
- 本文及び図表において、回答選択肢の表記が長いものに関しては、適宜、表記を一部簡略化しています。

Ⅱ 調査結果の要旨

主要な質問事項に関する調査結果の要旨は、以下の通り整理することができます。

◆市政全般に対する満足度・重要度

－今後のまちづくりでは、特に防犯・防災対策や 公共交通、医療体制の充実が望まれている－

- 全体的にみた市の取組の評価は、「満足（回答比率 2.6%）」と「まあ満足（37.5%）」を合わせた「満足」が 40.1%で、「やや不満（10.1%）」と「不満（2.9%）」を合わせた「不満」の 13.0%を大きく上回っています。
- 総合的にみた小牧市の住みよさでは、「住みよい（22.1%）」と「どちらかといえば住みよい（60.8%）」の合計が 82.9%であり、前回調査の 75.9%から 7ポイント増加しています。
- 今後望ましい小牧市のイメージでは、「防災・防犯体制が整ったまち」が 42.7%で最も高く、次いで「鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち」の 37.8%、「市民病院などの医療施設が充実しているまち」の 27.8%の順となっています。
- 今後最も優先して実施すべき施策では、「地震や風水害などの防災対策の充実」が 35.0%で最も高く、以下、「医療体制の充実」の 33.0%、「鉄道・バスなどの公共交通の充実」の 31.8%、「高齢者への福祉サービスの充実」の 25.1%、「地域の安全対策・防犯対策」の 22.8%の順となっています。

◆今後の定住意向

－「今後も暮らしたい」は 79.0%であり、前回調査から 2.5ポイント増加－

- 「今後も暮らしたい」が 79.0%、「暮らしたいとは思わない」が 16.1%となっています。前回調査と比べ、「今後も暮らしたい」は 2.5ポイント増加、「暮らしたいとは思わない」は 4.7ポイント減少しています。
- 今後も暮らしたい理由では、「災害が少ない」が 50.8%で最も高く、次いで「愛着がある」の 38.8%、「学校や仕事、家族の都合」の 37.7%の順、また、暮らしたいとは思わない理由では、「交通の便が悪い」が 85.5%で突出しています。

◆中心市街地の活性化

－中心市街地が目指すべき姿では、「買い物を楽しめる市街地」と 「公共交通機関が利用しやすい市街地」が望まれている－

- 現在の中心市街地全体の印象は、「良い（2.1%）」と「まあ良い（29.3%）」が合計 31.4%で、「やや悪い（32.1%）」と「悪い（15.7%）」の合計 47.8%を大きく下回っています。
- 今後、目指すべき姿では、概ねいずれの年代も第1位が「買い物を楽しめる市街地」、第2位が「公共交通機関が利用しやすい市街地」となっています。また、住んで良かった・住みたい理由では、買い物や公共交通機関の利便性、医療機関の近さを挙げる回答が多くなっています。

◆個別のまちづくり課題

- ごみの減量を進めていくために必要なことでは、「資源を出せる場所（資源回収ステーション等）を増やす」が48.0%で最も高くなっています。また、前回調査と比べ、「ごみの減量に関する情報の提供を充実させる」が33.7%から38.9%に増加しています。
- 地球温暖化防止に配慮した行動を普及させるために力を入れるべきことでは、「再生可能エネルギーの活用に対して補助などを行って支援する」が58.3%で突出しています。
- 日常の子育てを楽しく、安心して行うために特に注力すべきことでは、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も高くなっています。また、20歳代は「子育て中の親同士の仲間づくり」、30・40歳代は「親のリフレッシュの場や機会の提供」が他の年代に比べ高くなっています。
- 本格的な高齢社会の到来に向け特に注力すべきことでは、30歳代～50歳代は「高齢者が働く場を拓げる」、60歳代・70歳以上は「老人ホームなどの福祉施設や在宅介護などのサービスを充実する」が最も高くなっています。
- 市の産業を振興し、活性化させるために必要なことでは、30歳代以上はいずれも第1位が「市内企業の操業継続・事業拡大などの支援や起業の支援などによる産業の育成・強化」、第2位が「先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特性を活かした産業の集積・形成」となっています。

◆市民参画・協働のまちづくり

－「今後のまちづくりに市民の参画や協働が必要と感じている」が8割強－

- これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要かでは、「そう思う（28.6%）」と「ややそう思う（53.8%）」が合計82.4%となっています。
- 自分の持つ知識や経験、あるいは時間的なゆとりを活かして公共サービスの提供について、「協力してもいいと思う」が最も高いのは20歳代の58.1%、最も低いのは70歳以上の44.0%であり、概ね若い年代の方が回答比率が高い傾向となっています。
- 参加したい市民活動や地域活動の内容について、40歳代以下では「子育て支援活動」、50・60歳代では「まちに緑や花を増やす美化活動」が最も高くなっています。
- 現在の市民活動や地域活動への参加状況について、「既に参加している」と「参加しようと思っている」の合計は、20歳代が25.6%であるのに対し、70歳以上は31.7%と若い年代ほど低い傾向となっています。

◆行政サービス

－行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、 財源を生み出すべきが約4割を占める－

- 窓口サービスの利便性向上のための対応策では、50歳代以下は「休日や時間外のサービスを充実する」、60歳代は「庁舎内窓口の一元化を進め、関連のあるサービスを一箇所で受けられるようにする」、70歳以上は「各支所で受けられるサービスを充実する」が最も高くなっています。
- 行政サービスと市民負担のバランスについて、30歳代～60歳代は「行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生み出すべき」がいずれも40%台で最も高くなっています。

Ⅲ 調査の結果

1 回答者の属性【問1～10】

<概要>

○年齢では、「60歳代」が24.1%で最も多く、以下、「70歳以上」の20.4%、「50歳代」の15.5%の順であり、これらを合計した「50歳以上」が全体の6割を占めており、若い年代ほど少ない傾向です。

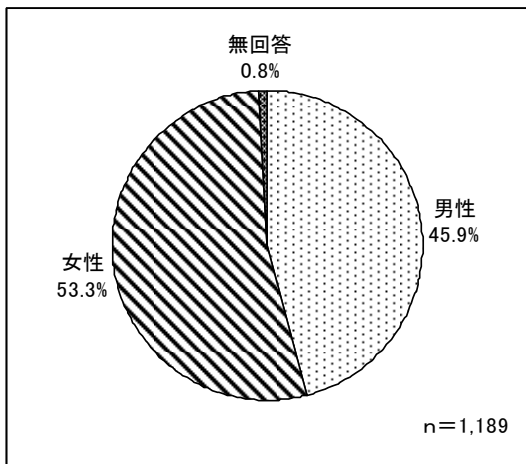


図3-1-1 性別

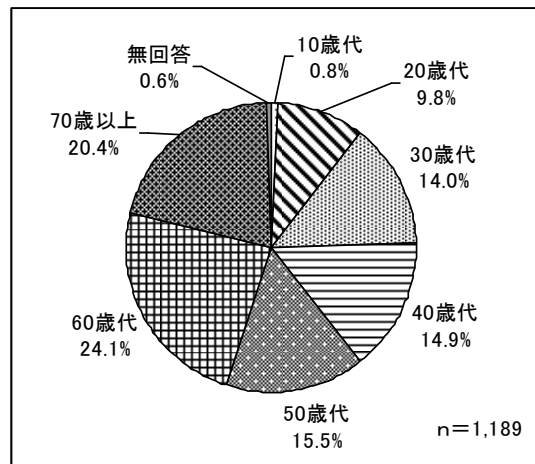


図3-1-2 年齢

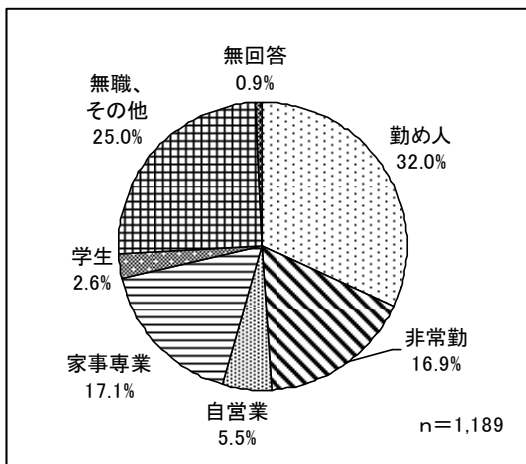


図3-1-3 職業

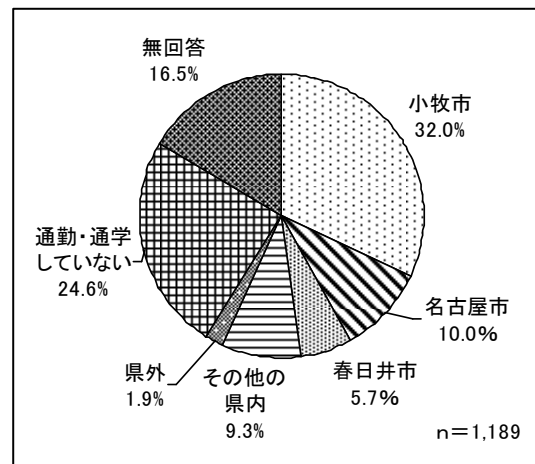


図3-1-4 通勤・通学先

○市外から市内への引っ越し経験の有無では、「ある」が約6割を占め、そのうちの74.5%が「県内の他市町村から引っ越しをした」と回答しています。

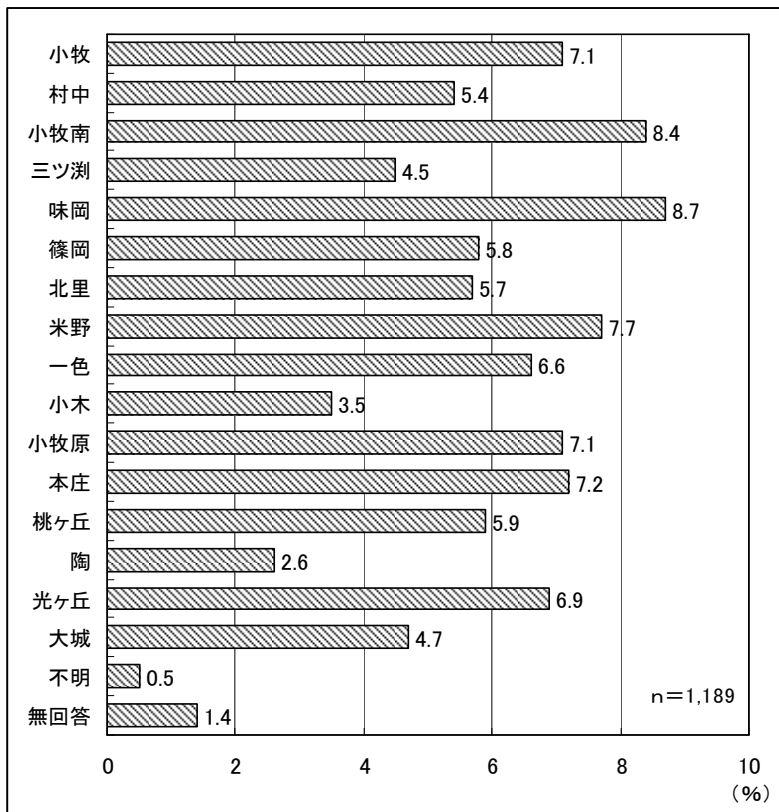


図3-1-5 居住地 (小学校区)

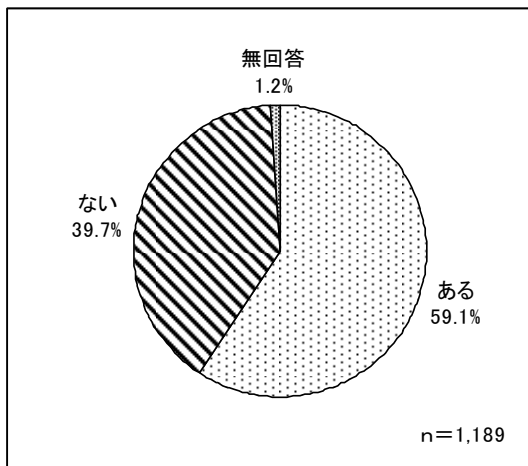


図3-1-6 市外から市内への引っ越し経験の有無

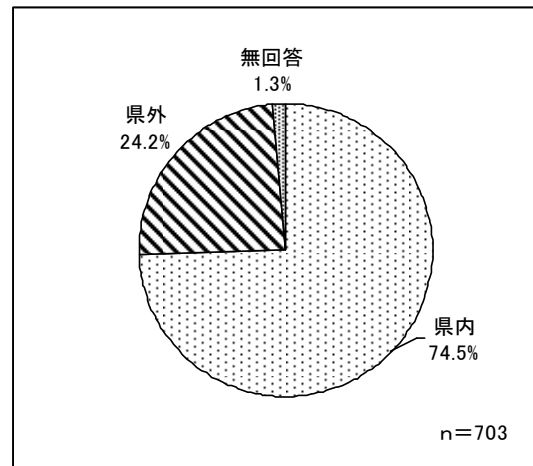


図3-1-7 市内に引っ越す以前の居住先

○市内に引っ越しをした理由では、「市内に土地や家屋があるため」が24.3%で最も多く、「転勤など仕事の事情」が19.6%でこれに次いでいます。

○居住年数では、「20年以上」が71.3%で最も多く、「5年以上」が約9割を占めています。

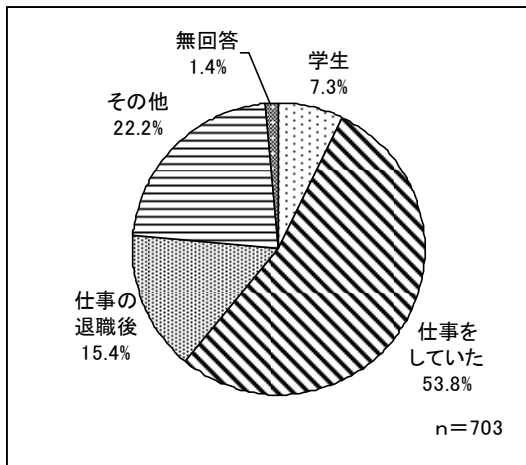


図3-1-8 市内に引っ越した時の状況

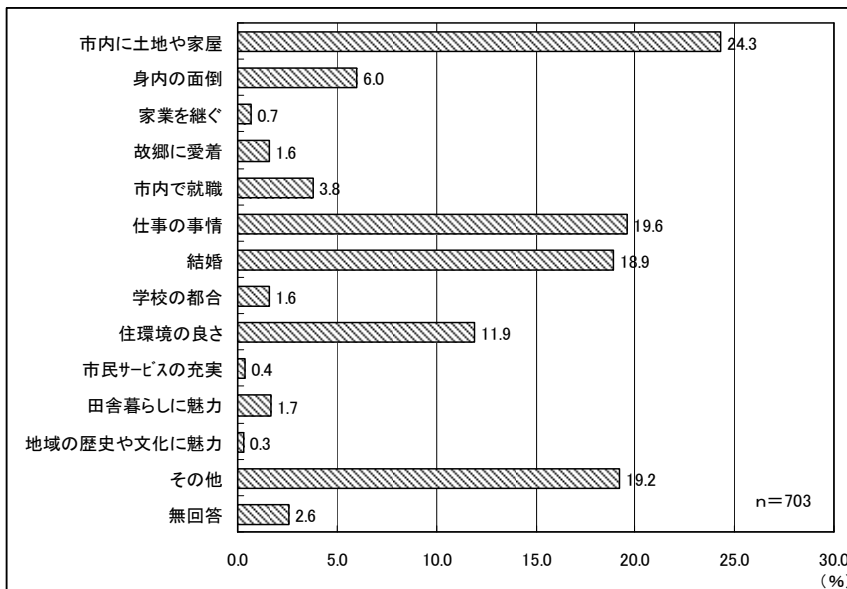


図3-1-9 市内に引っ越しをした理由

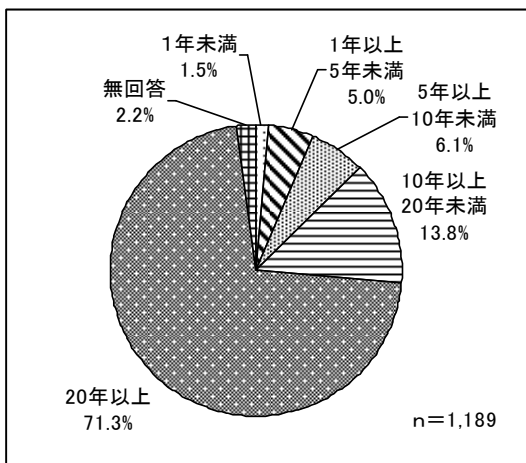


図3-1-10 居住年数

2 市政全般に対する満足度・重要度【問11～14】

(1) 施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

問11) 小牧市が取り組んでいる以下の施策（基本的取組）に関して、「①現在の満足度」と「②今後の重要度」をうかがいます。回答例にならって、日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

①現在の満足度

一満足度では水道水や下水道など水環境に関わる施策、
不満度では公共交通や道路など交通に関わる施策が高い一

- 「満足」と「まあ満足」の合計（以下「満足度」という。）が最も高いのは、「水道水の安定供給」の67.7%であり、以下、「ごみの処理やリサイクルの推進」の64.3%、「し尿処理・下水道などの衛生対策」の54.4%、「予防接種や健康診断などの各種保健サービスの充実」の54.0%、「消防体制・救急体制の充実」の53.4%の5施策で満足度が5割を超えています。
- 一方、「やや不満」と「不満」の合計（以下「不満度」という。）では、「鉄道・バスなどの公共交通の充実」が49.4%で突出して高く、次いで「歩道や道路の整備」の33.3%、「地域の安全・防犯対策」の30.8%の順であり、交通関連の施策で不満度の高さが目立つ状況にあります。

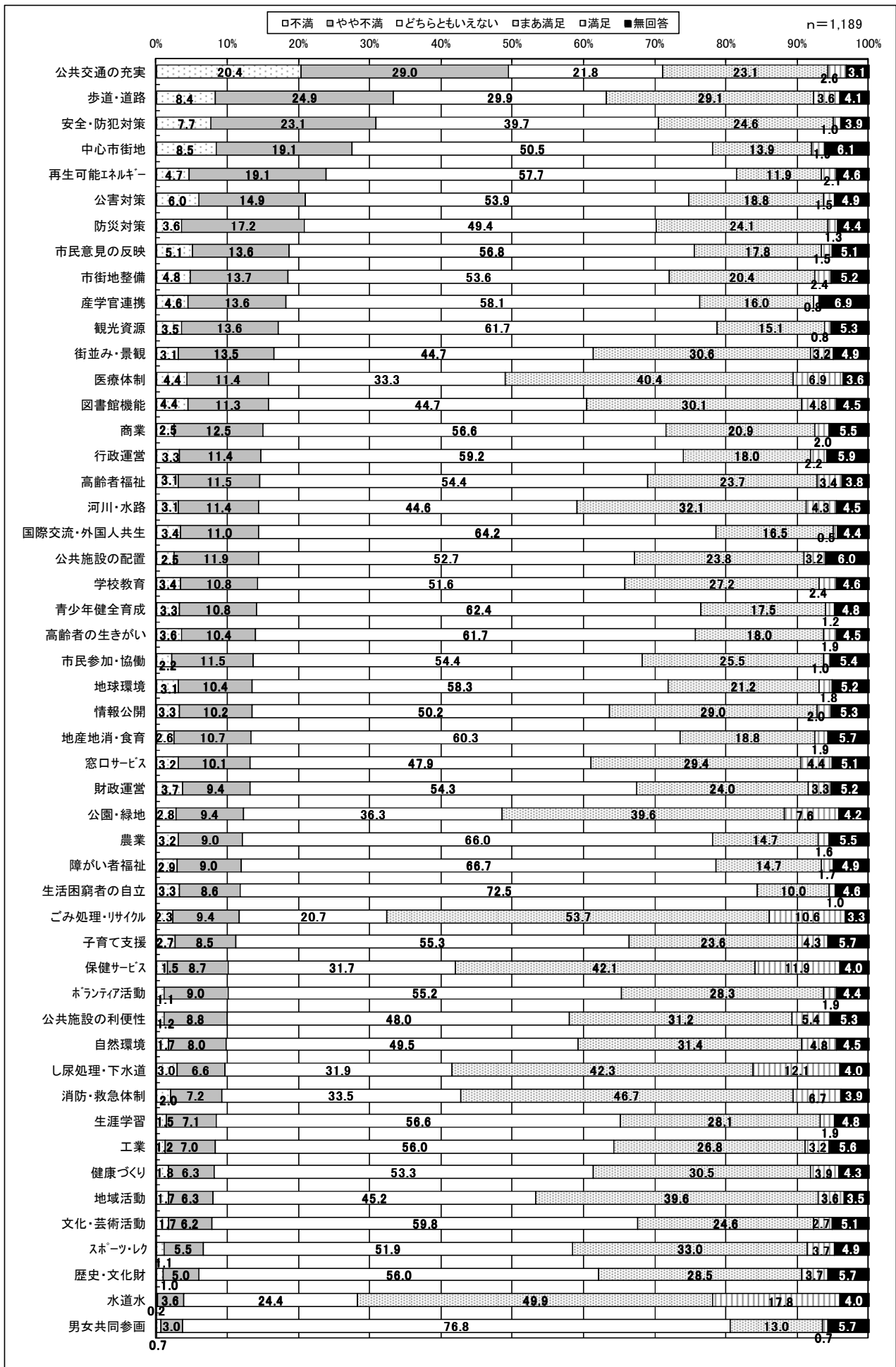


図3-2-1 小牧市が取り組んでいる施策に対する現在の満足度

②今後の重要度

－医療体制や防犯・防災対策の充実など、 日々の暮らしの安全・安心に関わる施策の重要度が高い－

- 「重要」と「まあ重要」の合計（以下「重要度」という。）が最も高いのは、「医療体制の充実」の85.2%であり、以下、「消防体制・救急体制の充実」の83.5%、「地域の安全対策・防犯対策」の83.3%、「地震や風水害などの防災対策」の81.7%の順であり、暮らしの安全・安心に関わる施策が上位を占めているのが特徴的といえます。
- 一方、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計が最も高かったのは、「国際交流や外国人との共生」の7.4%であり、次いで「スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実」の7.1%、「男女共同参画社会の推進」の6.7%の順となっています。

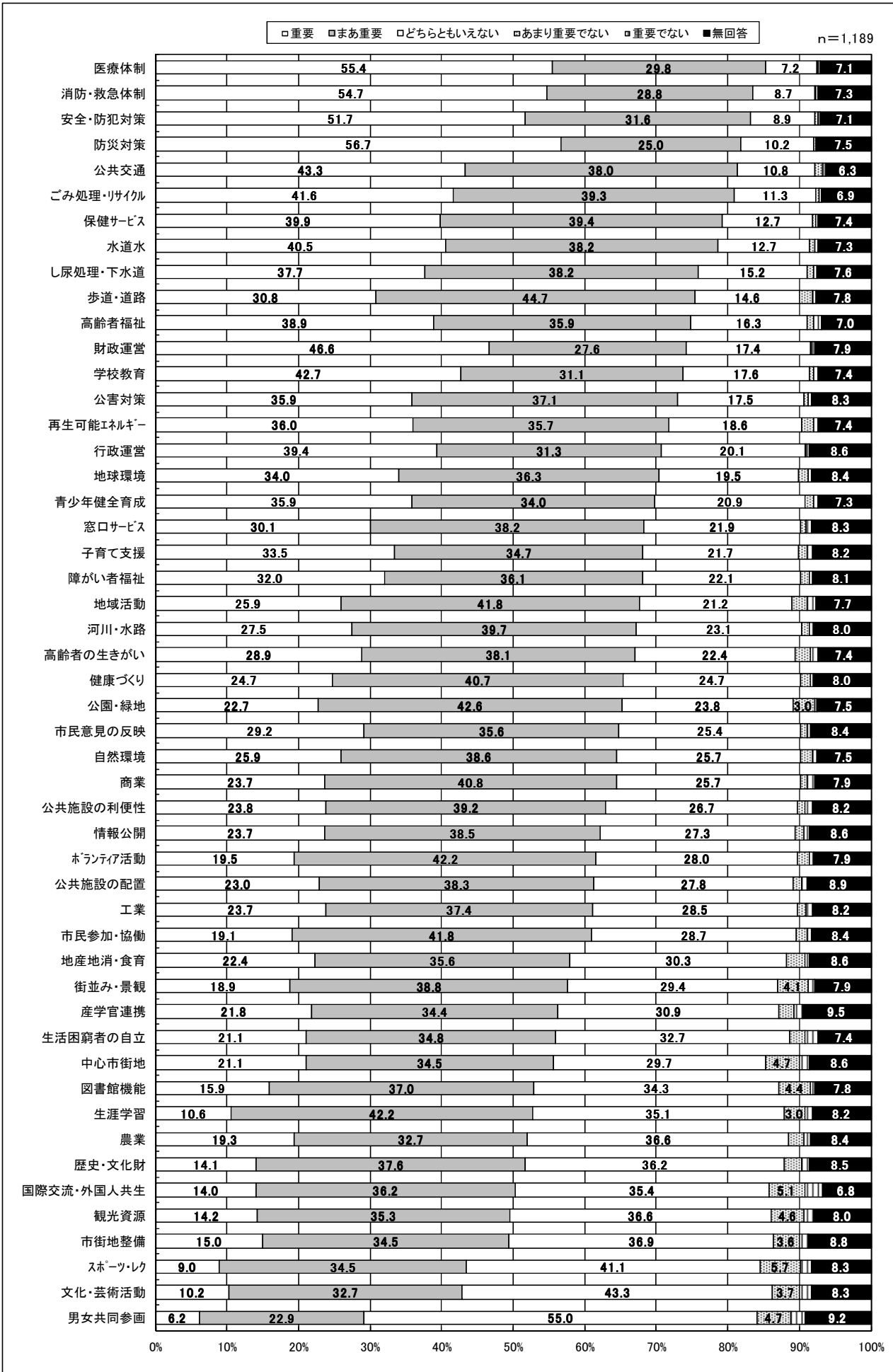


図 3-2-2 小牧市が取り組んでいる施策に対する今後の重要度

③加重平均値による評価

ー現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策では、

防災・防犯対策、公共交通、医療体制の充実が目立つー

- 「加重平均値」とは、全 50 施策を対象に、満足度と重要度の水準を相対的に可視化するため、満足度・重要度の各々の段階に一定の重み（得点）を設定し、重みを考慮した平均値を算出することを表します。
- 具体的には、次表に示すように満足度・重要度の 5 段階に各々 2 点、1 点、0 点、-1 点、-2 点という得点を設定します。例えば、5 段階各々に回答した人数が w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、加重平均値は以下の式で算出できます。

$$\text{加重平均値} = \frac{2 \text{点} \times w_1 + 1 \text{点} \times w_2 + 0 \text{点} \times w_3 + (-1 \text{点}) \times w_4 + (-2 \text{点}) \times w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$

表 3-2-1 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	2 点	重要	2 点
まあ満足	1 点	まあ重要	1 点
どちらともいえない	0 点	どちらともいえない	0 点
やや不満	-1 点	あまり重要でない	-1 点
不満	-2 点	重要でない	-2 点

○さらに、横軸に「現在の満足度」の加重平均値、縦軸に「今後の重要度」の加重平均値を配置した 2 軸分析によって、市民の視点から見た今後の施策の方向性を相対的に明らかにします。

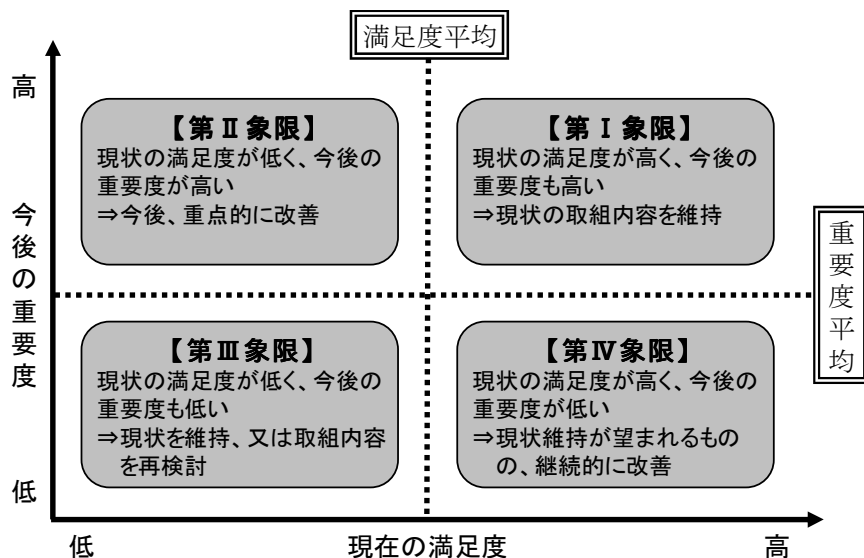


図 3-2-3 「現在の満足度」と「今後の重要度」の 2 軸分析イメージ

【結果のまとめ】

<第Ⅰ象限>

- 「医療体制の充実」「予防接種や健康診断など各種保健サービスの充実」といった医療・保健に関わる施策や、「水道水の安定供給」「し尿処理・下水道などの衛生対策」など水環境に関わる施策が目立ちます。

<第Ⅱ象限>

- 「地震や風水害などの防災対策」「地域の安全対策・防犯対策」といった暮らしの安全・安心に関わる施策や、「鉄道・バスなどの公共交通の充実」といった交通関連の施策が目立ちます。

<第Ⅲ象限>

- 「中心市街地の活性化」「観光資源の整備や活用」といった産業振興分野の施策が目立ちます。

<第Ⅳ象限>

- 「生涯学習の場や機会の充実」「図書館機能の強化」「スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実」など、市民の余暇活動に供する施策が比較的多く挙げられています。

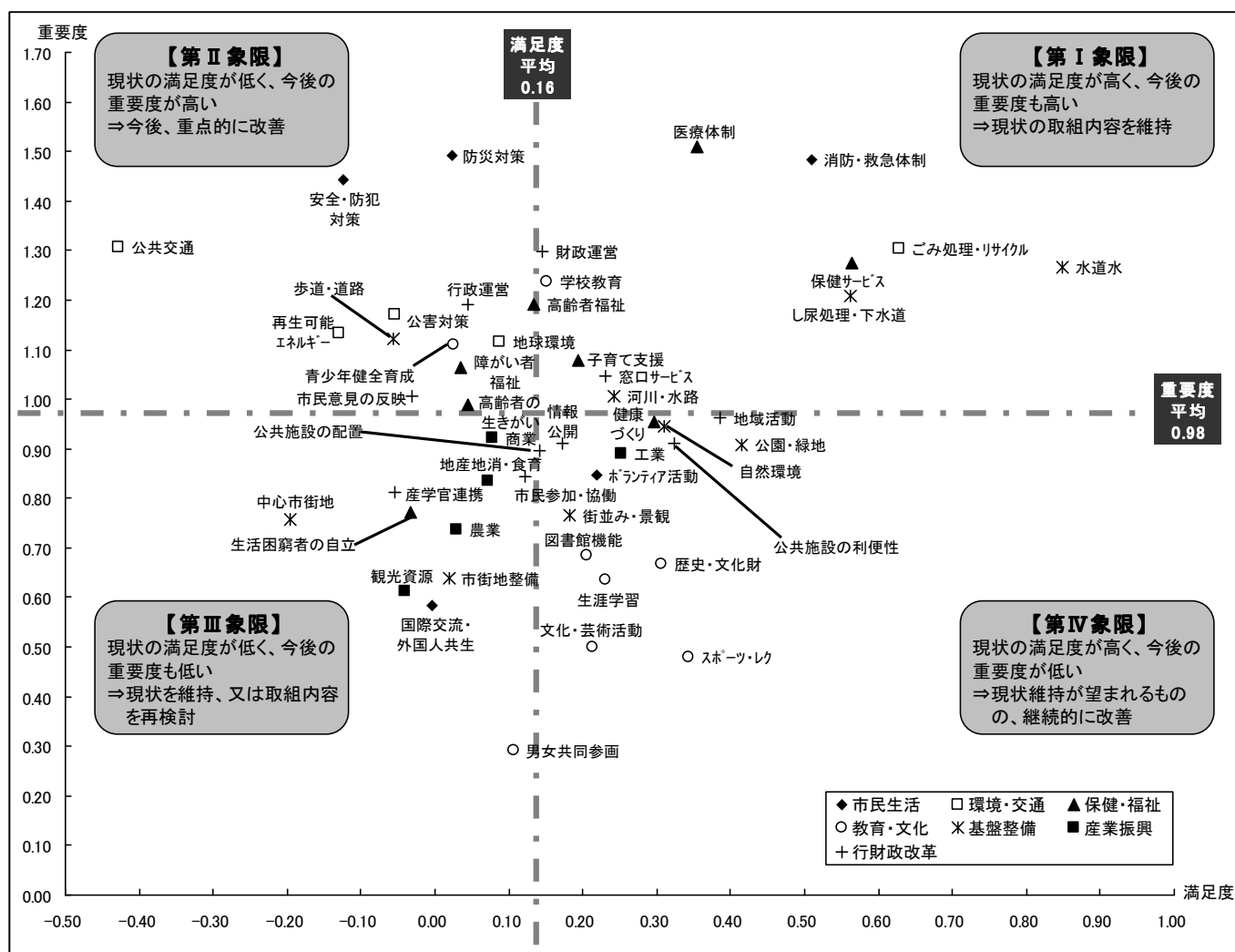


図 3-2-4 「現在の満足度」と「今後の重要度」の2軸分析のまとめ

【第 I 象限：満足度「高い」／重要度「高い」】

- 「医療体制の充実」「消防体制・救急体制の充実」「水道水の安定供給」などが該当しています。
- 本象限に該当する施策は、相対的に市民ニーズが高い一方、既に満足度も高い水準にあるため、基本的には現状の取組内容を維持すべきと考えられますが、予算・職員など市全体の経営資源配分の最適化を追求する観点から、市民に対するサービス水準を変えることなく、運営面での効率化を検討する必要があります。

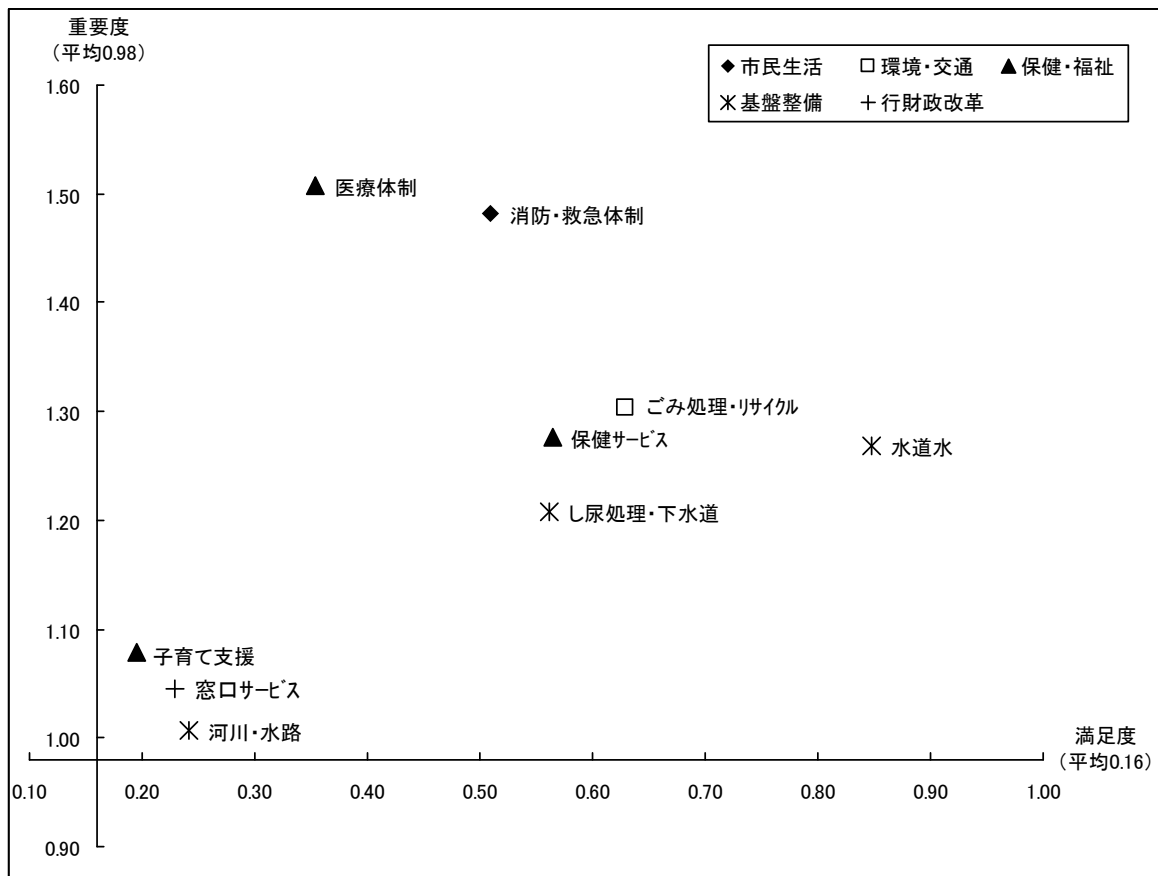


図 3-2-5 第 I 象限の該当施策

表 3-2-2 第 I 象限の該当施策の加重平均値

整理 No.	分野	施策名	満足度	重要度
1	市民生活	消防体制・救急体制の充実	0.51	1.48
2	環境・交通	ごみ処理やリサイクルの推進	0.63	1.30
3	保健・福祉	医療体制の充実	0.35	1.51
4	〃	予防接種や健康診断などの各種保健サービスの充実	0.56	1.28
5	〃	多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実	0.19	1.08
6	基盤整備	水道水の安定供給	0.85	1.27
7	〃	し尿処理・下水道などの衛生対策	0.56	1.21
8	〃	河川や水路などの整備	0.24	1.01
9	行政改革	窓口サービスの充実	0.23	1.05

【第Ⅱ象限：満足度「低い」／重要度「高い」】

- 「防災対策」「地域の安全対策・防犯対策」「太陽光などの再生可能エネルギーの利活用」「鉄道・バスなどの公共交通の充実」などが該当します。
- 本象限に該当する施策は、相対的に市民ニーズが高いにも関わらず、満足度の水準が低いことから、経営資源の投入量の拡充や施策の内容を見直すなど、今後、重点的に改善を検討する必要があります。

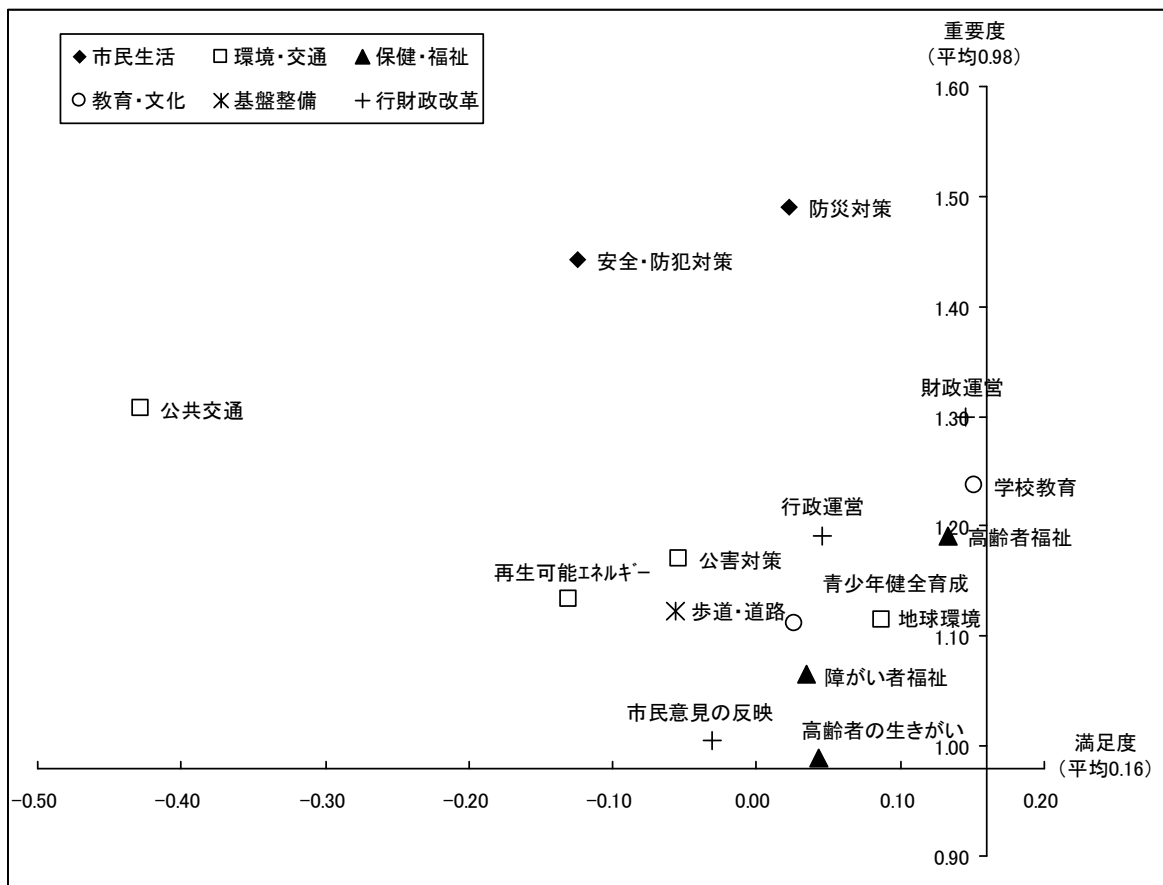


図 3-2-6 第Ⅱ象限の該当施策

表 3-2-3 第Ⅱ象限の該当施策の加重平均値

整理 No.	分野	施策名	満足度	重要度
1	市民生活	地震や風水害などの防災対策	0.02	1.49
2	〃	地域の安全対策・防犯対策	-0.12	1.44
3	環境・交通	省エネの推進などによる地球環への負荷軽減	0.09	1.11
4	〃	太陽光などの再生可能エネルギーの利活用	-0.13	1.13
5	〃	大気・水質汚染や騒音など公害対策	-0.05	1.17
6	〃	鉄道・バスなどの公共交通の充実	-0.43	1.31
7	保健・福祉	高齢者への福祉サービスの充実	0.13	1.19
8	〃	高齢者の生きがいづくり	0.04	0.99
9	〃	障がい者(児)への福祉サービスの充実	0.04	1.06
10	教育・文化	学校(小・中学校)教育の充実	0.15	1.24
11	〃	青少年の健全育成	0.03	1.11
12	基盤整備	歩道や道路の整備	-0.06	1.12
13	行財政改革	市政への市民意見の反映	-0.03	1.01
14	〃	健全な財政運営	0.15	1.30
15	〃	効率的な行政運営	0.05	1.19

【第三象限：満足度「低い」／重要度「低い」】

- 「中心市街地の活性化」「観光資源の整備や活用」などが該当します。
- 本象限に該当する施策は、今後も引き続き、現状のサービス水準を維持するのか、又は市が主体的に当該施策に注力するのかなど、市の関与のあり方をあらためて見直す必要があります。

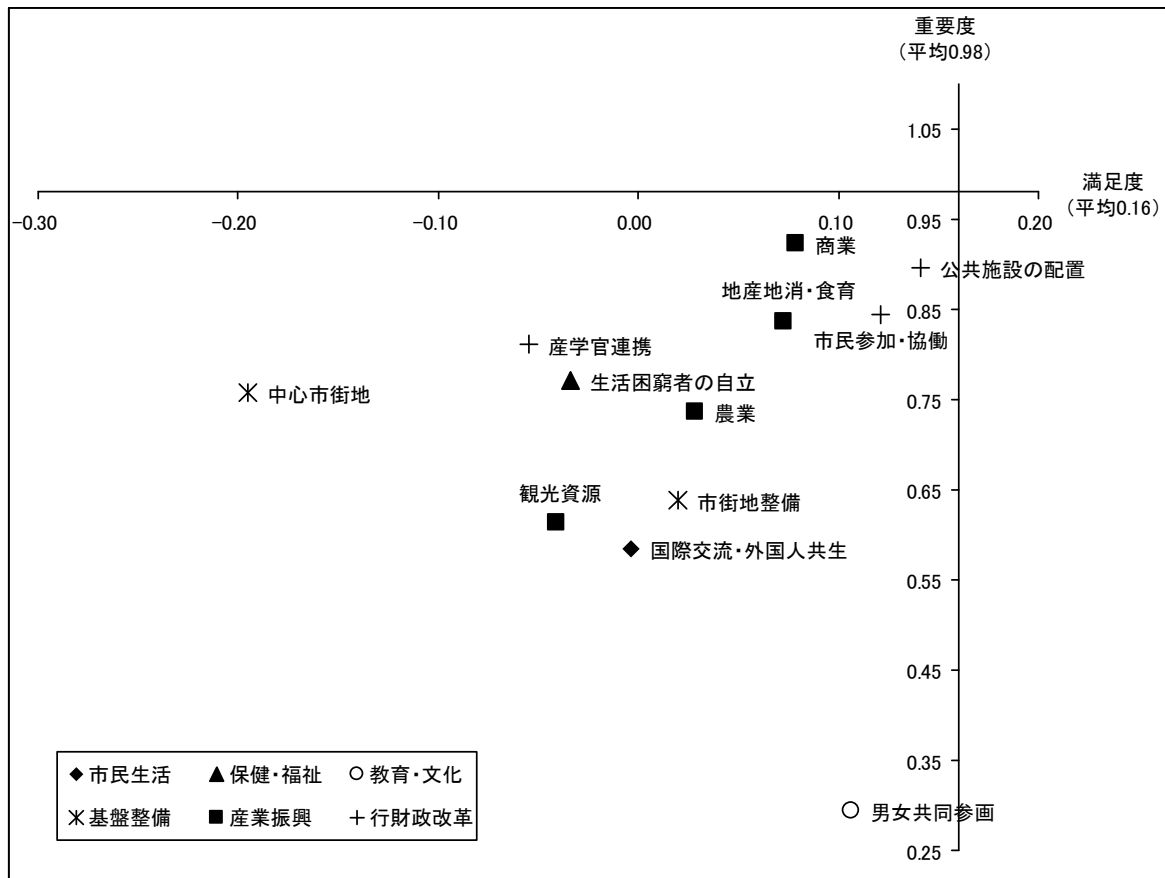


図 3-2-7 第三象限の該当施策

表 3-2-4 第三象限の該当施策の加重平均値

整理 No.	分野	施策名	満足度	重要度
1	市民生活	国際交流や外国人との共生	0.00	0.58
2	保健・福祉	生活に困った人の自立の支援	-0.03	0.77
3	教育・文化	男女共同参画の推進	0.11	0.29
4	基盤整備	区画整理などによる市街地整備の推進	0.02	0.64
5	〃	中心市街地の活性化	-0.20	0.76
6	産業振興	農業の振興	0.03	0.74
7	〃	地産地消及び食育推進	0.07	0.84
8	〃	商業の活力の維持・向上	0.08	0.92
9	〃	観光資源の整備や活用	-0.04	0.61
10	行財政改革	市政への市民参加や市民との協働	0.12	0.84
11	〃	産学官連携によるまちづくりの推進	-0.05	0.81
12	〃	公共施設の適正配置や有効活用	0.14	0.90

【第IV象限：満足度「高い」／重要度「低い」】

- 「生涯学習の場や機会の充実」「スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実」「文化・芸術活動の振興」など、市民の余暇活動に供する施策が目立ちます。
- 本象限に該当する施策は、相対的に満足度の水準が高い一方、市民ニーズは低いため、サービス水準を低下させ、市民の不満を招くことのないよう十分配慮しつつ、経営資源の投入量の縮小も視野に、市の関与のあり方を見直す必要があります。

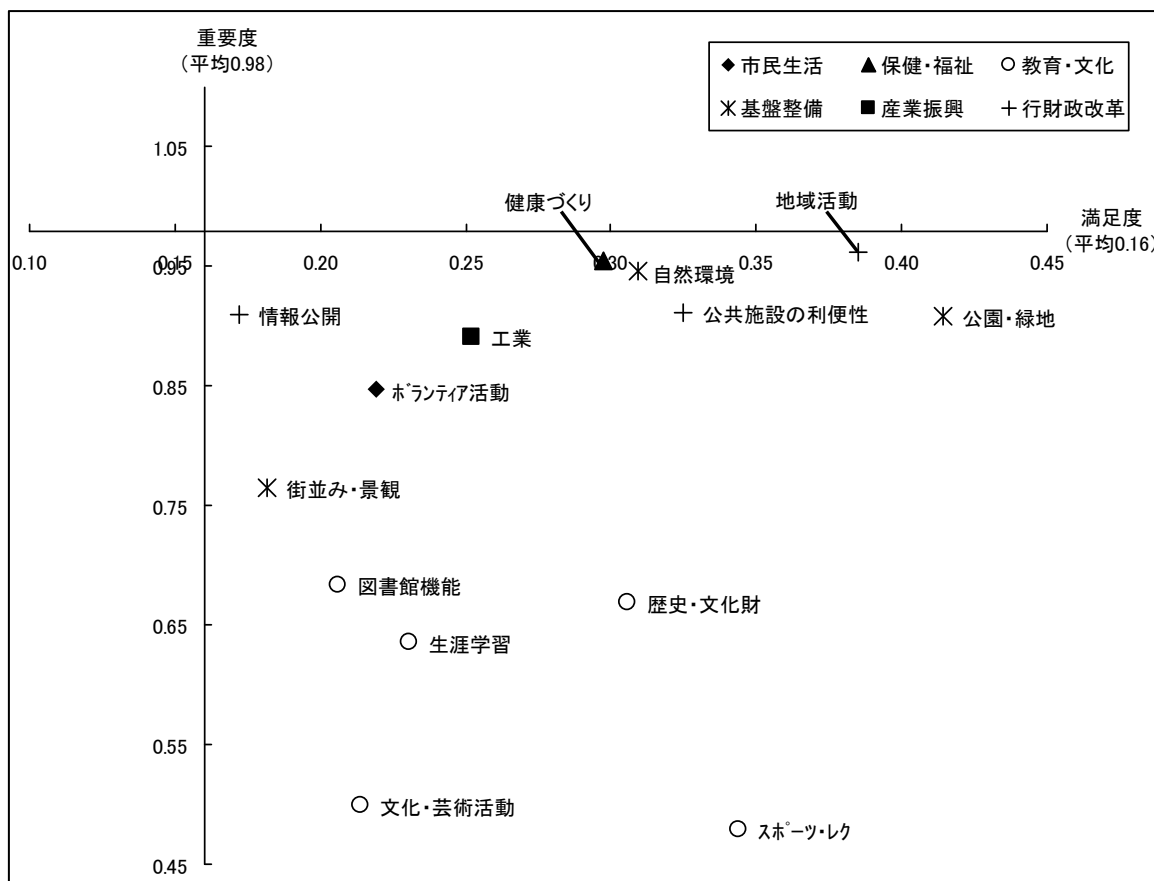


図 3-2-8 第IV象限の該当施策

表 3-2-5 第IV象限の該当施策の加重平均値

整理 No.	分野	施策名	満足度	重要度
1	市民生活	ボランティア活動の充実	0.22	0.85
2	保健・福祉	生活習慣病予防などの健康づくりの推進	0.30	0.95
3	教育・文化	生涯学習の場や機会の充実	0.23	0.64
4	〃	図書館機能の強化	0.21	0.68
5	〃	スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実	0.34	0.48
6	〃	文化・芸術活動の振興	0.21	0.50
7	〃	歴史・文化財の保全や継承	0.31	0.67
8	基盤整備	良好な街並みや景観の整備	0.18	0.77
9	〃	公園・緑地の整備や緑化の推進	0.41	0.91
10	〃	自然環境の保全	0.31	0.95
11	産業振興	工業の活力の維持・向上	0.25	0.89
12	行財政改革	自治会・コミュニティなど地域活動の活性化	0.38	0.96
13	〃	市政情報の提供・公開	0.17	0.91
14	〃	児童館や市民センターなどの公共施設の利便性の向上	0.32	0.91

④全体的にみた市の取組の評価

－20 歳代・30 歳代と 70 歳以上では、

「満足（満足＋まあ満足）」の回答比率が 4 割を超える－

- 「満足（回答比率 2.6%）」と「まあ満足（37.5%）」を合わせた満足度が 40.1%であり、「やや不満（10.1%）」と「不満（2.9%）」を合わせた不満度の 13.0%を大きく上回っています。
- 年齢別にみると、満足度は、30 歳代が 48.2%で最も高く、以下、70 歳以上の 42.8%、20 歳代の 42.7%の順であり、年齢が若い世代と高い世代で評価が高くなっているのが特徴的といえます。
- 不満度は、40 歳代が 18.1%で最も高く、20 歳代が 18.0%でこれに次いでいます。
- 居住地別にみると、満足度は、三ツ渕が 50.0%で最も高く、以下、味岡の 48.6%、村中及び陶の 48.4%、また、不満度は、米野が 19.6%で最も高く、次いで光ヶ丘の 17.1%、小牧の 16.5%の順となっています。

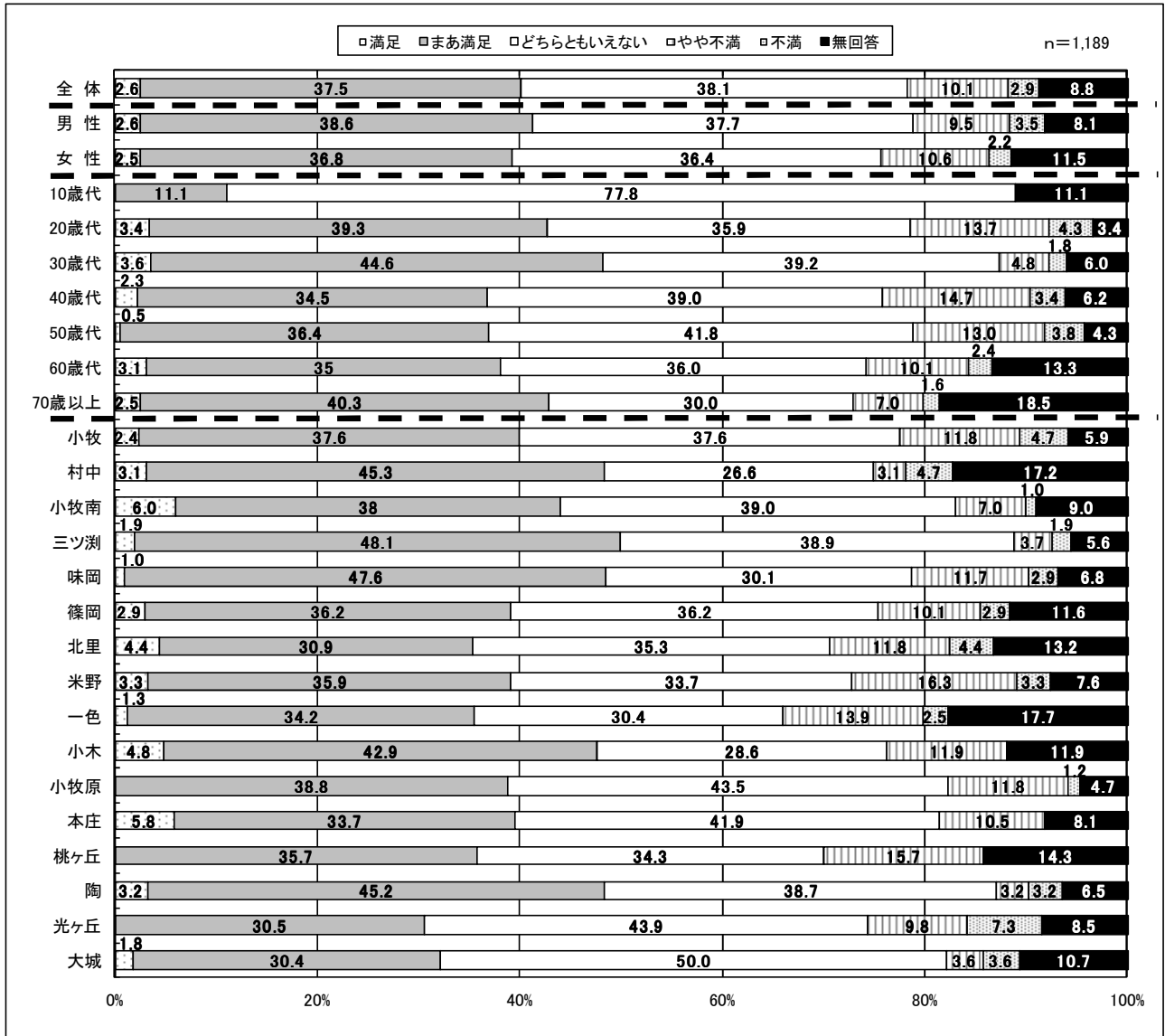


図 3-2-9 全体的にみた市の取組の評価

(2) 今後最も優先して実施すべき施策

問 12) 問 11 の施策のうち、今後最も優先して実施すべき施策を5つ選び、該当する施策の番号を記入欄に記入してください。

－防災対策、医療体制及び公共交通の充実を望む回答が多い－

○最も回答比率が高いのは、「地震や風水害などの防災対策の充実」の35.0%であり、以下、「医療体制の充実」の33.0%、「鉄道・バスなどの公共交通の充実」の31.8%、「高齢者への福祉サービスの充実」の25.1%、「地域の安全対策・防犯対策」の22.8%の順となっています。

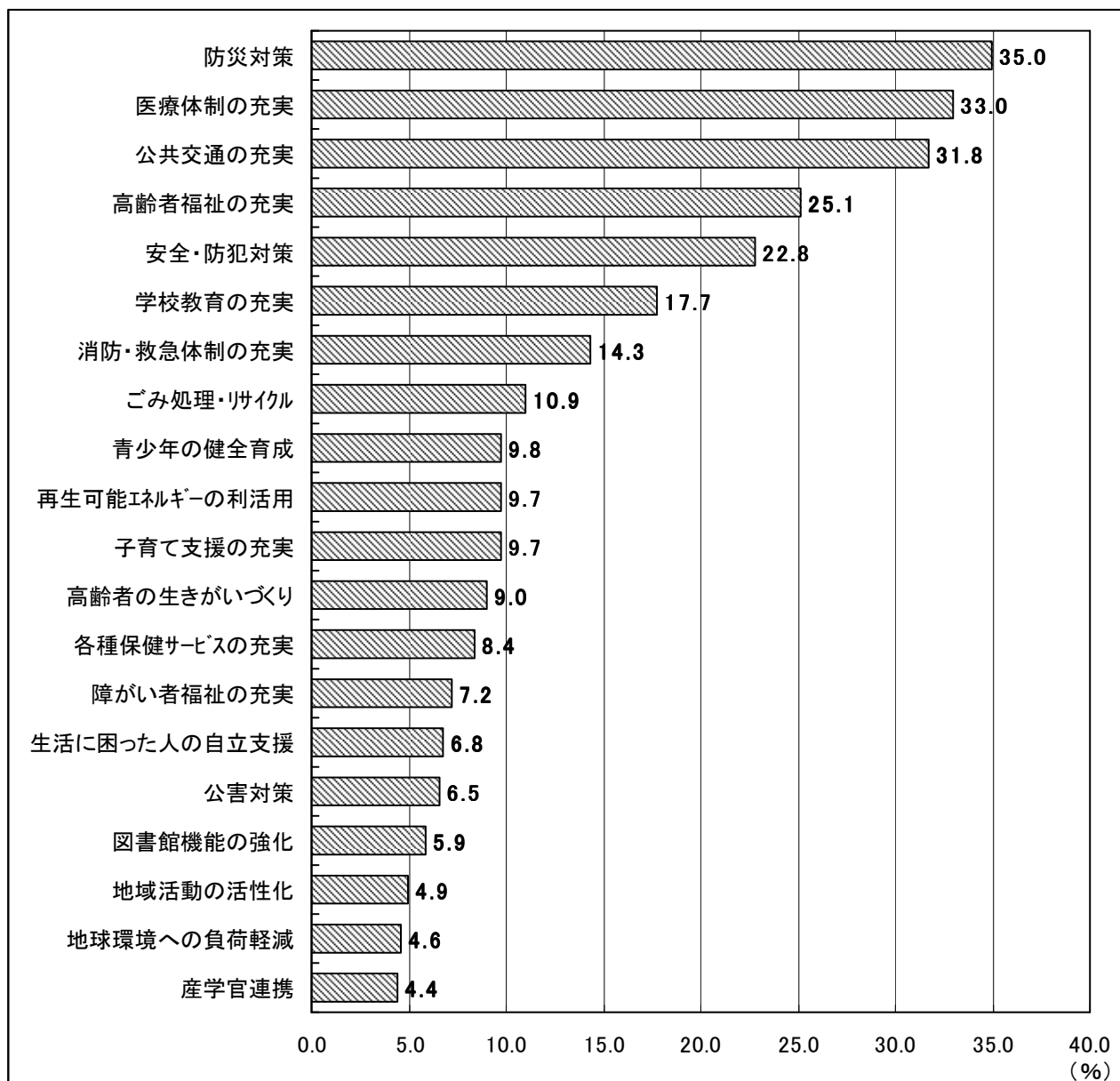


図 3-2-10 今後最も優先して実施すべき施策（上位1位～20位）

○年齢別にみると、30～50歳代では、いずれも第1位が「地震や風水害などの防災対策の充実」、第2位が「医療体制の充実」であり、市全体と同様の傾向となっています。また、10歳代～20歳代では「鉄道・バスなどの公共交通の充実」が第1位となっています。

表3-2-6 今後最も優先して実施すべき施策（上位1位～10位、単位：％）
注）「網掛・白太字」は市全体1位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
全 体	市民生活	保健・福祉	環境・交通	保健・福祉	市民生活	行財政改革	教育・文化	基盤整備	市民生活	環境・交通
	地震や風水害などの防災対策	医療体制の充実	鉄道・バスなどの公共交通の充実	高齢者への福祉サービスの充実	地域の安全対策・防犯対策	健全な財政運営	学校(小・中学校)教育の充実	歩道や道路の整備	消防体制・救急体制の充実	ごみの処理やリサイクルの推進
	35.0	33.0	31.8	25.1	22.8	19.3	17.7	15.9	14.3	10.9
男 性	保健・福祉	市民生活	環境・交通	市民生活	保健・福祉	行財政改革	市民生活	基盤整備	環境・交通	教育・文化
	医療体制の充実	地震や風水害などの防災対策	鉄道・バスなどの公共交通の充実	地域の安全対策・防犯対策	高齢者への福祉サービスの充実	健全な財政運営	消防体制・救急体制の充実	歩道や道路の整備	ごみの処理やリサイクルの推進	学校(小・中学校)教育の充実
	31.0	30.6	28.0	22.3	20.7	19.6	16.3	16.3	13.9	12.8
女 性	市民生活	保健・福祉	環境・交通	保健・福祉	市民生活	教育・文化	行財政改革	基盤整備	市民生活	保健・福祉
	地震や風水害などの防災対策	医療体制の充実	鉄道・バスなどの公共交通の充実	高齢者への福祉サービスの充実	地域の安全対策・防犯対策	学校(小・中学校)教育の充実	健全な財政運営	歩道や道路の整備	消防体制・救急体制の充実	高齢者の生きがいづくり
	37.9	33.6	31.2	28.2	23.0	20.2	18.9	15.0	13.2	11.5
10歳代	環境・交通	保健・福祉	保健・福祉	市民生活	市民生活	保健・福祉	保健・福祉	教育・文化	行財政改革	市民生活
	鉄道・バスなどの公共交通の充実	高齢者への福祉サービスの充実	医療体制の充実	地震や風水害などの防災対策	地域の安全対策・防犯対策	障がい者(児)への福祉サービス充実	子育て支援サービスの充実	学校(小・中学校)教育の充実	健全な財政運営	国際交流や外国人との共生
	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1
20歳代	環境・交通	保健・福祉	市民生活	保健・福祉	保健・福祉	基盤整備	行財政改革	市民生活	教育・文化	教育・文化
	鉄道・バスなどの公共交通の充実	医療体制の充実	地震や風水害などの防災対策	高齢者への福祉サービスの充実	子育て支援サービスの充実	歩道や道路の整備	健全な財政運営	地域の安全対策・防犯対策	学校(小・中学校)教育の充実	図書館機能の強化
	41.9	33.3	29.1	21.4	17.1	15.4	15.4	13.7	13.7	13.7
30歳代	市民生活	保健・福祉	環境・交通	市民生活	教育・文化	保健・福祉	基盤整備	行財政改革	保健・福祉	保健・福祉
	地震や風水害などの防災対策	医療体制の充実	鉄道・バスなどの公共交通の充実	地域の安全対策・防犯対策	学校(小・中学校)教育の充実	高齢者への福祉サービスの充実	歩道や道路の整備	健全な財政運営	子育て支援サービスの充実	各種保健サービスの充実
	41.6	36.1	33.7	29.5	25.9	21.1	21.1	21.1	16.9	16.3
40歳代	市民生活	保健・福祉	環境・交通	保健・福祉	教育・文化	市民生活	行財政改革	基盤整備	市民生活	教育・文化
	地震や風水害などの防災対策	医療体制の充実	鉄道・バスなどの公共交通の充実	高齢者への福祉サービスの充実	学校(小・中学校)教育の充実	地域の安全対策・防犯対策	健全な財政運営	歩道や道路の整備	消防体制・救急体制の充実	青少年の健全育成
	35.6	35.0	33.9	29.9	23.2	22.6	20.9	16.4	14.1	14.1
50歳代	市民生活	保健・福祉	保健・福祉	環境・交通	市民生活	行財政改革	市民生活	教育・文化	基盤整備	環境・交通
	地震や風水害などの防災対策	医療体制の充実	高齢者への福祉サービスの充実	鉄道・バスなどの公共交通の充実	地域の安全対策・防犯対策	健全な財政運営	消防体制・救急体制の充実	学校(小・中学校)教育の充実	歩道や道路の整備	ごみの処理やリサイクルの推進
	41.3	34.2	29.3	28.8	27.7	20.7	18.5	17.9	16.8	13.6
60歳代	保健・福祉	市民生活	環境・交通	保健・福祉	市民生活	行財政改革	市民生活	環境・交通	教育・文化	環境・交通
	医療体制の充実	地震や風水害などの防災対策	鉄道・バスなどの公共交通の充実	高齢者への福祉サービスの充実	地域の安全対策・防犯対策	健全な財政運営	消防体制・救急体制の充実	ごみの処理やリサイクルの推進	学校(小・中学校)教育の充実	再生可能エネルギーの利活用
	33.2	31.5	24.8	23.4	23.1	21.7	17.5	15.0	15.0	14.0
70歳以上	市民生活	環境・交通	保健・福祉	保健・福祉	市民生活	行財政改革	基盤整備	保健・福祉	市民生活	基盤整備
	地震や風水害などの防災対策	鉄道・バスなどの公共交通の充実	医療体制の充実	高齢者への福祉サービスの充実	地域の安全対策・防犯対策	健全な財政運営	歩道や道路の整備	高齢者の生きがいづくり	消防体制・救急体制の充実	中心市街地の活性化
	29.2	24.3	23.9	21.8	18.1	14.8	14.0	12.3	10.7	10.7

(3) 総合的にみた小牧市の住みよさ

問 13) 問 11 を振り返り、総合的にみて小牧市は住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号を 1 つだけ選んで○をつけてください。

－ 「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は 82.9%であり、
前回調査の 75.9%から 7 ポイント増加－

○ 「住みよい（回答比率 22.1%）」と「どちらか
といえば住みよい
（60.8%）」を合わせた
「住みよい」が 82.9%、
「どちらかといえば住み
にくい（10.3%）」と「住
みにくい（1.8%）」を合
わせた「住みにくい」が
12.1%となっています。

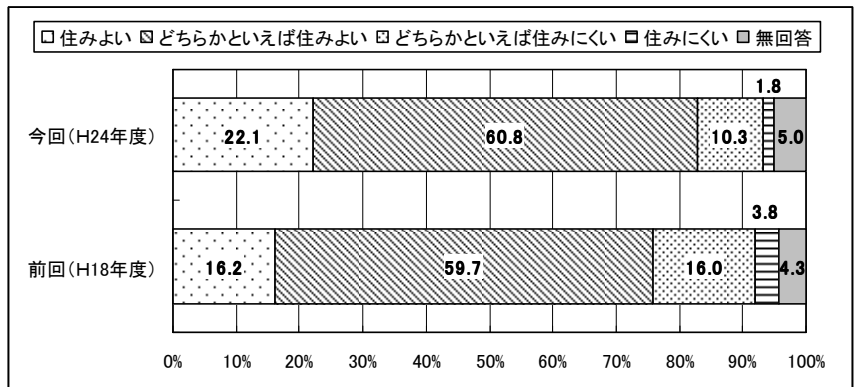


図 3-2-11 総合的にみた小牧市の住みよさ
(前回調査結果との比較)

○ 前回（平成 18 年度）調査

と比べると、「住みよい」は 16.2%から 5.9 ポイント、「どちらかといえば住みよい」は 59.7%から 1.1 ポイントいずれも増加しているのに対し、「どちらかといえば住みにくい」は 16.0%から 5.7 ポイント、「住みにくい」は 3.8%から 2 ポイント減少しています。

○年齢別にみても、いずれの年代も「住みよい（住みよい+どちらかといえば住みよい、以下同様）」は80%台となっています。また、「住みにくい（どちらかといえば住みにくい+住みにくい、以下同様）」では、50歳代が16.8%で最も高く、次いで40歳代の14.2%、60歳代の12.6%の順となっています。

○居住地別にみると、「住みよい」は、小木（92.9%）と小牧原（90.5%）で90%台となっている一方、「住みにくい」は、光ヶ丘（31.7%）、大城（25.0%）、北里（22.0%）、桃ヶ丘（20.0%）において相対的に高い状況にあります。

○居住年数別にみると、「住みよい」は、20年以上が85.0%で最も高くなっています。

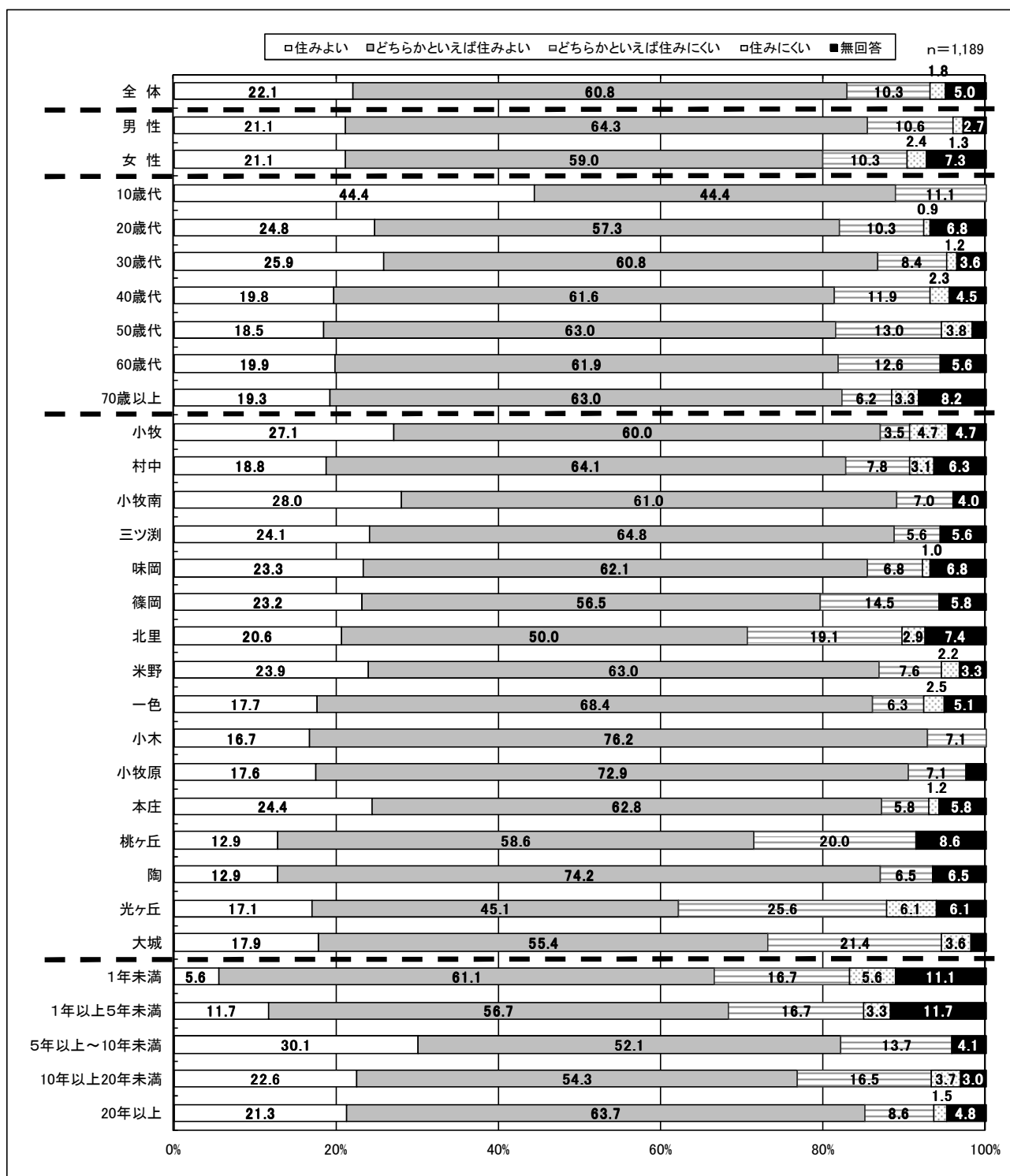


図3-2-12 総合的にみた小牧市の住みよさ

(4) 現在及び今後の小牧市のイメージ

問 14) あなたが考える小牧市のイメージについて、現在の小牧市のイメージ (A 欄) と、今後の望ましい小牧市のイメージ (B 欄) を、それぞれ 3 つまで 選択し、下の欄に記入してください。

ー現在は「工場が多く立地しているまち」、
今後では「防災・防犯体制が整ったまち」が最も高いー

○現在のイメージでは、「工場が多く立地しているまち」が 51.7% で突出しており、以下、「市民病院などの医療施設が充実しているまち」の 40.1%、「小牧山などの豊かな自然に囲まれたまち」の 36.7% の順となっています。

○一方、今後の望ましいイメージでは、「防災・防犯体制が整ったまち」が 42.7% で最も高く、次いで「鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち」の 37.8%、「市民病院などの医療施設が充実しているまち」の 27.8% の順となっています。

○属性別にみると、現在のイメージでは、男性及び 50 歳代において「名古屋市への通勤・通学者が多いまち」、今後の望ましいイメージでは、30 歳代及び居住年数 10 年未満において「子育て施設・サービスが充実しているまち」が相対的に高くなっています。

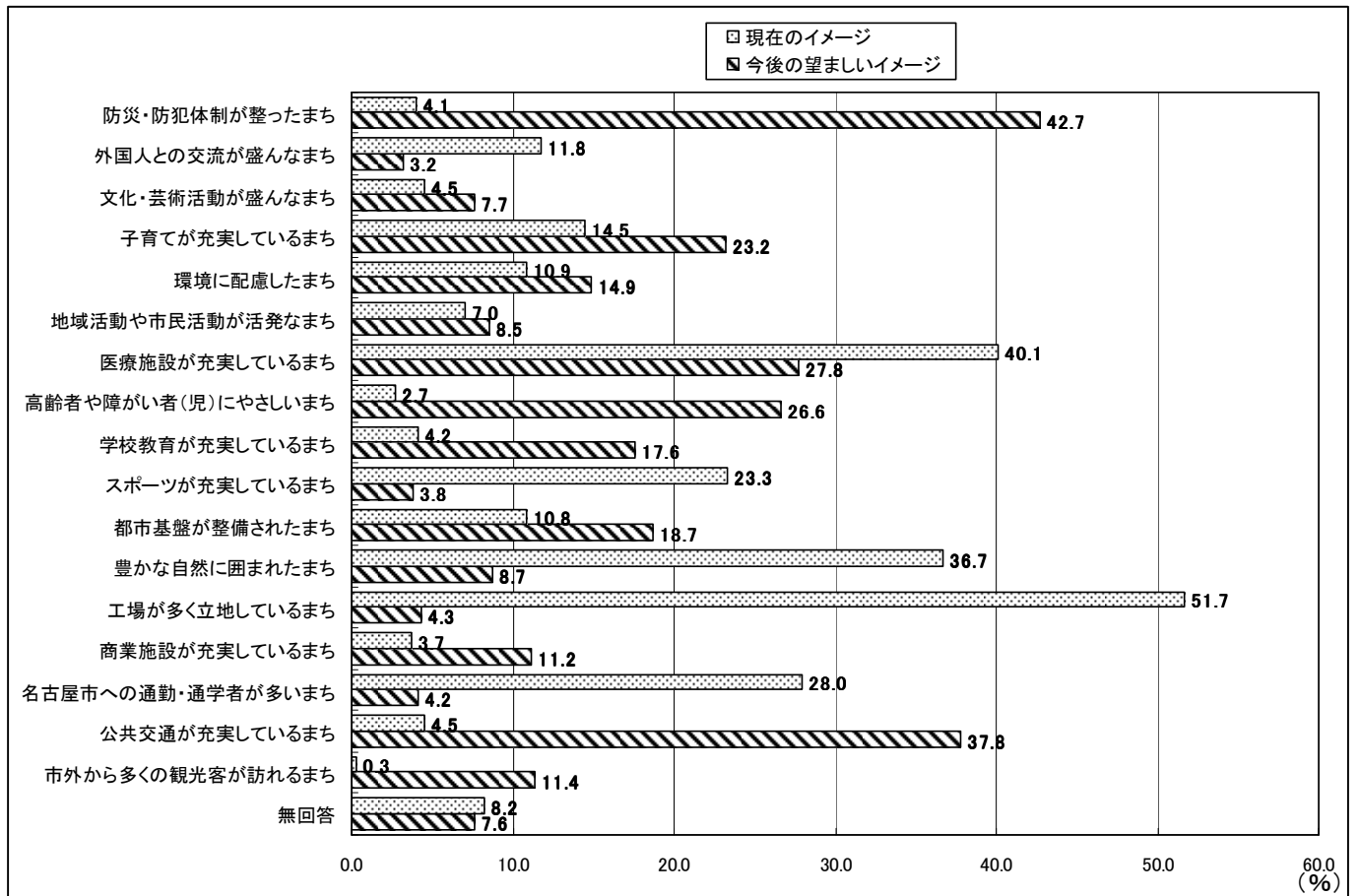


図 3 - 2 - 13 現在及び今後の小牧市のイメージ

表3-2-7 現在の小牧市のイメージ（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	防災・防犯体制が整ったまち	外国人との交流が盛んなまち	文化・芸術活動が盛んなまち	子育て施設・サービスが充実しているまち	リサイクルや省エネルギー対策などが進んだ環境に配慮したまち	地域活動や市民活動が活発なまち	市民病院などの医療施設が充実しているまち	高齢者や障がい者（児）にやさしいまち
全体		1,189	3,173	48 (4.1)	140 (11.8)	53 (4.5)	172 (14.5)	130 (10.9)	83 (7.0)	477 (40.1)	32 (2.7)
性別	男性	546	1,463	35 (6.4)	55 (10.1)	19 (3.5)	52 (9.5)	61 (11.2)	41 (7.5)	246 (45.1)	17 (3.1)
	女性	634	1,676	23 (3.6)	72 (11.4)	32 (5.0)	101 (15.9)	79 (12.5)	48 (7.6)	249 (39.3)	21 (3.3)
年齢	10歳代	9	26	0 (-)	1 (11.1)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (22.2)	0 (-)
	20歳代	117	310	0 (-)	16 (13.7)	6 (5.1)	17 (14.5)	12 (10.3)	9 (7.7)	31 (26.5)	2 (1.7)
	30歳代	166	453	3 (1.8)	33 (19.9)	6 (3.6)	47 (28.3)	11 (6.6)	5 (3.0)	63 (38.0)	1 (0.6)
	40歳代	177	481	3 (1.7)	21 (11.9)	4 (2.3)	35 (19.8)	19 (10.7)	15 (8.5)	71 (40.1)	4 (2.3)
	50歳代	184	495	12 (6.5)	22 (12.0)	5 (2.7)	19 (10.3)	17 (9.2)	9 (4.9)	87 (47.3)	5 (2.7)
	60歳代	286	768	19 (6.6)	19 (6.6)	14 (4.9)	20 (7.0)	41 (14.3)	24 (8.4)	131 (45.8)	14 (4.9)
	70歳以上	243	610	22 (9.1)	15 (6.2)	14 (5.8)	15 (6.2)	39 (16.0)	26 (10.7)	110 45.3	12 (4.9)
小牧市居住年数	1年未満	18	46	0 (-)	3 (16.7)	0 (-)	4 (22.2)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (-)	2 (11.1)
	1年以上5年未満	60	152	1 (1.7)	10 (16.7)	4 (6.7)	16 (26.7)	5 (8.3)	1 (1.7)	16 (26.7)	2 (3.3)
	5年以上～10年未満	73	192	1 (1.4)	13 (17.8)	3 (4.1)	19 (26.0)	6 (8.2)	3 (4.1)	16 (21.9)	3 (4.1)
	10年以上20年未満	164	440	8 (4.9)	21 (12.8)	11 (6.7)	21 (12.8)	24 (14.6)	11 (6.7)	46 (28.0)	5 (3.0)
	20年以上	848	2,270	48 (5.7)	80 (9.4)	33 (3.9)	92 (10.8)	102 (12.0)	70 (8.3)	411 (48.5)	25 (2.9)

表3-2-8 今後望ましい小牧市のイメージ（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	防災・防犯体制が整ったまち	外国人との交流が盛んなまち	文化・芸術活動が盛んなまち	子育て施設・サービスが充実しているまち	リサイクルや省エネルギー対策などが進んだ環境に配慮したまち	地域活動や市民活動が活発なまち	市民病院などの医療施設が充実しているまち	高齢者や障がい者（児）にやさしいまち
全体		1,189	3,324	507 (42.7)	38 (3.2)	91 (7.7)	276 (23.2)	177 (14.9)	102 (8.5)	330 (27.8)	316 (26.6)
性別	男性	546	1,538	244 (44.7)	22 (4.0)	42 (7.7)	110 (20.1)	88 (16.1)	58 (10.6)	147 (26.9)	139 (25.5)
	女性	634	1,747	259 (40.9)	15 (2.4)	55 (8.7)	136 (21.5)	92 (14.5)	49 (7.7)	181 (28.5)	175 (27.6)
年齢	10歳代	9	27	5 (55.6)	0 (-)	0 (-)	4 (44.4)	0 (-)	1 (11.1)	3 (33.3)	5 (55.6)
	20歳代	117	323	42 (35.9)	11 (9.4)	12 (10.3)	30 (25.6)	16 (13.7)	8 (6.8)	28 (23.9)	26 (22.2)
	30歳代	166	478	74 (44.6)	1 (0.6)	3 (1.8)	66 (39.8)	26 (15.7)	9 (5.4)	48 (28.9)	35 (21.1)
	40歳代	177	508	79 (44.6)	3 (1.7)	13 (7.3)	45 (25.4)	28 (15.8)	9 (5.1)	53 (29.9)	49 (27.7)
	50歳代	184	528	91 (49.5)	5 (2.7)	16 (8.7)	23 (12.5)	31 (16.8)	25 (13.6)	57 (31.0)	61 (33.2)
	60歳代	286	802	133 (46.5)	9 (3.1)	28 (9.8)	49 (17.1)	53 (18.5)	27 (9.4)	84 (29.4)	69 (24.1)
	70歳以上	243	623	78 (32.1)	8 (3.3)	24 (9.9)	29 (11.9)	27 (11.1)	30 (12.3)	54 (22.2)	70 (28.8)
小牧市居住年数	1年未満	18	52	11 (61.1)	0 (-)	2 (11.1)	6 (33.3)	1 (5.6)	1 (5.6)	8 (44.4)	1 (5.6)
	1年以上5年未満	60	164	28 (46.7)	0 (-)	3 (5.0)	28 (46.7)	7 (11.7)	2 (3.3)	16 (26.7)	10 (16.7)
	5年以上～10年未満	73	206	27 (37.0)	2 (2.7)	5 (6.8)	23 (31.5)	10 (13.7)	4 (5.5)	21 (28.8)	14 (19.2)
	10年以上20年未満	164	457	72 (43.9)	7 (4.3)	6 (3.7)	31 (18.9)	26 (15.9)	12 (7.3)	50 (30.5)	51 (31.1)
	20年以上	848	2,362	354 (41.7)	28 (3.3)	81 (9.6)	157 (18.5)	135 (15.9)	86 (10.1)	224 (26.4)	236 (27.8)

学校教育が充実しているまち	スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	公園や道路などの都市基盤が整備されたまち	小牧山などの豊かな自然に囲まれたまち	工場が多く立地しているまち	商業施設が充実しているまち	名古屋市への通勤・通学者が多いまち	鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち	市外から多くの観光客が訪れるまち	無回答
49 (4.2)	277 (23.3)	129 (10.8)	436 (36.7)	614 (51.7)	44 (3.7)	333 (28.0)	54 (4.5)	4 (0.3)	98 (8.2)
22 (4.0)	122 (22.3)	62 (11.4)	169 (31.0)	292 (53.5)	21 (3.8)	173 (31.7)	31 (5.7)	2 (0.4)	43 (7.9)
23 (3.6)	151 (23.8)	58 (9.1)	245 (38.6)	301 (47.5)	19 (3.0)	161 (25.4)	23 (3.6)	2 (0.3)	68 (10.7)
1 (11.1)	2 (22.2)	4 (44.4)	5 (55.6)	4 (44.4)	1 (11.1)	4 (44.4)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
4 (3.4)	26 (22.2)	13 (11.1)	51 (43.6)	64 (54.7)	6 (5.1)	35 (29.9)	10 (8.5)	0 (-)	8 (6.8)
5 (3.0)	39 (23.5)	20 (12.0)	65 (39.2)	105 (63.3)	6 (3.6)	33 (19.9)	6 (3.6)	1 (0.6)	4 (2.4)
13 (7.3)	52 (29.4)	14 (7.9)	65 (36.7)	100 (56.5)	6 (3.4)	48 (27.1)	2 (1.1)	1 (0.6)	8 (4.5)
8 (4.3)	38 (20.7)	18 (9.8)	71 (38.6)	89 (48.4)	4 (2.2)	71 (38.6)	9 (4.9)	1 (0.5)	10 (5.4)
7 (2.4)	75 (26.2)	26 (9.1)	90 (31.5)	155 (54.2)	7 (2.4)	88 (30.8)	9 (3.1)	1 (0.3)	28 (9.8)
8 (3.3)	42 (17.3)	25 (10.3)	68 (28.0)	76 (31.3)	9 (3.7)	56 (23.0)	19 (7.8)	0 (-)	54 (22.2)
0 (-)	4 (22.2)	2 (11.1)	6 (33.3)	13 (72.2)	1 (5.6)	6 (33.3)	0 (-)	1 (5.6)	1 (5.6)
1 (1.7)	10 (16.7)	5 (8.3)	21 (35.0)	31 (51.7)	4 (6.7)	14 (23.3)	5 (8.3)	0 (-)	6 (10.0)
3 (4.1)	24 (32.9)	6 (8.2)	25 (34.2)	37 (50.7)	3 (4.1)	19 (26.0)	5 (6.8)	0 (-)	6 (8.2)
13 (7.9)	39 (23.8)	26 (15.9)	64 (39.0)	83 (50.6)	5 (3.0)	42 (25.6)	8 (4.9)	0 (-)	13 (7.9)
28 (3.3)	193 (22.8)	78 (9.2)	294 (34.7)	424 (50.0)	24 (2.8)	249 (29.4)	35 (4.1)	3 (0.4)	81 (9.6)

学校教育が充実しているまち	スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	公園や道路などの都市基盤が整備されたまち	小牧山などの豊かな自然に囲まれたまち	工場が多く立地しているまち	商業施設が充実しているまち	名古屋市への通勤・通学者が多いまち	鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち	市外から多くの観光客が訪れるまち	無回答
209 (17.6)	45 (3.8)	222 (18.7)	103 (8.7)	51 (4.3)	133 (11.2)	50 (4.2)	449 (37.8)	135 (11.4)	90 (7.6)
81 (14.8)	22 (4.0)	116 (21.2)	57 (10.4)	32 (5.9)	57 (10.4)	30 (5.5)	193 (35.3)	64 (11.7)	36 (6.6)
124 (19.6)	24 (3.8)	104 (16.4)	50 (7.9)	19 (3.0)	73 (11.5)	23 (3.6)	238 (37.5)	65 (10.3)	65 (10.3)
0 (-)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	5 (55.6)	2 (22.2)	0 (-)
17 (14.5)	8 (6.8)	18 (15.4)	10 (8.5)	5 (4.3)	14 (12.0)	6 (5.1)	47 (40.2)	17 (14.5)	8 (6.8)
41 (24.7)	4 (2.4)	43 (25.9)	12 (7.2)	10 (6.0)	20 (12.0)	3 (1.8)	62 (37.3)	16 (9.6)	5 (3.0)
41 (23.2)	6 (3.4)	29 (16.4)	15 (8.5)	6 (3.4)	18 (10.2)	7 (4.0)	81 (45.8)	20 (11.3)	6 (3.4)
25 (13.6)	4 (2.2)	36 (19.6)	14 (7.6)	7 (3.8)	30 (16.3)	9 (4.9)	72 (39.1)	15 (8.2)	7 (3.8)
53 (18.5)	13 (4.5)	54 (18.9)	33 (11.5)	9 (3.1)	23 (8.0)	16 (5.6)	92 (32.2)	32 (11.2)	25 (8.7)
27 (11.1)	11 (4.5)	39 (16.0)	24 (9.9)	14 (5.8)	24 (9.9)	12 (4.9)	73 (30.0)	28 (11.5)	51 (21.0)
4 (22.2)	1 (5.6)	6 (33.3)	2 (11.1)	0 (-)	1 (5.6)	1 (5.6)	5 (27.8)	1 (5.6)	1 (5.6)
10 (16.7)	0 (-)	15 (25.0)	5 (8.3)	2 (3.3)	6 (10.0)	0 (-)	21 (35.0)	4 (6.7)	7 (11.7)
19 (26.0)	4 (5.5)	14 (19.2)	8 (11.0)	4 (5.5)	6 (8.2)	4 (5.5)	27 (37.0)	9 (12.3)	5 (6.8)
22 (13.4)	7 (4.3)	25 (15.2)	10 (6.1)	5 (3.0)	19 (11.6)	5 (3.0)	75 (45.7)	22 (13.4)	12 (7.3)
148 (17.5)	34 (4.0)	158 (18.6)	82 (9.7)	38 (4.5)	97 (11.4)	43 (5.1)	296 (34.9)	92 (10.8)	73 (8.6)

3 今後の定住意向【問 15】

(1) 今後の定住意向

問 15) あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思いますか。

－「今後も暮らしたい」は 79.0%であり、前回調査から 2.5 ポイント増加－

- 「今後も暮らしたい」が 79.0%、「暮らしたいとは思わない」が 16.1%となっています。前回調査（平成 18 年度）と比べ、「今後も暮らしたい」は 2.5 ポイント増加、「暮らしたいとは思わない」は 4.7 ポイント減少しています。
- 年齢別にみると、「今後も暮らしたい」は、30 歳代、60 歳代及び 70 歳以上で 80%台となっている一方、「暮らしたいとは思わない」は、20 歳代（回答比率 23.9%）と 40 歳代（20.3%）が比較的高い状況にあります。

- 居住地別にみると、「今後も暮らしたい」は三ツ瀨（94.4%）、小木（90.5%）、小牧原（91.8%）で 90%台と非常に高くなっています。また、「暮らしたいとは思わない」では、大城が 35.7%で最も高く、光ヶ丘が 29.3%でこれに次いでいます。

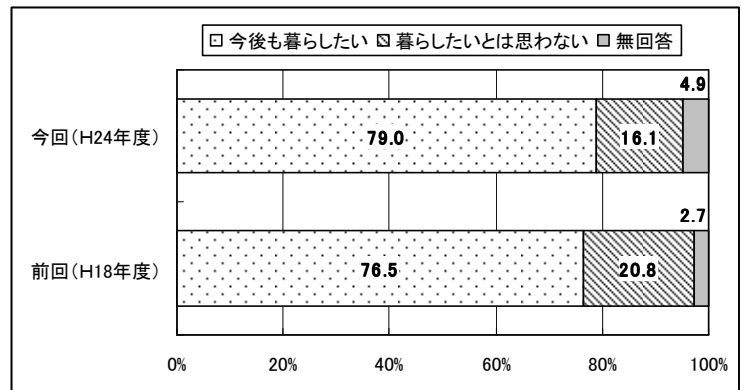


図 3-3-1 今後の定住意向
(前回調査結果との比較)

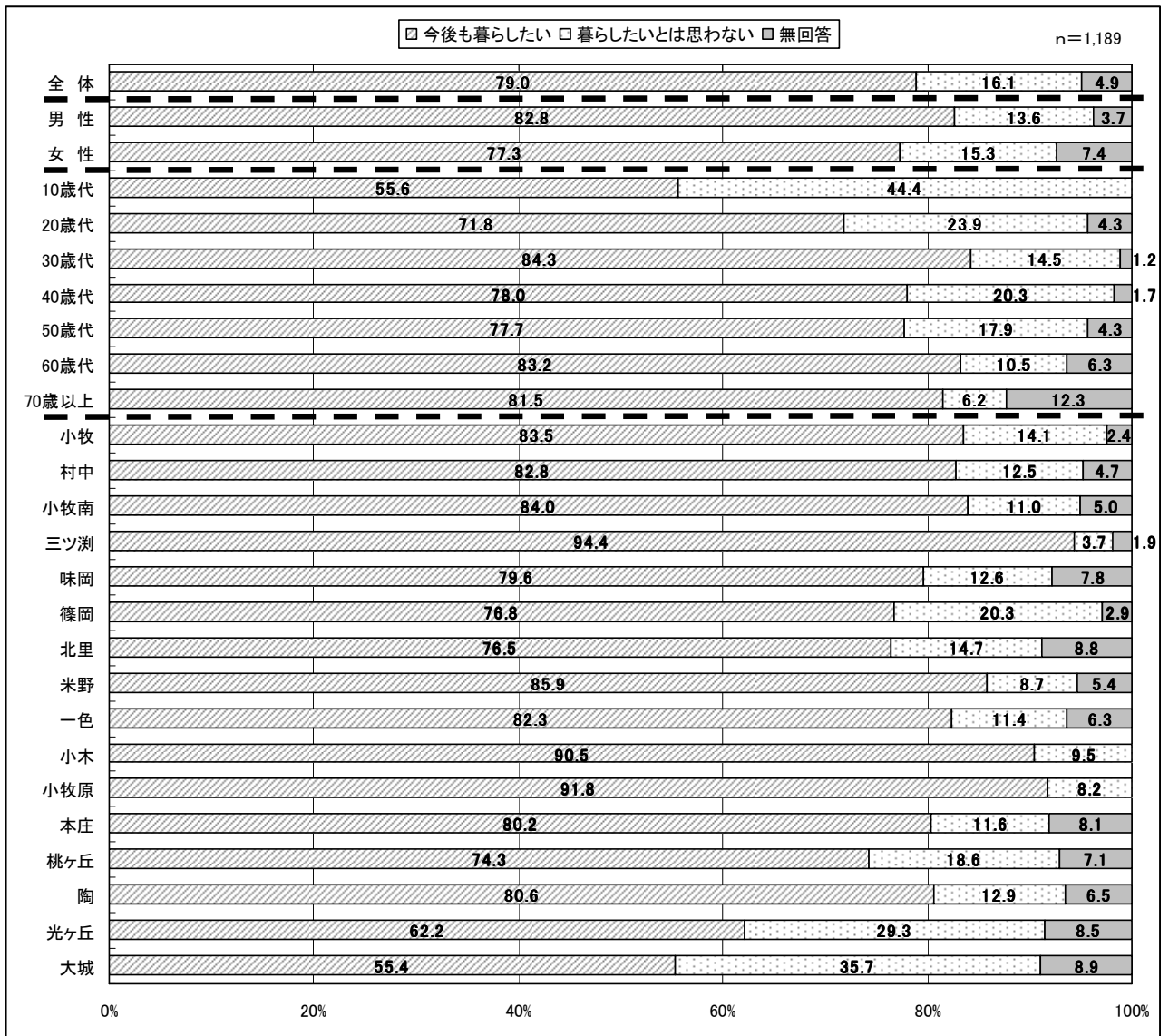


図 3 - 3 - 2 今後の定住意向

(2) 「今後も暮らしたい」「暮らしたいとは思わない」理由

問 15-1) 問 15 で「1 今後も暮らしたい」を選んだ方にうかがいます。その理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思えますか。

問 15-2) 問 15 で「2 暮らしたいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

—今後も暮らしたい理由では「災害が少ない」、
暮らしたいとは思わない理由では「交通の便が悪い」が最も高い—

- 今後も暮らしたい理由では、「災害が少ない」が 50.8%で最も高く、以下、「愛着がある」の 38.8%、「学校や仕事、家族の都合」の 37.7%の順、また、暮らしたいとは思わない理由では、「交通の便が悪い」が 85.5%で突出しています。
- 年齢別にみると、今後も暮らしたい理由では、20 歳代で「愛着がある」、30 歳代～40 歳代で「学校や仕事、家族の都合」が他の年代に比べ高くなっています。
- 一方、暮らしたいとは思わない理由では、性別、年齢別及び居住地別ともに、「交通の便が悪い」が最も高い傾向となっています。

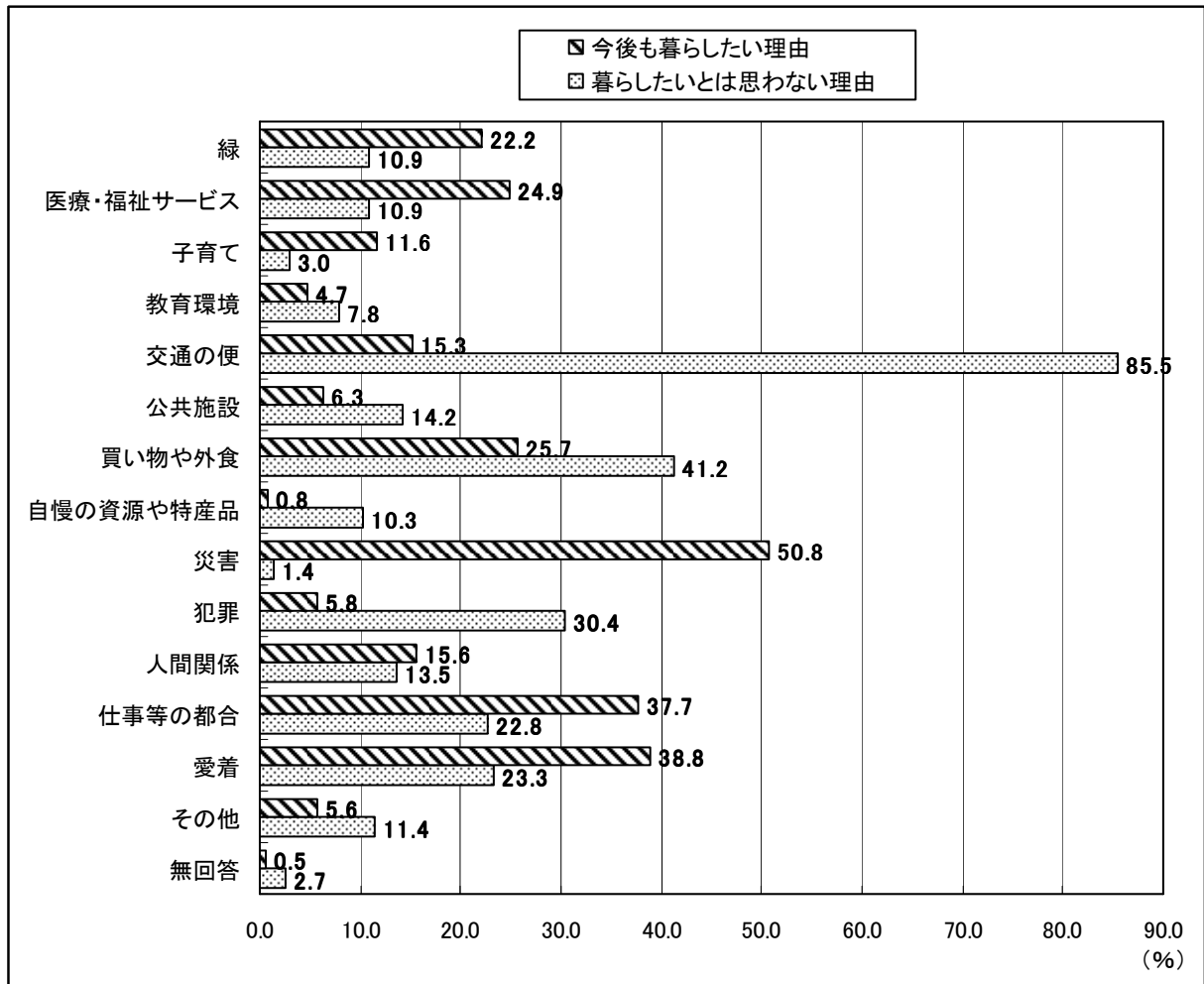


図 3-3-3 「今後も暮らしたい」「暮らしたいとは思わない」理由

表3-3-1 「今後も暮らしたい」理由（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	緑が多い	医療・福祉サービスが充実している	子育て関連施設・サービスが充実している	教育環境が良い	交通の便が良い	公共施設が充実している	買い物や外食が便利
全体		950	2,529	210 (22.2)	236 (24.9)	110 (11.6)	45 (4.7)	145 (15.3)	60 (6.3)	244 (25.7)
性別	男性	452	1,229	107 (23.7)	125 (27.7)	38 (8.4)	14 (3.1)	81 (17.9)	26 (5.8)	120 (26.5)
	女性	490	1,328	116 (23.7)	129 (26.3)	51 (10.4)	23 (4.7)	68 (13.9)	38 (7.8)	127 (25.9)
年齢	10歳代	5	13	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	1 (20.0)	1 (20.0)
	20歳代	84	220	20 (23.8)	7 (8.3)	13 (15.5)	7 (8.3)	16 (19.0)	4 (4.8)	16 (19.0)
	30歳代	140	368	19 (13.6)	33 (23.6)	41 (29.3)	9 (6.4)	18 (12.9)	6 (4.3)	44 (31.4)
	40歳代	138	370	24 (17.4)	42 (30.4)	18 (13.0)	7 (5.1)	20 (14.5)	5 (3.6)	34 (24.6)
	50歳代	143	382	35 (24.5)	32 (22.4)	6 (4.2)	3 (2.1)	21 (14.7)	10 (7.0)	35 (24.5)
	60歳代	238	668	71 (29.8)	62 (26.1)	9 (3.8)	7 (2.9)	34 (14.3)	22 (9.2)	64 (26.9)
	70歳以上	198	548	51 (25.8)	78 (39.4)	4 (2.0)	4 (2.0)	41 (20.7)	16 (8.1)	55 (27.8)
住まいの小学校区	小牧小学校区	71	195	16 (22.5)	22 (31.0)	7 (9.9)	1 (1.4)	17 (23.9)	5 (7.0)	26 (36.6)
	村中小学校区	53	144	13 (24.5)	15 (28.3)	5 (9.4)	1 (1.9)	4 (7.5)	6 (11.3)	11 (20.8)
	小牧南小学校区	84	231	11 (13.1)	23 (27.4)	10 (11.9)	3 (3.6)	30 (35.7)	8 (9.5)	26 (31.0)
	三ツ淵小学校区	51	141	6 (11.8)	16 (31.4)	3 (5.9)	5 (9.8)	6 (11.8)	2 (3.9)	14 (27.5)
	味岡小学校区	82	223	13 (15.9)	22 (26.8)	7 (8.5)	1 (1.2)	16 (19.5)	6 (7.3)	28 (34.1)
	篠岡小学校区	53	143	28 (52.8)	9 (17.0)	3 (5.7)	2 (3.8)	2 (3.8)	3 (5.7)	7 (13.2)
	北里小学校区	52	143	9 (17.3)	11 (21.2)	3 (5.8)	1 (1.9)	6 (11.5)	4 (7.7)	16 (30.8)
	米野小学校区	79	213	13 (16.5)	26 (32.9)	7 (8.9)	1 (1.3)	20 (25.3)	5 (6.3)	26 (32.9)
	一色小学校区	65	172	7 (10.8)	21 (32.3)	4 (6.2)	2 (3.1)	9 (13.8)	4 (6.2)	21 (32.3)
	小木小学校区	38	106	5 (13.2)	13 (34.2)	4 (10.5)	2 (5.3)	4 (10.5)	1 (2.6)	10 (26.3)
	小牧原小学校区	78	215	10 (12.8)	28 (35.9)	12 (15.4)	3 (3.8)	10 (12.8)	5 (6.4)	26 (33.3)
	本庄小学校区	69	191	14 (20.3)	15 (21.7)	11 (15.9)	5 (7.2)	14 (20.3)	5 (7.2)	14 (20.3)
	桃ヶ丘小学校区	52	138	21 (40.4)	13 (25.0)	8 (15.4)	5 (9.6)	0 (-)	2 (3.8)	8 (15.4)
	陶小学校区	25	64	11 (44.0)	5 (20.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	5 (20.0)
	光ヶ丘小学校区	51	137	28 (54.9)	10 (19.6)	1 (2.0)	3 (5.9)	4 (7.8)	3 (5.9)	5 (9.8)
大城小学校区	31	80	13 (41.9)	3 (9.7)	3 (9.7)	2 (6.5)	4 (12.9)	3 (9.7)	2 (6.5)	

自慢できる資源や特産品が多い	災害が少ない	犯罪が少ない	地域での人間関係が良い	学校や仕事、家族の都合	愛着がある	その他	無回答
8 (0.8)	483 (50.8)	55 (5.8)	148 (15.6)	358 (37.7)	369 (38.8)	53 (5.6)	5 (0.5)
2 (0.4)	257 (56.9)	28 (6.2)	73 (16.2)	151 (33.4)	176 (38.9)	28 (6.2)	3 (0.7)
7 (1.4)	272 (55.5)	31 (6.3)	82 (16.7)	169 (34.5)	187 (38.2)	26 (5.3)	2 (0.4)
0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0)	3 (60.0)	0 (-)	0 (-)
0 (-)	34 (40.5)	7 (8.3)	10 (11.9)	35 (41.7)	46 (54.8)	5 (6.0)	0 (-)
0 (-)	36 (25.7)	2 (1.4)	21 (15.0)	80 (57.1)	53 (37.9)	5 (3.6)	1 (0.7)
2 (1.4)	57 (41.3)	7 (5.1)	19 (13.8)	74 (53.6)	48 (34.8)	12 (8.7)	1 (0.7)
2 (1.4)	80 (55.9)	12 (8.4)	26 (18.2)	57 (39.9)	49 (34.3)	13 (9.1)	1 (0.7)
2 (0.8)	182 (76.5)	14 (5.9)	38 (16.0)	44 (18.5)	107 (45.0)	12 (5.0)	0 (-)
3 (1.5)	142 (71.7)	17 (8.6)	42 (21.2)	27 (13.6)	59 (29.8)	7 (3.5)	2 (1.0)
1 (1.4)	38 (53.5)	5 (7.0)	11 (15.5)	20 (28.2)	24 (33.8)	2 (2.8)	0 (-)
0 (-)	34 (64.2)	5 (9.4)	5 (9.4)	16 (30.2)	26 (49.1)	3 (5.7)	0 (-)
0 (-)	48 (57.1)	2 (2.4)	8 (9.5)	25 (29.8)	35 (41.7)	2 (2.4)	0 (-)
0 (-)	30 (58.8)	3 (5.9)	7 (13.7)	23 (45.1)	21 (41.2)	3 (5.9)	2 (3.9)
1 (1.2)	44 (53.7)	2 (2.4)	19 (23.2)	29 (35.4)	31 (37.8)	2 (2.4)	2 (2.4)
1 (1.9)	34 (64.2)	3 (5.7)	11 (20.8)	15 (28.3)	19 (35.8)	6 (11.3)	0 (-)
1 (1.9)	25 (48.1)	3 (5.8)	13 (25.0)	22 (42.3)	25 (48.1)	4 (7.7)	0 (-)
1 (1.3)	40 (50.6)	3 (3.8)	11 (13.9)	24 (30.4)	33 (41.8)	3 (3.8)	0 (-)
0 (-)	37 (56.9)	5 (7.7)	10 (15.4)	22 (33.8)	23 (35.4)	7 (10.8)	0 (-)
0 (-)	27 (71.1)	2 (5.3)	10 (26.3)	11 (28.9)	15 (39.5)	2 (5.3)	0 (-)
0 (-)	47 (60.3)	4 (5.1)	7 (9.0)	29 (37.2)	34 (43.6)	0 (-)	0 (-)
0 (-)	35 (50.7)	3 (4.3)	18 (26.1)	25 (36.2)	29 (42.0)	2 (2.9)	1 (1.4)
0 (-)	31 (59.6)	7 (13.5)	8 (15.4)	14 (26.9)	13 (25.0)	8 (15.4)	0 (-)
4 (16.0)	13 (52.0)	3 (12.0)	1 (4.0)	8 (32.0)	7 (28.0)	3 (12.0)	0 (-)
0 (-)	33 (64.7)	6 (11.8)	11 (21.6)	13 (25.5)	17 (33.3)	3 (5.9)	0 (-)
0 (-)	12 (38.7)	3 (9.7)	4 (12.9)	20 (64.5)	8 (25.8)	3 (9.7)	0 (-)

表3-3-2 「暮らしたいとは思わない」理由（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

	回答者数	合計	理由						
			緑が少ない	医療・福祉サービスが充実していない	子育て関連施設・サービスが充実していない	教育環境が悪い	交通の便が悪い	公共施設が充実していない	買い物や外食が不便
全体	171	494	19 (10.9)	19 (10.9)	5 (3.0)	13 (7.8)	146 (85.5)	24 (14.2)	70 (41.2)
性別	男性	74	7 (9.5)	10 (13.5)	2 (2.7)	8 (10.8)	48 (64.9)	7 (9.5)	20 (27.0)
	女性	97	10 (10.3)	11 (11.3)	3 (3.1)	4 (4.1)	83 (85.6)	13 (13.4)	47 (48.5)
年齢	10歳代	4	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (75.0)	1 (25.0)	1 (25.0)
	20歳代	28	4 (14.3)	0 (-)	0 (-)	1 (3.6)	22 (78.6)	5 (17.9)	8 (28.6)
	30歳代	24	3 (12.5)	2 (8.3)	1 (4.2)	3 (12.5)	18 (75.0)	2 (8.3)	11 (45.8)
	40歳代	36	3 (8.3)	2 (5.6)	2 (5.6)	4 (11.1)	25 (69.4)	3 (8.3)	8 (22.2)
	50歳代	33	0 (-)	8 (24.2)	0 (-)	2 (6.1)	28 (84.8)	6 (18.2)	17 (51.5)
	60歳代	30	5 (16.7)	4 (13.3)	1 (3.3)	2 (6.7)	24 (80.0)	3 (10.0)	13 (43.3)
	70歳以上	15	2 (13.3)	5 (33.3)	1 (6.7)	0 (-)	10 (66.7)	0 (-)	8 (53.3)
住まいの小学校区	小牧小学校区	12	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (50.0)	2 (16.7)	5 (41.7)
	村中小学校区	8	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	8 (100.0)	1 (12.5)	5 (62.5)
	小牧南小学校区	11	3 (27.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (45.5)	1 (9.1)	2 (18.2)
	三ツ淵小学校区	2	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (100.0)	0 (-)	1 (50.0)
	味岡小学校区	13	3 (23.1)	2 (15.4)	0 (-)	2 (15.4)	8 (61.5)	1 (7.7)	2 (15.4)
	篠岡小学校区	14	2 (14.3)	4 (28.6)	0 (-)	0 (-)	13 (92.9)	3 (21.4)	10 (71.4)
	北里小学校区	10	2 (20.0)	1 (10.0)	0 (-)	1 (10.0)	8 (80.0)	1 (10.0)	2 (20.0)
	米野小学校区	8	2 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (75.0)	1 (12.5)	0 (-)
	一色小学校区	9	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)	2 (22.2)	5 (55.6)	0 (-)	0 (-)
	小木小学校区	4	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (75.0)	0 (-)	2 (50.0)
	小牧原小学校区	7	2 (28.6)	0 (-)	1 (14.3)	1 (14.3)	4 (57.1)	1 (14.3)	1 (14.3)
	本庄小学校区	10	0 (-)	4 (40.0)	0 (-)	0 (-)	8 (80.0)	2 (20.0)	3 (30.0)
	桃ヶ丘小学校区	13	0 (-)	3 (23.1)	1 (7.7)	2 (15.4)	12 (92.3)	2 (15.4)	10 (76.9)
	陶小学校区	4	0 (-)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (-)	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (-)
	光ヶ丘小学校区	24	0 (-)	2 (8.3)	0 (-)	1 (4.2)	21 (87.5)	3 (12.5)	13 (54.2)
	大城小学校区	20	0 (-)	3 (15.0)	1 (5.0)	2 (10.0)	18 (90.0)	1 (5.0)	9 (45.0)

自慢できる 資源や特産 品が少ない	災害が多い	犯罪が多い	地域での人 間関係が良 くない	学校や仕 事、家族の 都合	愛着がない	その他	無回答
18 (10.3)	2 (1.4)	52 (30.4)	23 (13.5)	39 (22.8)	40 (23.3)	19 (11.4)	5 (2.7)
9 (12.2)	2 (2.7)	26 (35.1)	12 (16.2)	15 (20.3)	17 (23.0)	7 (9.5)	2 (2.7)
5 (5.2)	0 (-)	20 (20.6)	12 (12.4)	13 (13.4)	21 (21.6)	11 (11.3)	3 (3.1)
1 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (75.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
3 (10.7)	0 (-)	5 (17.9)	3 (10.7)	8 (28.6)	7 (25.0)	3 (10.7)	1 (3.6)
1 (4.2)	1 (4.2)	12 (50.0)	1 (4.2)	1 (4.2)	4 (16.7)	2 (8.3)	0 (-)
4 (11.1)	0 (-)	15 (41.7)	5 (13.9)	7 (19.4)	7 (19.4)	5 (13.9)	0 (-)
1 (3.0)	0 (-)	5 (15.2)	4 (12.1)	6 (18.2)	9 (27.3)	4 (12.1)	1 (3.0)
2 (6.7)	0 (-)	6 (20.0)	8 (26.7)	2 (6.7)	7 (23.3)	3 (10.0)	2 (6.7)
2 (13.3)	0 (-)	3 (20.0)	3 (20.0)	1 (6.7)	4 (26.7)	1 (6.7)	1 (6.7)
2 (16.7)	0 (-)	7 (58.3)	5 (41.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	0 (-)
1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (-)
2 (18.2)	0 (-)	5 (45.5)	1 (9.1)	4 (36.4)	3 (27.3)	0 (-)	1 (9.1)
0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)
1 (7.7)	0 (-)	3 (23.1)	2 (15.4)	4 (30.8)	1 (7.7)	2 (15.4)	0 (-)
1 (7.1)	1 (7.1)	2 (14.3)	1 (7.1)	0 (-)	2 (14.3)	0 (-)	0 (-)
0 (-)	0 (-)	2 (20.0)	3 (30.0)	0 (-)	2 (20.0)	0 (-)	1 (10.0)
1 (12.5)	0 (-)	4 (50.0)	0 (-)	4 (50.0)	4 (50.0)	2 (25.0)	0 (-)
1 (11.1)	1 (11.1)	6 (66.7)	2 (22.2)	1 (11.1)	2 (22.2)	3 (33.3)	0 (-)
0 (-)	0 (-)	2 (50.0)	0 (-)	0 (-)	1 (25.0)	0 (-)	0 (-)
2 (28.6)	0 (-)	3 (42.9)	2 (28.6)	0 (-)	1 (14.3)	0 (-)	1 (14.3)
0 (-)	0 (-)	3 (30.0)	3 (30.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)
0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (23.1)	2 (15.4)	1 (7.7)	0 (-)
1 (25.0)	0 (-)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (-)	1 (25.0)	0 (-)
2 (8.3)	0 (-)	3 (12.5)	3 (12.5)	2 (8.3)	7 (29.2)	3 (12.5)	2 (8.3)
0 (-)	0 (-)	4 (20.0)	0 (-)	5 (25.0)	4 (20.0)	2 (10.0)	0 (-)

4 中心市街地の活性化【問 16～18】

(1) 現在の中心市街地全体の印象

問 16) 現在の中心市街地全体の印象について、どのように思われますか。また、そう思う理由を具体的にご記入ください。

－ 「やや悪い」と「悪い」の合計は 20 歳代、40 歳代、50 歳代で 5 割を超える－

- 「良い(回答比率 2.1%)」と「まあ良い(29.3%)」を合わせた「良い」が 31.4%で、「やや悪い(32.1%)」と「悪い(15.7%)」を合わせた「悪い」の 47.8%を 16.4 ポイント下回っています。
- 年齢別にみると、「悪い(やや悪い+悪い)」は、50 歳代が 61.4%で最も高く、また、20 歳代(51.3%)と 40 歳代(50.3%)でも 5 割を超えている状況にあります。

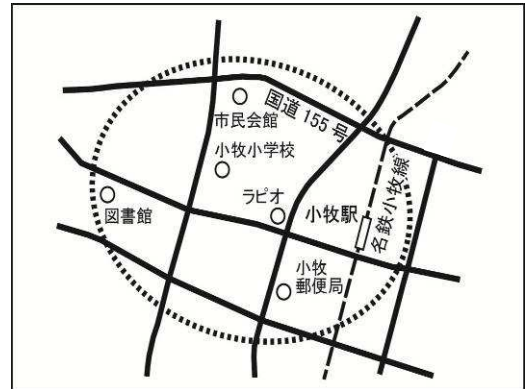


図 3-4-1 中心市街地の概ねのエリア(点線内)

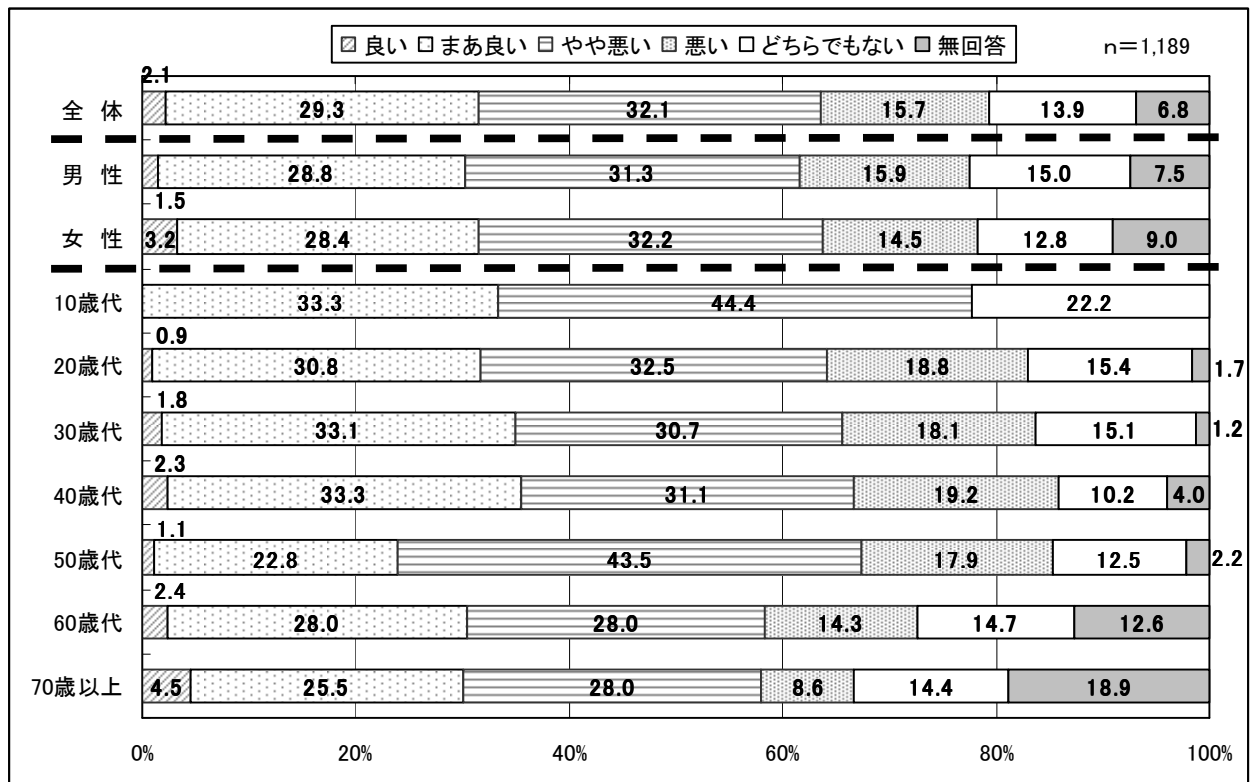


図 3-4-2 現在の中心市街地全体の印象

【現在の中心市街地に対する印象の主な意見】

まちの雰囲気について	商業等施設について
・活気がない。	・人が集まる場所がない。
・駅前が寂しい。	・公共施設が駅から遠い。
・「小牧市の顔」としての整備が進んでいない。	・中心となる建物が少ない。
・にぎわいが少ない。	・施設の配置がバラバラ。
・花や緑がきれい。	・集客力のある建物が少ない。
・魅力がない。	・金融機関が充実している。
・一人で歩くのが怖い。	・駐車スペースが狭い。
・空き家、空き店舗が多い。	・大型施設がない。
・中心街とは思えない。	・魅力のある商業施設がない。
・他市と比べて劣っている。	・飲食店が少ない。
・何もない。	・行きたくなるような店がない。
・災害が少ない。	・商品のラインナップが中高年向け。
・人が歩いていない。	・気軽に立ち寄れる店がない。
・昔に比べてきれい。	・買い物をしたい店がない。
・路上駐車が多い。	・インパクトのある店がない。
・若い人がいない。	・店の数が少ない。
・シャッター街。	・生活用品が一箇所で揃わない。
・街並み・景観がいい。	交通について
・愛着が湧かない。	・公共交通の便が悪い。
・見るところがない。	・道路が狭い。
・出かけたと思わない。	・渋滞が多い。
・ライトアップがきれい。	・アクセス道路が整備されていない。
・田舎じみている。	・歩行者にとって危険な箇所がある。
・暗い。	・一方通行が多い。

(2) 今後、中心市街地を目指すべき姿

問17) 今後、中心市街地の『にぎわい』を創出し、その活性化を図るためには、どのような市街地を目指すべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

－「買い物を楽しめる市街地」を望む回答が最も多い－

- 今後、中心市街地を目指すべき姿では、「買い物を楽しめる市街地」が52.8%で最も高く、以下、「公共交通機関が利用しやすい市街地」の43.1%、「安全で快適に憩い、移動できる空間が整った市街地」の27.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、概ねいずれの年代も第1位が「買い物を楽しめる市街地」、第2位が「公共交通機関が利用しやすい市街地」となっているほか、30歳代では「暮らしに身近な公共サービスが充実した市街地」を望む回答比率が、他の年代に比べ高くなっています。

表3-4-1 今後、中心市街地を目指すべき姿（上段：回答数、下段：比率（%））

注）「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	子どもからお年寄りまで、より多くの人々が居住する市街地	子育て支援や高齢者福祉など、暮らしに身近な公共サービスが充実した市街地	市民の自発的な生涯学習活動や芸術等の文化活動が充実した市街地	起業支援などにより、働く場所が充実した市街地	魅力的な店舗が数多く集まり、買い物を楽しめる市街地	子どもからお年寄りまで、多様な世代がふれあい、交流できる市街地	年間を通じてイベントが盛んに開催され、市内外からより多くの人々が集う市街地
全体		1,189	3,247	170 (14.3)	313 (26.3)	65 (5.5)	198 (16.6)	628 (52.8)	202 (17.0)	202 (17.0)
性別	男性	546	1,501	74 (13.6)	119 (21.8)	29 (5.3)	93 (17.0)	287 (52.6)	106 (19.4)	95 (17.4)
	女性	634	1,717	98 (15.5)	188 (29.7)	43 (6.8)	102 (16.1)	320 (50.5)	100 (15.8)	93 (14.7)
年齢	10歳代	9	27	1 (11.1)	3 (33.3)	0 (-)	3 (33.3)	5 (55.6)	2 (22.2)	3 (33.3)
	20歳代	117	319	15 (12.8)	24 (20.5)	6 (5.1)	19 (16.2)	63 (53.8)	17 (14.5)	24 (20.5)
	30歳代	166	466	23 (13.9)	57 (34.3)	3 (1.8)	29 (17.5)	99 (59.6)	27 (16.3)	37 (22.3)
	40歳代	177	486	28 (15.8)	46 (26.0)	10 (5.6)	18 (10.2)	102 (57.6)	27 (15.3)	28 (15.8)
	50歳代	184	496	18 (9.8)	43 (23.4)	11 (6.0)	40 (21.7)	106 (57.6)	32 (17.4)	22 (12.0)
	60歳代	286	789	43 (15.0)	77 (26.9)	20 (7.0)	47 (16.4)	130 (45.5)	57 (19.9)	39 (13.6)
	70歳以上	243	643	45 (18.5)	57 (23.5)	22 (9.1)	40 (16.5)	105 (43.2)	44 (18.1)	35 (14.4)

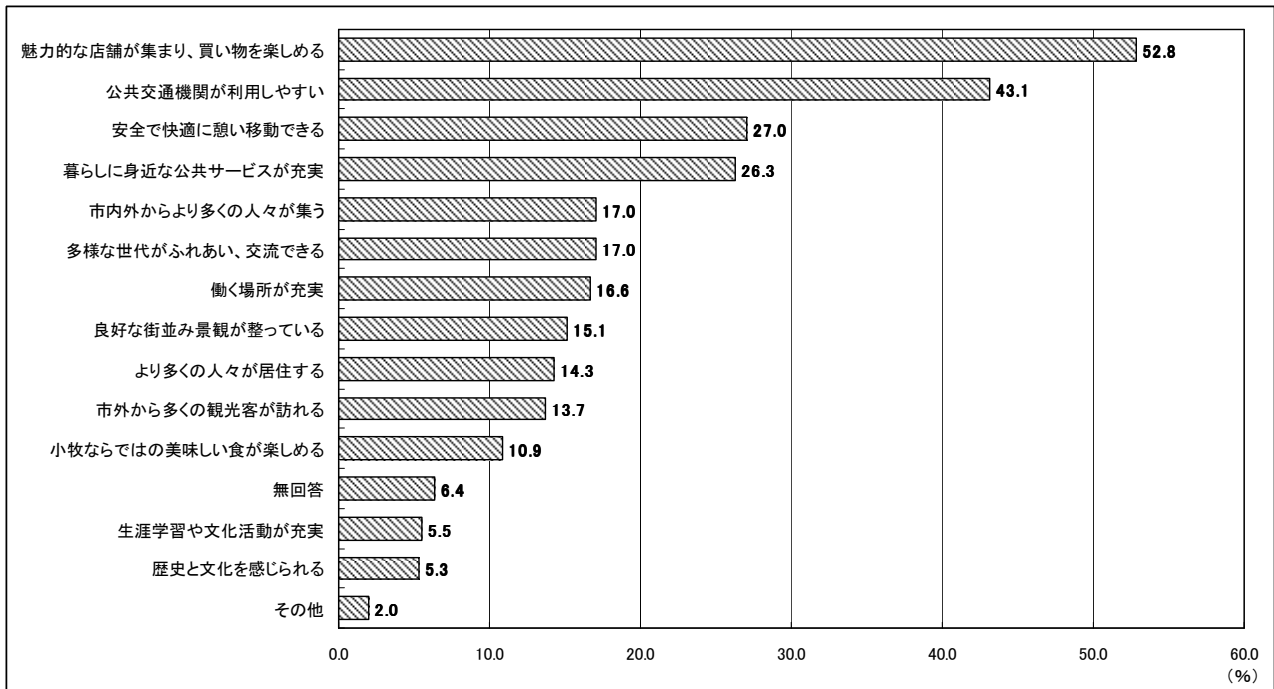


図 3-4-3 今後、中心市街地が目指すべき姿

歴史や文化が薫る、良好な街並み景観が整った市街地	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい市街地	歩行者や自転車利用者が安全で快適に軽い移動できる空間が整った市街地	中心市街地区域周辺に点在する歴史的建物が保存され歴史と文化を感じられる市街地	名古屋コーチンや桃などの小牧ならではの美味しい食が楽しめる市街地	史跡小牧山などの市内の観光資源が整備され、市外から多くの観光客が訪れる市街地	その他	無回答
180 (15.1)	513 (43.1)	321 (27.0)	63 (5.3)	129 (10.9)	163 (13.7)	24 (2.0)	76 (6.4)
94 (17.2)	204 (37.4)	164 (30.0)	35 (6.4)	61 (11.2)	94 (17.2)	13 (2.4)	33 (6.0)
88 (13.9)	291 (45.9)	165 (26.0)	29 (4.6)	59 (9.3)	76 (12.0)	12 (1.9)	53 (8.4)
1 (11.1)	6 (66.7)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)
18 (15.4)	50 (42.7)	24 (20.5)	8 (6.8)	22 (18.8)	21 (17.9)	1 (0.9)	7 (6.0)
25 (15.1)	72 (43.4)	45 (27.1)	5 (3.0)	21 (12.7)	13 (7.8)	3 (1.8)	7 (4.2)
25 (14.1)	92 (52.0)	47 (26.6)	8 (4.5)	22 (12.4)	21 (11.9)	6 (3.4)	6 (3.4)
36 (19.6)	76 (41.3)	52 (28.3)	13 (7.1)	16 (8.7)	19 (10.3)	2 (1.1)	10 (5.4)
52 (18.2)	110 (38.5)	95 (33.2)	20 (7.0)	22 (7.7)	46 (16.1)	10 (3.5)	21 (7.3)
25 (10.3)	90 (37.0)	66 (27.2)	11 (4.5)	17 (7.0)	49 (20.2)	3 (1.2)	34 (14.0)

(3) 中心市街地への定住意向

問 18) あなたは、中心市街地に住んでいますか。または、住んでみたいと思いますか。

問 18-1) 住んでみて良かった点、または、住んでみたい理由は何ですか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

問 18-2) 中心市街地に住んでいる、または、住む場合に希望する住宅の種類は何ですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

一住んで良かった点・住みたい理由では、買い物や公共交通機関の利便性、医療機関の近さを挙げる回答が多い一

○「住んでいないし、住みたくない」が 67.3%で最も高く、「住んでいる（回答比率 12.6%）」と「住んでいないが、住んでみたい（14.4%）」は合計 27.0%となっています。

○住んでみて良かった点や住んでみたい理由では、「日常的な買い物に便利」が 38.9%で最も高く、以下、「鉄道やバスが利用しやすい」の 32.6%、「病院や診療所などの医療機関が近い」が 31.1%の順となっています。

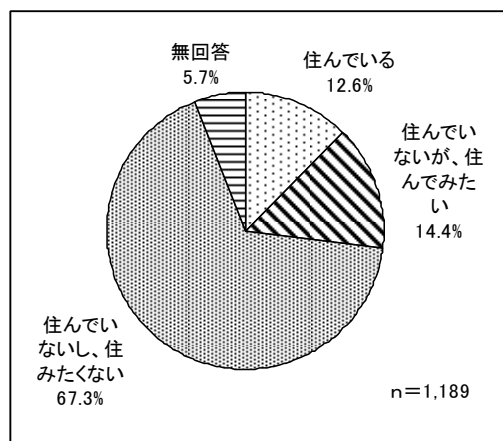


図 3-4-4 中心市街地への定住意向

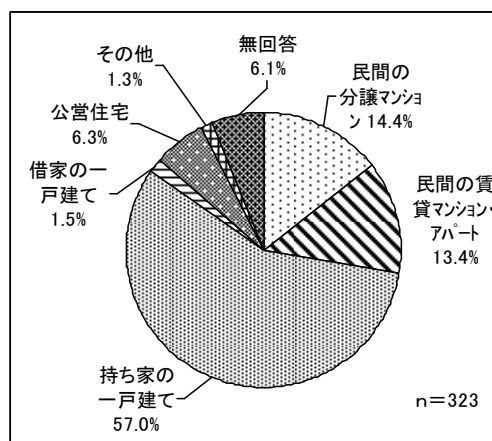


図 3-4-5 中心市街地に住んでいる・住む場合の住宅

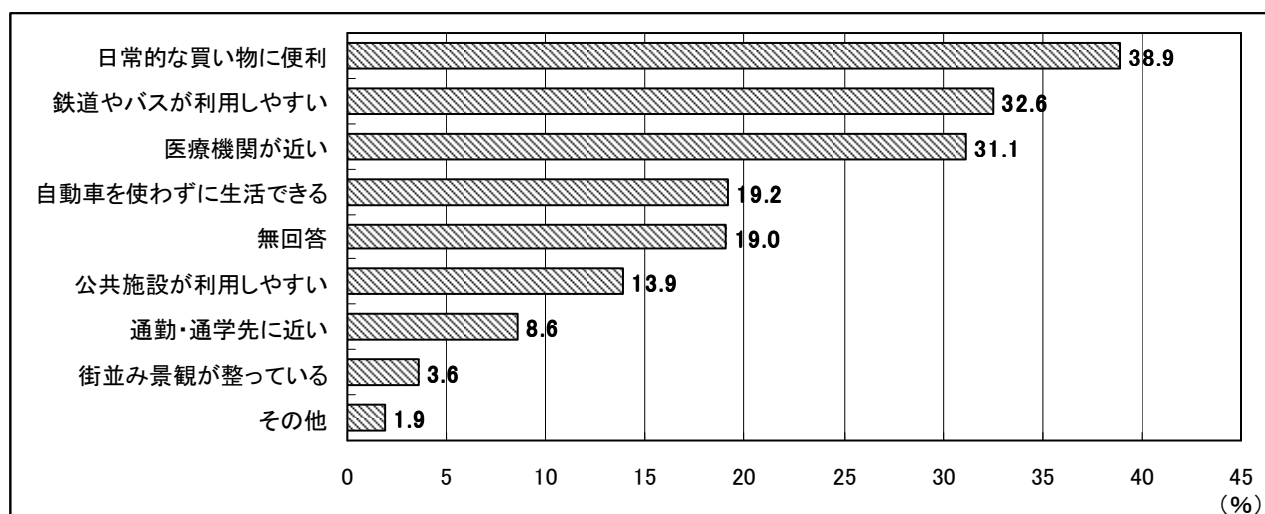


図 3-4-6 中心市街地に住んでみて良かった点・住みたい理由

○中心市街地に住んでいる、又は住む場合に希望する住宅は、いずれの年代も「持ち家の一戸建て」が最も高く、特に40歳代を除く全ての年代で5割を超えています。

表3-4-2 中心市街地への定住意向

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		合計	住んでいる	住んでいないが、住んでみたい	住んでいないし、住みたくない	無回答
全体		1,189 (100.0)	150 (12.6)	171 (14.4)	800 (67.3)	68 (5.7)
性別	男性	546 (100.0)	61 (11.2)	64 (11.7)	394 (72.2)	27 (4.9)
	女性	634 (100.0)	95 (15.0)	100 (15.8)	388 (61.2)	51 (8.0)

表3-4-3 中心市街地に住んで良かった点・住みたい理由

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	鉄道やバスが利用しやすい	日常的な買い物に便利	病院や診療所など医療機関が近い	公共施設が利用しやすい	通勤・通学先に近い	自動車を使わずに生活できる	街並み景観が整っている	その他	無回答
全体		323	547	105 (32.6)	126 (38.9)	101 (31.1)	45 (13.9)	28 (8.6)	62 (19.2)	12 (3.6)	6 (1.9)	62 (19.0)
性別	男性	125	205	37 (29.6)	49 (39.2)	39 (31.2)	15 (12.0)	8 (6.4)	18 (14.4)	5 (4.0)	3 (2.4)	31 (24.8)
	女性	195	343	61 (31.3)	82 (42.1)	70 (35.9)	28 (14.4)	18 (9.2)	47 (24.1)	5 (2.6)	4 (2.1)	28 (14.4)

表3-4-4 中心市街地に住んでいる・住む場合の住宅

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		合計	民間の分譲マンション	民間の賃貸マンション・アパート	持ち家の一戸建て	借家の一戸建て	公営住宅	その他	無回答
全体		321 (100.0)	46 (14.4)	43 (13.4)	183 (57.0)	5 (1.5)	20 (6.3)	4 (1.3)	20 (6.1)
性別	男性	125 (100.0)	15 (12.0)	22 (17.6)	66 (52.8)	2 (1.6)	9 (7.2)	1 (0.8)	10 (8.0)
	女性	195 (100.0)	30 (15.4)	14 (7.2)	117 (60.0)	3 (1.5)	16 (8.2)	4 (2.1)	11 (5.6)
年齢	10歳代	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	38 (100.0)	4 (10.5)	10 (26.3)	21 (55.3)	1 (2.6)	0 (-)	0 (-)	2 (5.3)
	30歳代	34 (100.0)	7 (20.6)	6 (17.6)	18 (52.9)	0 (-)	1 (2.9)	0 (-)	2 (5.9)
	40歳代	49 (100.0)	10 (20.4)	11 (22.4)	21 (42.9)	1 (2.0)	3 (6.1)	0 (-)	3 (6.1)
	50歳代	47 (100.0)	10 (21.3)	3 (6.4)	30 (63.8)	0 (-)	2 (4.3)	1 (2.1)	1 (2.1)
	60歳代	69 (100.0)	7 (10.1)	3 (4.3)	37 (53.6)	2 (2.9)	13 (18.8)	1 (1.4)	6 (8.7)
	70歳以上	83 (100.0)	7 (8.4)	3 (3.6)	57 (68.7)	1 (1.2)	6 (7.2)	2 (2.4)	7 (8.4)

5 個別のまちづくり課題【問 19～28】

(1) ごみの減量

問 19) 小牧市は、ごみを減量するために、資源・ごみの分別収集を実施しています。今後さらにごみの減量を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

—前回調査と同様、「資源を出せる場所を増やす」が最も多い—

- 「資源を出せる場所（資源回収ステーション等）を増やす」が 48.0%で最も高く、以下、「多くの市民がごみの問題を学習できるような機会を増やす」の 40.3%、「ごみの減量に関する情報の提供を充実させる（ホームページ、広報等）」の 38.9%の順となっています。
- 前回調査（平成 18 年度）と比べ、順位は同一となっているものの、その内訳では「市民がごみの問題を学習できるような機会を増やす」が 45.6%から 5.3 ポイント減少している一方、「ごみの減量に関する情報の提供を充実させる」が 33.7%から 5.2 ポイント増加しているのが比較的目的立ちます。
- 年齢別にみると、20 歳代と 70 歳以上では「多くの市民がごみの問題を学習できるような機会を増やす」が最も高くなっています。

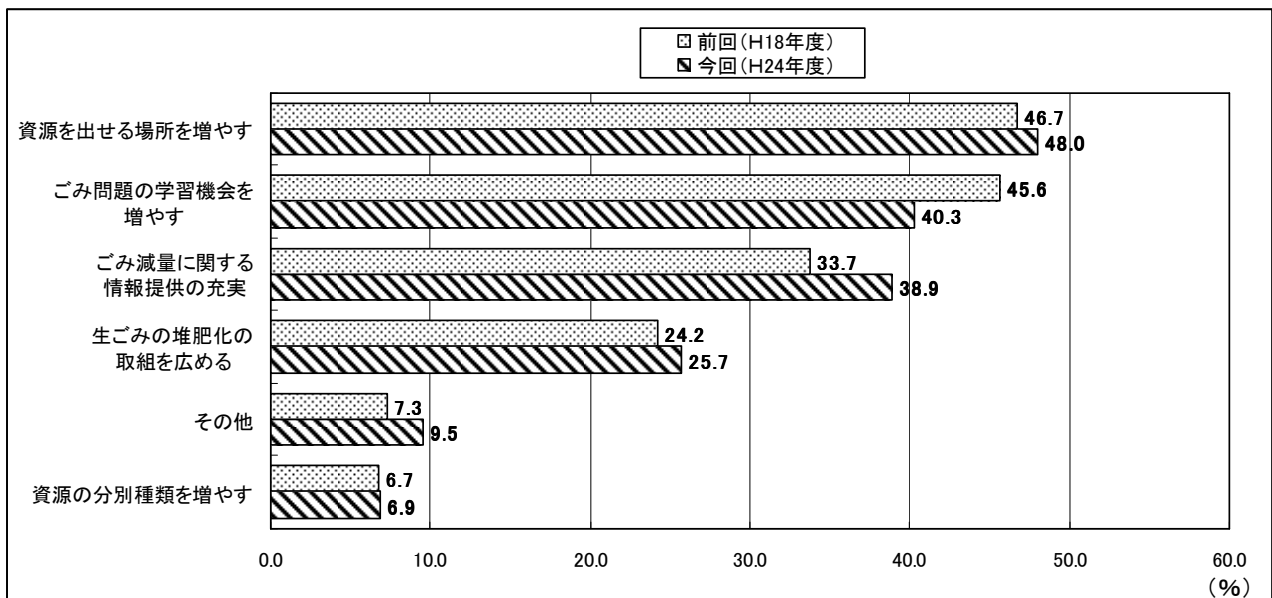


図 3-5-1 ごみの減量を進めていくために必要だと思うこと

表3-5-1 ごみの減量を進めていくために必要だと思うこと

(上段：回答数、下段：比率(％))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	子どもから大人まで多くの市民がごみの問題を学習できるような機会を増やす	ごみの減量に関する情報の提供を充実させる(ホームページ、広報等)	生ごみ処理機購入補助などによる生ごみの堆肥化の取組を広める	資源を出せる場所(資源回収ステーション等)を増やす	資源の分別種類を増やす	その他	無回答
全体		1,189	2,064	479 (40.3)	462 (38.9)	306 (25.7)	571 (48.0)	82 (6.9)	113 (9.5)	51 (4.3)
性別	男性	546	960	214 (39.2)	217 (39.7)	146 (26.7)	250 (45.8)	45 (8.2)	65 (11.9)	23 (4.2)
	女性	634	1,090	266 (42.0)	243 (38.3)	151 (23.8)	313 (49.4)	35 (5.5)	46 (7.3)	36 (5.7)
年齢	10歳代	9	16	3 (33.3)	5 (55.6)	3 (33.3)	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	0 (-)
	20歳代	117	201	53 (45.3)	43 (36.8)	32 (27.4)	50 (42.7)	7 (6.0)	13 (11.1)	3 (2.6)
	30歳代	166	289	63 (38.0)	61 (36.7)	49 (29.5)	90 (54.2)	6 (3.6)	19 (11.4)	1 (0.6)
	40歳代	177	308	69 (39.0)	61 (34.5)	42 (23.7)	103 (58.2)	15 (8.5)	12 (6.8)	6 (3.4)
	50歳代	184	314	62 (33.7)	83 (45.1)	44 (23.9)	91 (49.5)	11 (6.0)	21 (11.4)	2 (1.1)
	60歳代	286	514	129 (45.1)	115 (40.2)	75 (26.2)	132 (46.2)	22 (7.7)	25 (8.7)	16 (5.6)
	70歳以上	243	413	103 (42.4)	94 (38.7)	54 (22.2)	95 (39.1)	17 (7.0)	20 (8.2)	30 (12.3)

(2) 環境

問 20) 温室効果ガスの排出量の増加などにより引き起こされている地球温暖化への対策が求められています。小牧市が地球温暖化防止に配慮した行動を普及させるために、さらにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－「再生可能エネルギーの活用に対して

補助などを行って支援する」が 58.3%で突出して高い－

- 「再生可能エネルギーの活用に対して補助などを行って支援する」が 58.3%で突出しており、以下、「家庭や学校、地域などで地球温暖化の防止について学ぶ機会をつくる」の 38.4%、「クールビズ・ウォームビズや自転車・公共交通機関を利用するなどの実践運動を積極的に展開する」の 37.8%の順となっています。
- 年齢別にみると、10 歳代～50 歳代まではいずれも「再生可能エネルギーの活用に対して補助などを行って支援する」、また、60 歳代以上では「家庭や学校、地域などで地球温暖化の防止について学ぶ機会をつくる」が最も高くなっています。
- 60 歳代以上では、「省エネの効果や必要性について広報活動を充実させる」が他の年代に比べ、高い回答比率となっているのが目立ちます。

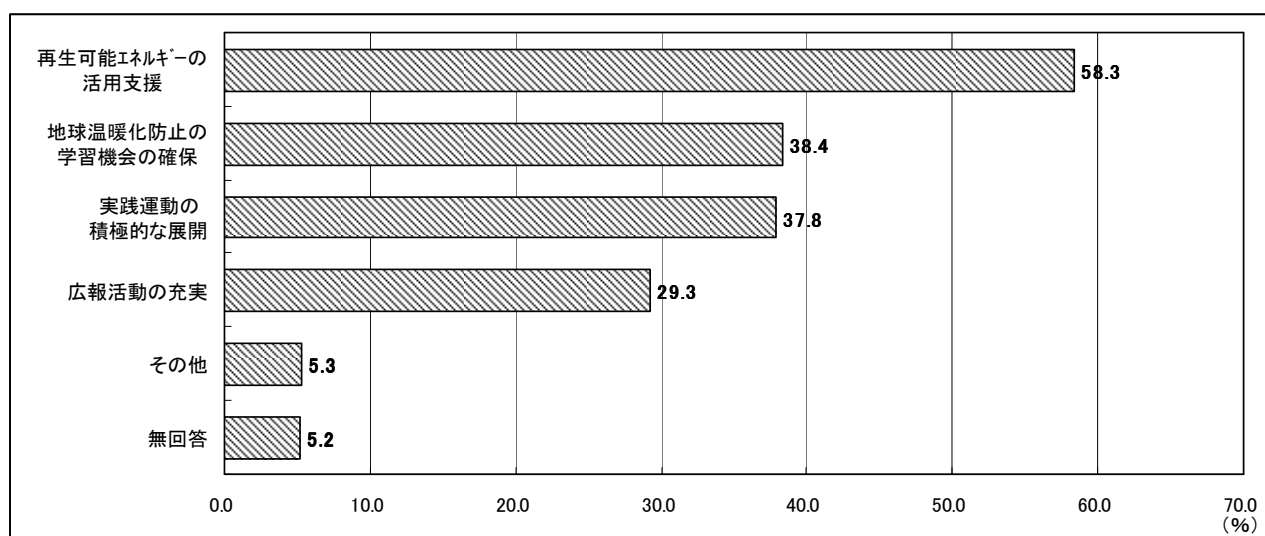


図 3-5-2 地球温暖化防止に配慮した行動を普及させるために力を入れるべきこと

表3-5-2 地球温暖化防止に配慮した行動を普及させるために力を入れるべきこと

(上段：回答数、下段：比率(％))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	家庭や学校、地域などで、地球温暖化防止について学ぶ機会をつくる	クールビズ・ウォームビズや自転車・公共交通機関を利用するなどの実践運動を積極的に展開する	省エネの効果や必要性について広報活動を充実させる	太陽光発電システムなど再生可能エネルギーの活用に対して補助などを行って支援する	その他	無回答
全体		1,189	2,073	456 (38.4)	450 (37.8)	348 (29.3)	694 (58.3)	63 (5.3)	62 (5.2)
性別	男性	546	967	215 (39.4)	206 (37.7)	183 (33.5)	298 (54.6)	37 (6.8)	28 (5.1)
	女性	634	1,093	253 (39.9)	232 (36.6)	194 (30.6)	349 (55.0)	22 (3.5)	43 (6.8)
年齢	10歳代	9	16	4 (44.4)	2 (22.2)	2 (22.2)	8 (88.9)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	207	35 (29.9)	60 (51.3)	21 (17.9)	79 (67.5)	10 (8.5)	2 (1.7)
	30歳代	166	278	56 (33.7)	62 (37.3)	35 (21.1)	111 (66.9)	9 (5.4)	5 (3.0)
	40歳代	177	313	70 (39.5)	61 (34.5)	46 (26.0)	118 (66.7)	12 (6.8)	6 (3.4)
	50歳代	184	311	58 (31.5)	78 (42.4)	51 (27.7)	110 (59.8)	9 (4.9)	5 (2.7)
	60歳代	286	515	128 (44.8)	103 (36.0)	124 (43.4)	127 (44.4)	11 (3.8)	22 (7.7)
	70歳以上	243	425	120 (49.4)	74 (30.5)	98 (40.3)	95 (39.1)	8 (3.3)	30 (12.3)

(3) 景観

問 21) 良好な都市景観づくりには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－前回調査と同様、「山や丘陵、水辺などの資源景観を残す」が最も高い－

○「山や丘陵、水辺などの自然景観を残す」が 56.2%で最も高く、以下、「看板や広告塔等の屋外広告物を規制し、道路沿いの景観をきれいにする」の 37.7%、「古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全再生をしていく」の 33.3%の順となっています。

○前回調査（平成 18 年度）と比べると、「看板や広告塔等の屋外広告物を規制し、道路沿いの景観をきれいにする」が 44.8%から 7.1 ポイント減少している一方、「古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全再生をしていく」が 21.8%から 11.5 ポイント大きく増加しているのが特徴的といえます。

○年齢別にみても、全ての年代で「山や丘陵、水辺などの自然景観を残す」が最も高くなっているほか、20 歳代及び 60 歳代以上では「敷地内の緑の保護や生垣などの身近な緑を増やす」が、他の年代に比べ高い回答比率となっています。

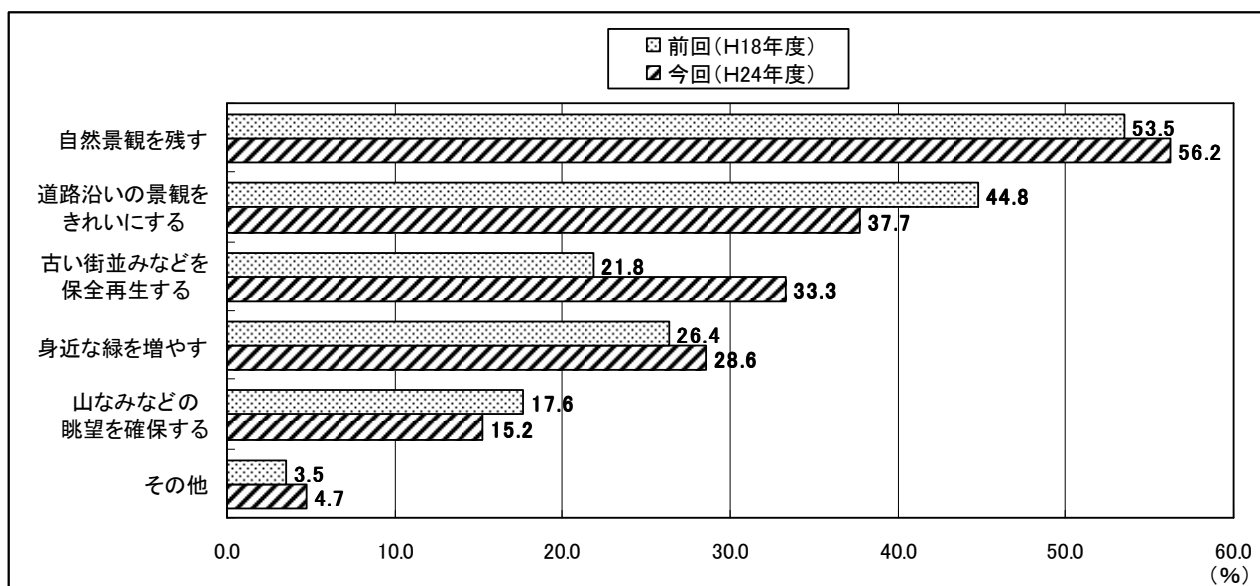


図 3-5-3 良好な景観づくりのために必要な取組

表3-5-3 良好な景観づくりのために必要な取組

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	山や丘陵、水辺などの自然景観を残す	建物の高さや立地を規制し、山なみなどの眺望を確保する	看板や広告塔等の屋外広告物を規制し、道路沿いの景観をきれいにする	古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全再生をしている	敷地内の緑の保護や生垣などの身近な緑を増やす	その他	無回答
全体		1,189	2,142	668 (56.2)	181 (15.2)	449 (37.7)	396 (33.3)	340 (28.6)	56 (4.7)	52 (4.3)
性別	男性	546	994	313 (57.3)	82 (15.0)	207 (37.9)	173 (31.7)	167 (30.6)	26 (4.8)	26 (4.8)
	女性	634	1,145	358 (56.5)	103 (16.2)	253 (39.9)	203 (32.0)	174 (27.4)	25 (3.9)	29 (4.6)
年齢	10歳代	9	17	6 (66.7)	1 (11.1)	3 (33.3)	4 (44.4)	2 (22.2)	1 (11.1)	0 (-)
	20歳代	117	207	59 (50.4)	19 (16.2)	35 (29.9)	45 (38.5)	41 (35.0)	5 (4.3)	3 (2.6)
	30歳代	166	289	92 (55.4)	19 (11.4)	58 (34.9)	56 (33.7)	47 (28.3)	12 (7.2)	5 (3.0)
	40歳代	177	315	100 (56.5)	24 (13.6)	63 (35.6)	72 (40.7)	39 (22.0)	8 (4.5)	9 (5.1)
	50歳代	184	335	100 (54.3)	27 (14.7)	74 (40.2)	63 (34.2)	53 (28.8)	13 (7.1)	5 (2.7)
	60歳代	286	538	188 (65.7)	47 (16.4)	126 (44.1)	72 (25.2)	87 (30.4)	8 (2.8)	10 (3.5)
	70歳以上	243	442	125 (51.4)	50 (20.6)	102 (42.0)	65 (26.7)	72 (29.6)	4 (1.6)	24 (9.9)

(4) 子育て支援

問 22) 日常の子育てを楽しく、安心して行うために、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

—概ね全ての年代で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も望まれている—

- 「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が 48.2%で最も高く、以下、「親の不安や悩みの相談」の 30.2%、「親のリフレッシュの場や機会の提供」の 21.6%の順となっています。
- 年齢別にみると、概ね全ての年代で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も高くなっているほか、実際に子育てをしている当事者が多く含まれていると考えられる 20 歳代では、「子育て中の親同士の仲間づくり」、30 歳代と 40 歳代では、「親のリフレッシュの場や機会の提供」が他の年代に比べ回答比率が高くなっています。

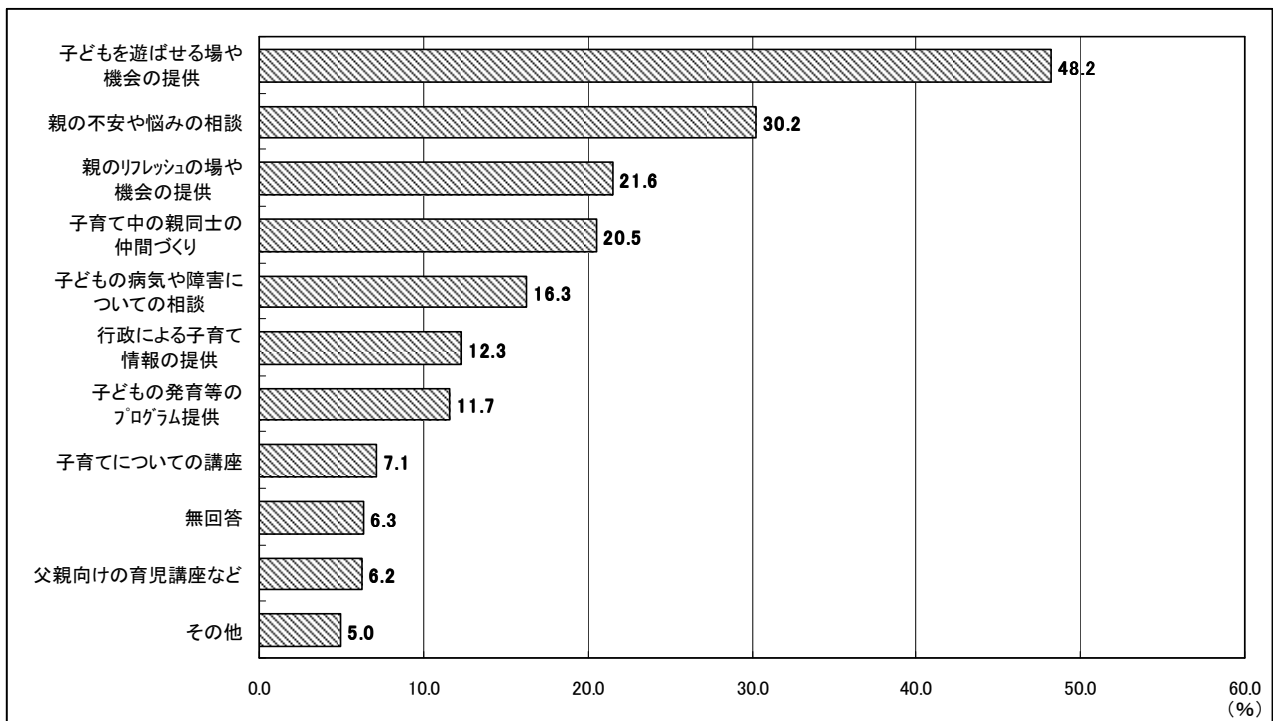


図 3-5-4 日常の子育てを楽しく、安心して行うために特に力を入れるべきこと

表3-5-4 日常の子育てを楽しく、安心して行うために特に力を入れるべきこと

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	子育てについての講座	子どもの発育や幼児教育のプログラムの提供	子どもを遊ばせる場や機会の提供	子どもの病気や障害についての相談	子育て中の親同士の仲間づくり	父親向けの育児講座など	親の不安や悩みの相談	親のリフレッシュの場や機会の提供	行政による子育て情報の提供	その他	無回答
全体		1,189	2,204	85 (7.1)	139 (11.7)	573 (48.2)	194 (16.3)	244 (20.5)	74 (6.2)	359 (30.2)	256 (21.6)	146 (12.3)	59 (5.0)	75 (6.3)
性別	男性	546	1,007	51 (9.3)	62 (11.4)	275 (50.4)	87 (15.9)	111 (20.3)	27 (4.9)	159 (29.1)	92 (16.8)	78 (14.3)	30 (5.5)	35 (6.4)
	女性	634	1,174	34 (5.4)	67 (10.6)	295 (46.5)	92 (14.5)	131 (20.7)	43 (6.8)	207 (32.6)	151 (23.8)	80 (12.6)	24 (3.8)	50 (7.9)
年齢	10歳代	9	17	0 (-)	1 (11.1)	1 (11.1)	3 (33.3)	2 (22.2)	2 (22.2)	2 (22.2)	4 (44.4)	0 (-)	1 (11.1)	1 (11.1)
	20歳代	117	216	9 (7.7)	15 (12.8)	52 (44.4)	23 (19.7)	38 (32.5)	6 (5.1)	31 (26.5)	24 (20.5)	10 (8.5)	5 (4.3)	3 (2.6)
	30歳代	166	312	7 (4.2)	28 (16.9)	99 (59.6)	28 (16.9)	26 (15.7)	9 (5.4)	40 (24.1)	47 (28.3)	14 (8.4)	11 (6.6)	3 (1.8)
	40歳代	177	336	16 (9.0)	22 (12.4)	95 (53.7)	30 (16.9)	22 (12.4)	11 (6.2)	62 (35.0)	38 (21.5)	20 (11.3)	14 (7.9)	6 (3.4)
	50歳代	184	340	11 (6.0)	24 (13.0)	78 (42.4)	31 (16.8)	41 (22.3)	5 (2.7)	72 (39.1)	37 (20.1)	29 (15.8)	5 (2.7)	7 (3.8)
	60歳代	286	533	23 (8.0)	23 (8.0)	144 (50.3)	32 (11.2)	57 (19.9)	20 (7.0)	101 (35.3)	55 (19.2)	45 (15.7)	11 (3.8)	22 (7.7)
	70歳以上	243	431	21 (8.6)	15 (6.2)	100 (41.2)	33 (13.6)	58 (23.9)	18 (7.4)	59 (24.3)	38 (15.6)	39 (16.0)	7 (2.9)	43 (17.7)

(5) 高齢社会の対策

問 23) 本格的な高齢社会の到来に向けて、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

—60 歳代以上では「老人ホームなどの福祉施設や
在宅介護などのサービスを充実する」が最も高い—

- 「高齢者が働く場を拡げる」が 46.0%で最も高く、次いで「高齢者が生きがいを持てるような社会参加（生涯学習、ボランティアなど）の機会を提供する」の 45.0%、「老人ホームなどの福祉施設や在宅介護などのサービスを充実する」の 44.5%の順であり、上位3位までの回答比率はきつ抗しています。
- 年齢別にみると、30 歳代～50 歳代では「高齢者が働く場を拡げる」、実際の取組の受益者ともいえる 60 歳代以上では「老人ホームなどの福祉施設や在宅介護などのサービスを充実する」が最も高くなっています。
- 70 歳以上では、「地域の人たちが互いに支えあえる仕組みづくりを進める」が他の年代に比べ回答比率の高さが目立ちます。

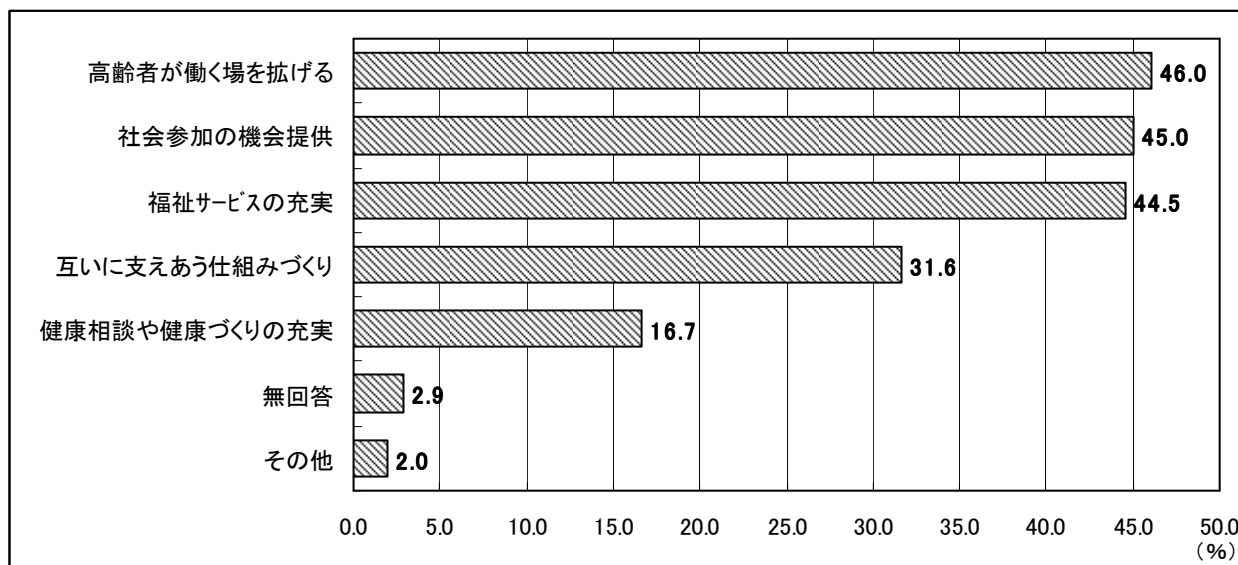


図 3-5-5 本格的な高齢社会の到来に向け、特に力を入れるべきこと

表3-5-5 本格的な高齢社会の到来に向け、特に力を入れるべきこと
 (上段：回答数、下段：比率(%))
 注)「網掛・白太字」は第1位

	回答者数	合計	本格的な高齢社会の到来に向け、特に力を入れるべきこと						
			高齢者が働く場を拓ける	高齢者が生きがいを持てるような社会参加(生涯学習、ボランティアなど)の機会を提供する	地域の人たちが互いに支えあえる仕組みづくりを進める	健康相談や健康づくりをする機会を充実する	老人ホームなどの福祉施設や在宅介護などのサービスを充実する	その他	無回答
全体	1,189	2,244	547 (46.0)	535 (45.0)	376 (31.6)	198 (16.7)	530 (44.5)	24 (2.0)	34 (2.9)
性別	男性	546	253 (46.3)	243 (44.5)	168 (30.8)	107 (19.6)	233 (42.7)	14 (2.6)	14 (2.6)
	女性	634	269 (42.4)	274 (43.2)	214 (33.8)	99 (15.6)	308 (48.6)	12 (1.9)	22 (3.5)
年齢	10歳代	9	3 (33.3)	4 (44.4)	4 (44.4)	0 (-)	6 (66.7)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	54 (46.2)	63 (53.8)	42 (35.9)	17 (14.5)	35 (29.9)	2 (1.7)	4 (3.4)
	30歳代	166	95 (57.2)	85 (51.2)	42 (25.3)	20 (12.0)	65 (39.2)	1 (0.6)	4 (2.4)
	40歳代	177	92 (52.0)	77 (43.5)	41 (23.2)	35 (19.8)	87 (49.2)	4 (2.3)	2 (1.1)
	50歳代	184	104 (56.5)	80 (43.5)	49 (26.6)	30 (16.3)	86 (46.7)	5 (2.7)	1 (0.5)
	60歳代	286	114 (39.9)	123 (43.0)	106 (37.1)	48 (16.8)	140 (49.0)	4 (1.4)	9 (3.1)
	70歳以上	243	60 (24.7)	86 (35.4)	101 (41.6)	57 (23.5)	120 (49.4)	10 (4.1)	17 (7.0)

(6) 生き方

問 24) 近年、団塊の世代と呼ばれる人たちが社会の第一線を退く時期を迎えています。あなたが第一線を退くとき、あなたならどのような生き方をしたいですか。すでに第二の人生を歩んでおられる方は今のお気持ちで、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

—60 歳代以上では「健康に気をつけ、自分の趣味を
楽しみながら生きていく」が最も高い—

- 「健康に気をつけ、自分の趣味を楽しみながら生きていく」が 51.1%で最も高く、「可能な限り、収入を得るために働く」が 18.6%でこれに次いでいます。
- 年齢別にみると、60 歳代以上では「健康に気をつけ、自分の趣味を楽しみながら生きていく」がともに 50%以上となっているほか、「可能な限り、収入を得るために働く」は年代が上がるにつれて回答比率が低下し、60 歳代では 16.1%、70 歳以上では 7.4%となっています。
- 前回調査（平成 18 年度）と比べると、70 歳以上では「可能な限り、収入を得るために働く」が 14.1%から概ね半減しているのが目立ちます。

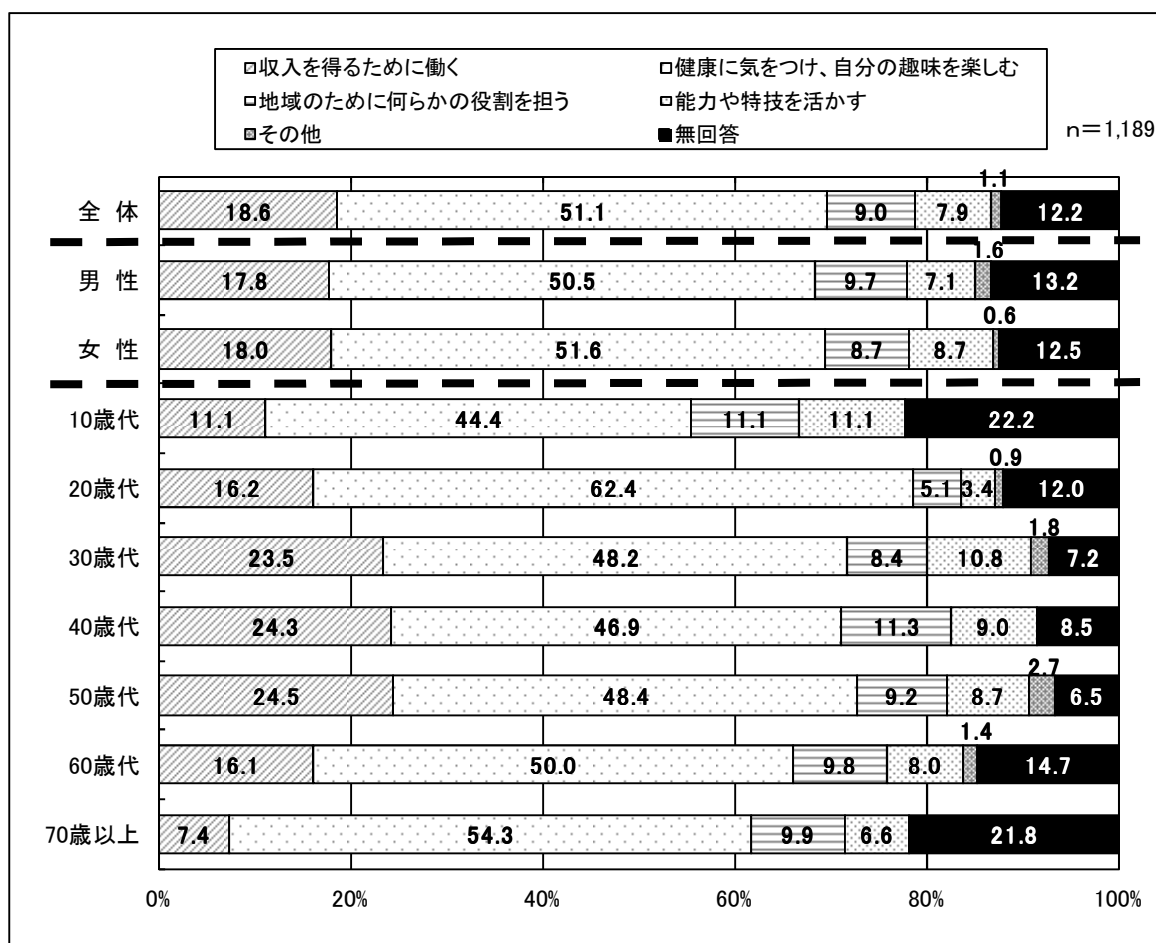


図 3-5-6 社会の第一線を退いた後の生き方（今回調査：H24 年度）

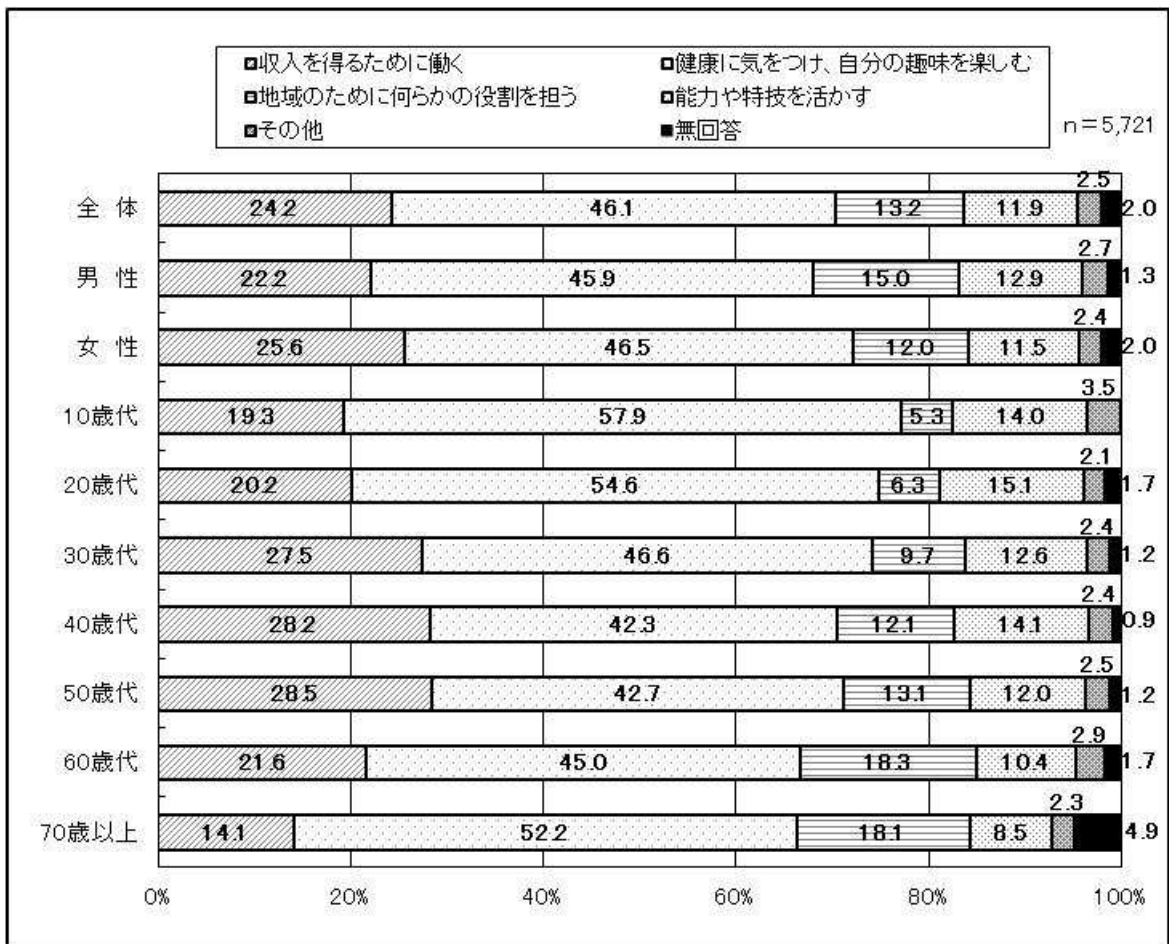


図3-5-7 社会の第一線を退いた後の生き方（前回調査：H18年度）

(7) 教育

問 25) 子どもたちの豊かな心と自立性をはぐくむため、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

—30 歳代以下では「学校・地域・警察などの連携による非行防止」、
40 歳代以上では「温かい家庭づくりなどの家庭教育の推進」が最も高い—

○「温かい家庭づくりなどの家庭教育の推進」が 47.6%で最も高く、以下、「学校・地域・警察などの連携による非行防止」の 44.8%、「地域と連携した学校づくり」の 33.1%の順となっています。

○年齢別にみると、実際に幼稚園や小・中学校に通う子どもを持つ親たちが多く含まれていると考えられる世代のうち、20 歳代と 30 歳代では「学校・地域・警察などの連携による非行防止」、40 歳代では「温かい家庭づくりなどの家庭教育の推進」が最も高くなっています。

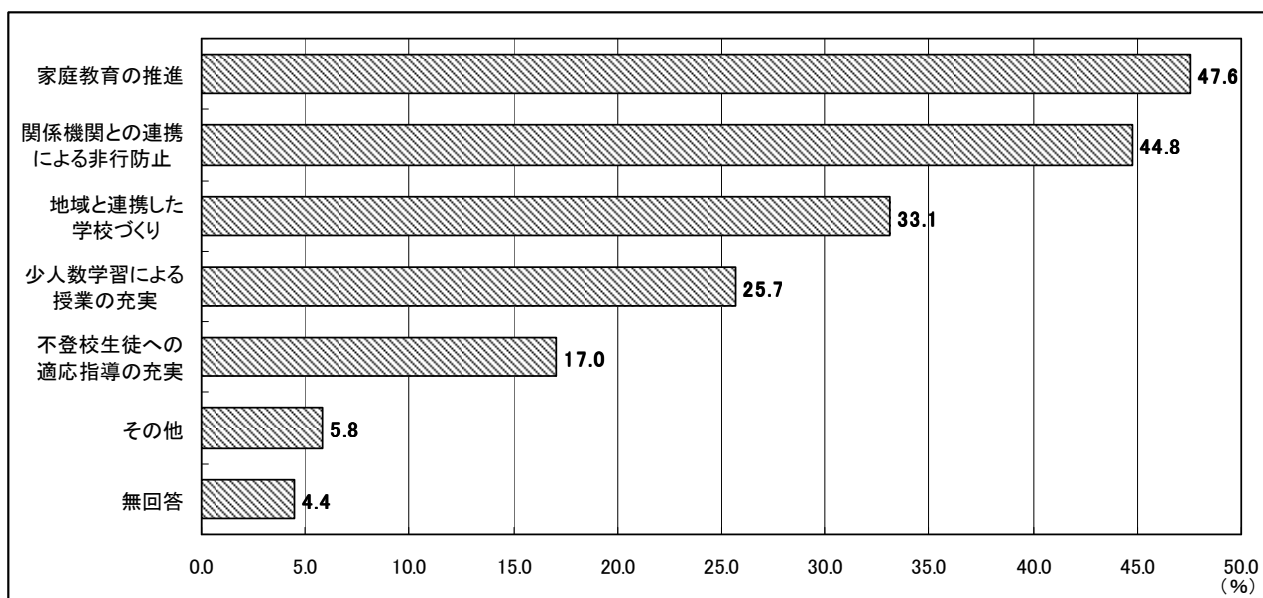


図 3-5-8 子どもたちの豊かな心と自立性を育むため、特に力を入れるべきこと

表3-5-6 子どもたちの豊かな心と自立性を育むため、特に力を入れるべきこと

(上段：回答数、下段：比率(％))

注)「網掛・白太字」は第1位

	回答者数	合計	温かい家庭づくりなどの家庭教育の推進	不登校生徒への適応指導の充実	少人数学習による授業の充実	学校・地域・警察などの連携による非行防止	地域と連携した学校づくり	その他	無回答
			(47.6)	(17.0)	(25.7)	(44.8)	(33.1)	(5.8)	(4.4)
全体	1,189	2,122	565 (47.6)	203 (17.0)	305 (25.7)	533 (44.8)	394 (33.1)	69 (5.8)	53 (4.4)
性別	男性	546	270 (49.5)	88 (16.1)	109 (20.0)	263 (48.2)	195 (35.7)	27 (4.9)	22 (4.0)
	女性	634	315 (49.7)	101 (15.9)	175 (27.6)	271 (42.7)	201 (31.7)	35 (5.5)	38 (6.0)
年齢	10歳代	9	3 (33.3)	4 (44.4)	3 (33.3)	4 (44.4)	1 (11.1)	1 (11.1)	0 (-)
	20歳代	117	52 (44.4)	25 (21.4)	32 (27.4)	57 (48.7)	33 (28.2)	6 (5.1)	2 (1.7)
	30歳代	166	65 (39.2)	26 (15.7)	55 (33.1)	69 (41.6)	62 (37.3)	14 (8.4)	4 (2.4)
	40歳代	177	78 (44.1)	33 (18.6)	56 (31.6)	69 (39.0)	60 (33.9)	14 (7.9)	5 (2.8)
	50歳代	184	84 (45.7)	26 (14.1)	50 (27.2)	81 (44.0)	72 (39.1)	12 (6.5)	2 (1.1)
	60歳代	286	167 (58.4)	32 (11.2)	60 (21.0)	137 (47.9)	100 (35.0)	8 (2.8)	17 (5.9)
	70歳以上	243	138 (56.8)	42 (17.3)	28 (11.5)	119 (49.0)	69 (28.4)	7 (2.9)	30 (12.3)

(8) 外国人との共生

問 26) 外国人との共生を進める上で、地域、企業や市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

—前回調査に比べ「外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する」が6ポイント増加—

- 「外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する（文化祭、体育祭、防災訓練、清掃など）」が 40.9%で最も高く、以下、「外国人に日本語や日本の生活についての学習機会を提供する」の 36.3%、「日頃から外国人も含めた地域住民の交流に努める（挨拶など）」の 29.4%の順となっています。
- 年齢別にみると、30 歳代と 40 歳代では「外国人に日本語や日本の生活についての学習機会を提供する」、その他の世代ではいずれも「外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する」が最も高くなっています。
- 前回調査（平成 18 年度）と比べると、「外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する」が 34.9%から 6 ポイント増加しているのが比較的目標立ちます。

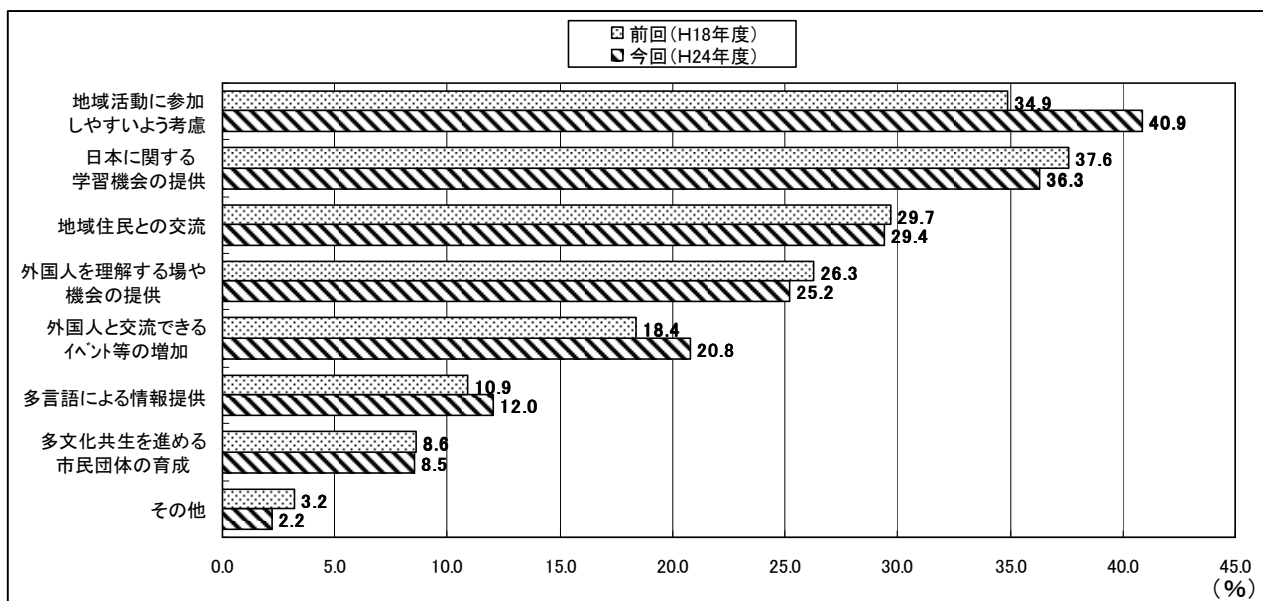


図 3-5-9 外国人との共生を進める上で、特に力を入れるべきこと

表3-5-7 外国人との共生を進める上で、特に力を入れるべきこと

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	日頃から外国人も含めた地域住民の交流に努める(挨拶など)	外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する(文化祭、体育祭、防災訓練、清掃など)	多文化共生を進める市民団体を育成する	外国人に日本語や日本の生活についての学習機会を提供する	多言語による情報提供に努める	外国人の考え方、生活実態を日本人市民が理解する場や機会を提供する	外国人と交流できるイベント等の機会を増やす	その他	無回答
全体		1,189	2,148	350 (29.4)	486 (40.9)	101 (8.5)	432 (36.3)	143 (12.0)	299 (25.2)	247 (20.8)	27 (2.2)	63 (5.3)
性別	男性	546	990	162 (29.7)	237 (43.4)	61 (11.2)	177 (32.4)	39 (7.1)	148 (27.1)	122 (22.3)	18 (3.3)	26 (4.8)
	女性	634	1,144	190 (30.0)	259 (40.9)	47 (7.4)	243 (38.3)	89 (14.0)	153 (24.1)	112 (17.7)	7 (1.1)	44 (6.9)
年齢	10歳代	9	17	3 (33.3)	4 (44.4)	0 (-)	2 (22.2)	3 (33.3)	1 (11.1)	4 (44.4)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	206	35 (29.9)	43 (36.8)	10 (8.5)	40 (34.2)	14 (12.0)	31 (26.5)	27 (23.1)	2 (1.7)	4 (3.4)
	30歳代	166	299	50 (30.1)	59 (35.5)	9 (5.4)	66 (39.8)	23 (13.9)	43 (25.9)	39 (23.5)	4 (2.4)	6 (3.6)
	40歳代	177	323	35 (19.8)	67 (37.9)	14 (7.9)	85 (48.0)	27 (15.3)	47 (26.6)	36 (20.3)	8 (4.5)	4 (2.3)
	50歳代	184	335	63 (34.2)	77 (41.8)	20 (10.9)	64 (34.8)	28 (15.2)	40 (21.7)	34 (18.5)	5 (2.7)	4 (2.2)
	60歳代	286	532	89 (31.1)	143 (50.0)	33 (11.5)	87 (30.4)	20 (7.0)	80 (28.0)	59 (20.6)	3 (1.0)	18 (6.3)
	70歳以上	243	427	80 (32.9)	105 (43.2)	20 (8.2)	77 (31.7)	13 (5.3)	60 (24.7)	35 (14.4)	3 (1.2)	34 (14.0)

(9) 産業

問 27) まちの活力維持・創造の観点から、市の産業を振興し、活性化させるために何が必要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－30 歳代以上では、いずれも「市内企業や起業への支援」が最も高い－

- 「市内企業の操業継続・事業拡大などの支援や起業の支援などによる産業の育成・強化」が 42.4%で最も高く、以下、「先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特性を活かした産業の集積・形成」の 38.3%、「地域ブランド¹の創造やコミュニティビジネス²の促進などによる地域資源を活かした産業の創出」の 27.9%の順となっています。
- 年齢別にみると、30 歳代以上では、いずれの年代も「市内企業の操業継続・事業拡大などの支援や起業の支援などによる産業の育成・強化」が最も高く、「先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特性を活かした産業の集積・形成」がこれに次いでいます。
- 20 歳代以下では、「先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特徴を活かした産業の集積・形成」が最も多くなっています。

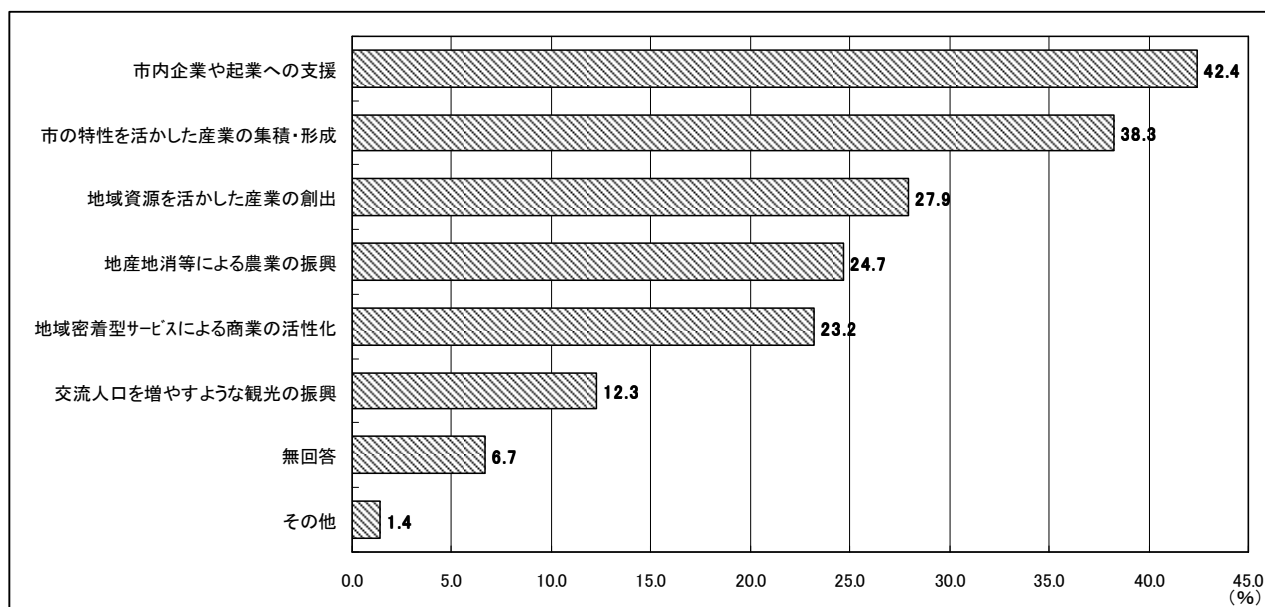


図 3-5-10 市の産業を振興し、活性化させるために必要なこと

¹ 地域の自然・歴史などに関連した商品・サービスのブランド化を通じ、地域の活性化につなげようとする取組のこと。

² 市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生をとおして、その活動の利益を地域に還元する事業のこと。

表3-5-8 市の産業を振興し、活性化させるために必要なこと

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

	回答者数	合計	先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特性を活かした産業の集積・形成	市内企業の操業継続・事業拡大などの支援や起業の支援などによる産業の育成・強化	地域ブランドの創造やコミュニティの促進などによる地域資源を活かした産業の創出	市外からの来訪者を呼び込み、交流人口を増やすような観光の振興	魅力ある商品や宅配などの地域に密着したサービスを提供するような商業の活性化	地産地消の推進や第六次産業などの推進による農業の振興	その他	無回答
			()	()	()	()	()	()	()	()
全体	1,189	2,103	455 (38.3)	504 (42.4)	332 (27.9)	146 (12.3)	276 (23.2)	294 (24.7)	16 (1.4)	80 (6.7)
性別	男性	546	252 (46.2)	258 (47.3)	136 (24.9)	70 (12.8)	108 (19.8)	122 (22.3)	9 (1.6)	30 (5.5)
	女性	634	199 (31.4)	263 (41.5)	180 (28.4)	62 (9.8)	152 (24.0)	177 (27.9)	6 (0.9)	60 (9.5)
年齢	10歳代	9	4 (44.4)	2 (22.2)	3 (33.3)	3 (33.3)	4 (44.4)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	42 (35.9)	32 (27.4)	39 (33.3)	17 (14.5)	35 (29.9)	23 (19.7)	2 (1.7)	6 (5.1)
	30歳代	166	61 (36.7)	78 (47.0)	52 (31.3)	19 (11.4)	35 (21.1)	48 (28.9)	3 (1.8)	4 (2.4)
	40歳代	177	73 (41.2)	75 (42.4)	50 (28.2)	31 (17.5)	49 (27.7)	37 (20.9)	3 (1.7)	4 (2.3)
	50歳代	184	70 (38.0)	74 (40.2)	66 (35.9)	18 (9.8)	31 (16.8)	49 (26.6)	4 (2.2)	9 (4.9)
	60歳代	286	110 (38.5)	155 (54.2)	63 (22.0)	24 (8.4)	53 (18.5)	86 (30.1)	2 (0.7)	23 (8.0)
	70歳以上	243	93 (38.3)	105 (43.2)	43 (17.7)	21 (8.6)	53 (21.8)	55 (22.6)	1 (0.4)	44 (18.1)

(10) 行財政改革

問 28) あなたは、今後小牧市にどのような行政改革を求めますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

—30 歳代以上では、いずれも「職員の意識改革、資質の向上」が最も高い—

○「職員の意識改革、資質の向上」が 46.8%で最も高く、以下、「公共事業や行政サービスの見直し」の 37.2%、「行政事務の効率化」の 31.0%の順となっています。

○年齢別にみると、20 歳代では「公共事業や行政サービスの見直し」、30 歳代以上ではいずれも「職員の意識改革、資質の向上」が最も高くなっています。

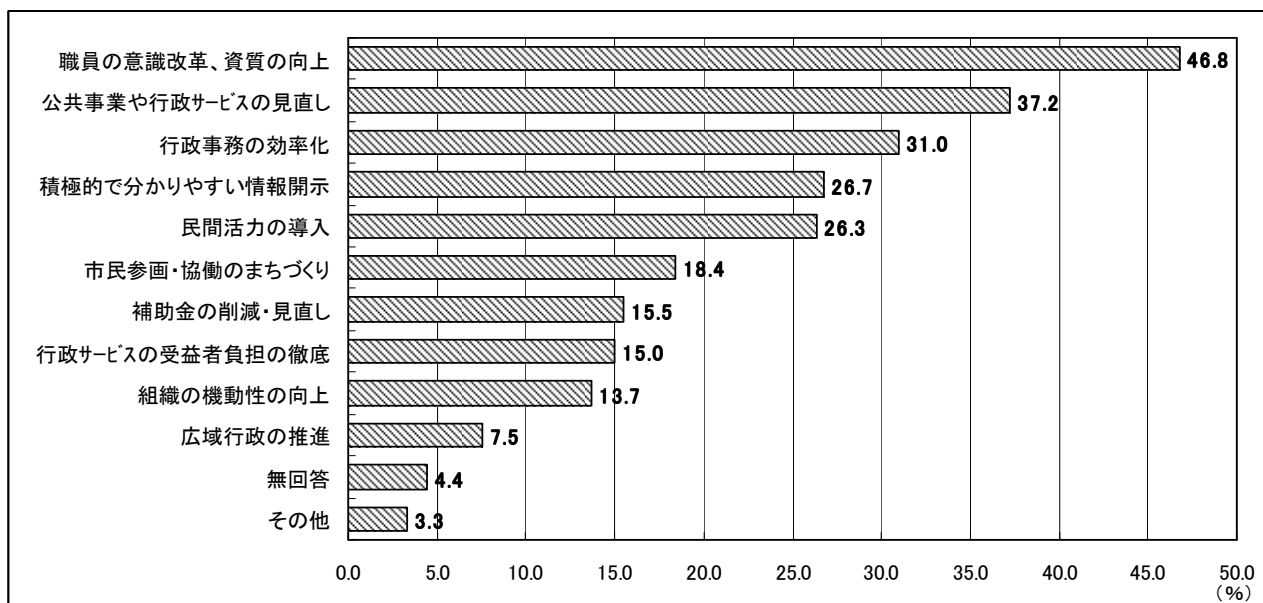


図 3-5-11 今後、小牧市に求める行政改革の取組

表3-5-9 今後、小牧市に求める行政改革の取組

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	職員の 意識改 革、資質 の向上	市民参 画・協働 のまちづ くりの推 進	行政事 務の効 率化	公共事 業や行 政サービ スの見直 し	民間活 力の導 入(民営 化・民間 委託等)	積極的 で分か りやす い情報 開示	行政サ ービス の受益 者負担 の徹底	補助金 の削減 ・見直 し	広域行 政の推 進	組織の 機動性 の向上	その他	無回答
全体		1,189	2,922	556 (46.8)	219 (18.4)	368 (31.0)	443 (37.2)	313 (26.3)	318 (26.7)	178 (15.0)	184 (15.5)	89 (7.5)	162 (13.7)	39 (3.3)	53 (4.4)
性別	男性	546	1,378	272 (49.8)	87 (15.9)	171 (31.3)	206 (37.7)	171 (31.3)	141 (25.8)	85	77	47 (8.6)	74 (13.6)	26 (4.8)	21 (3.8)
	女性	634	1,530	291 (45.9)	124 (19.6)	198 (31.2)	220 (34.7)	143 (22.6)	165 (26.0)	85	107	49 (7.7)	91 (14.4)	14 (2.2)	43 (6.8)
年齢	10歳代	9	21	3 (33.3)	1 (11.1)	2 (22.2)	2 (22.2)	3 (33.3)	6 (66.7)	3	1	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	280	42 (35.9)	32 (27.4)	28 (23.9)	49 (41.9)	25 (21.4)	36 (30.8)	20	21	10 (8.5)	13 (11.1)	2 (1.7)	2 (1.7)
	30歳代	166	415	81 (48.8)	29 (17.5)	52 (31.3)	68 (41.0)	45 (27.1)	50 (30.1)	24	21	6 (3.6)	32 (19.3)	6 (3.6)	1 (0.6)
	40歳代	177	438	85 (48.0)	32 (18.1)	65 (36.7)	76 (42.9)	50 (28.2)	32 (18.1)	26	28	10 (5.6)	21 (11.9)	9 (5.1)	4 (2.3)
	50歳代	184	464	87 (47.3)	35 (19.0)	70 (38.0)	78 (42.4)	51 (27.7)	46 (25.0)	25	23	15 (8.2)	25 (13.6)	6 (3.3)	3 (1.6)
	60歳代	286	719	155 (54.2)	50 (17.5)	82 (28.7)	85 (29.7)	81 (28.3)	81 (28.3)	36	48	26 (9.1)	48 (16.8)	7 (2.4)	20 (7.0)
	70歳以上	243	577	112 (46.1)	34 (14.0)	72 (29.6)	69 (28.4)	58 (23.9)	55 (22.6)	36	43	29 (11.9)	25 (10.3)	10 (4.1)	34 (14.0)

6 市民参画・協働のまちづくり【問 29～34】

(1) 市民参画・協働への意向

問 29) 市民参画・協働について、どのようにお考えですか。以下の①～④のすべての項目について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び○をつけてください。

①小牧市のまちづくりに関心がある

－「そう思う」の回答比率は、年代が上がるにつれて高くなる傾向－

- 「そう思う（回答比率 17.2%）」と「ややそう思う（50.1%）」を合わせた「そう思う」が 67.3%であり、「あまり思わない（23.3%）」と「そう思わない（2.5%）」を合わせた「思わない」の 25.8%を大きく上回っています。
- 年齢別にみると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は、30 歳代が 72.3%で最も高く、40 歳代と 60 歳代がともに 67.8%でこれに次いでいます。また、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」では、20 歳代が 34.2%で最も高くなっています。
- 「そう思う」の回答比率は、20 歳代が 16.2%であるのに対し、70 歳以上では 25.1%と年代が上がるにつれて上昇する傾向にあります。

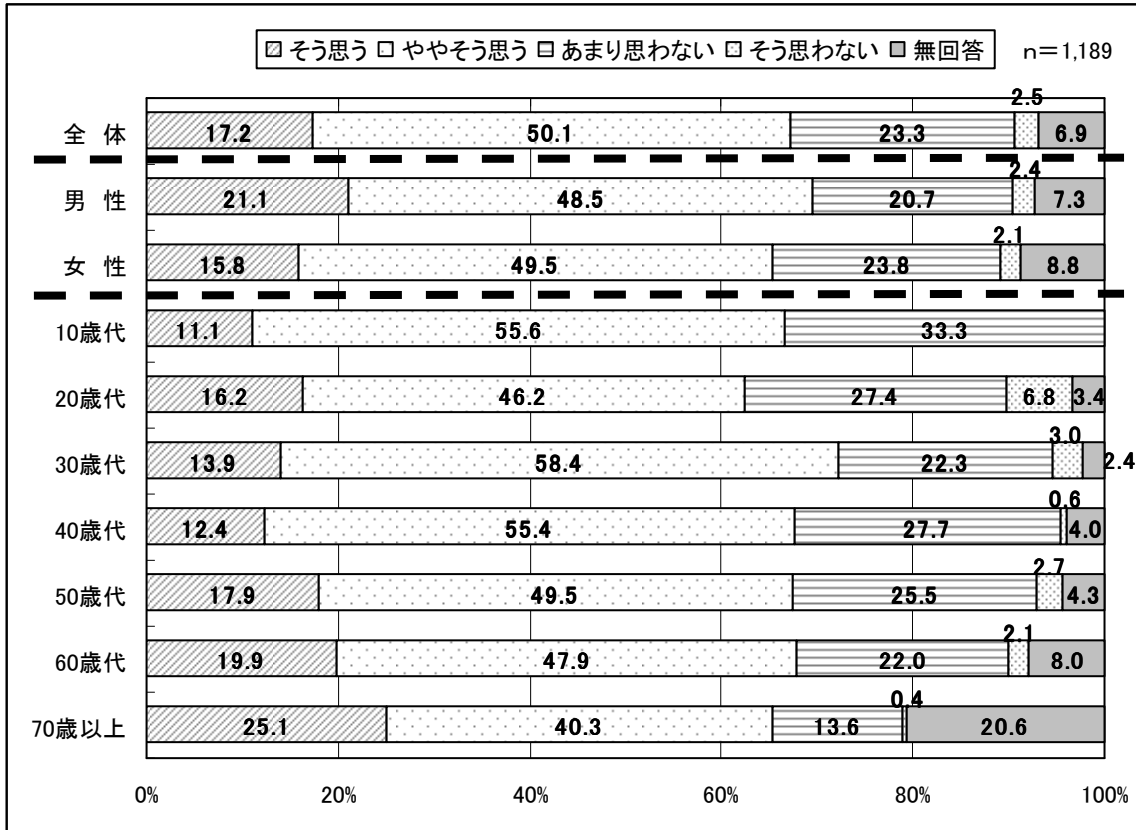
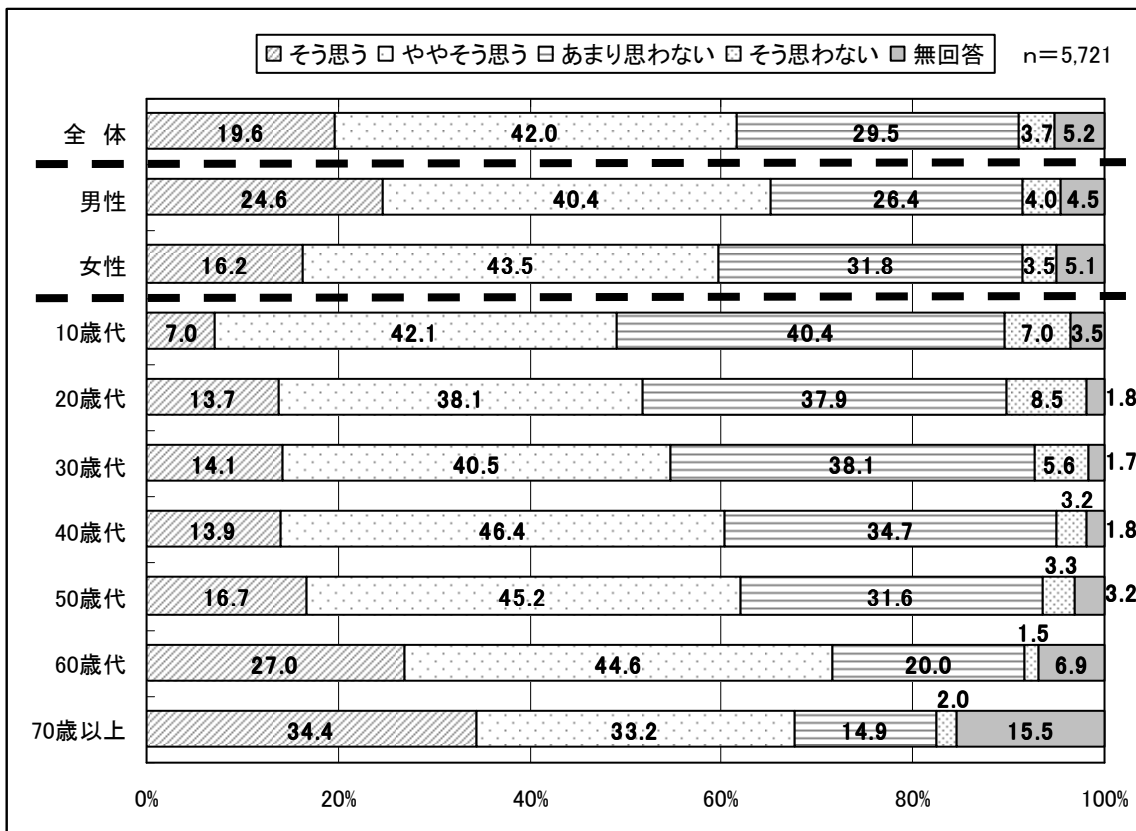


図3-6-1 小牧市のまちづくりに関心がある（今回調査：H24年度）



【参考】図3-6-2 小牧市の市政に関心がある（前回調査：H18年度）

②小牧市は情報公開が十分に行われている

—前回調査に比べ「そう思う（そう思う＋やや思う）」が15.8ポイント増加—

- 「そう思う（回答比率4.2%）」と「ややそう思う（45.3%）」を合わせた「そう思う」が49.5%であり、「あまり思わない（38.7%）」と「そう思わない（4.1%）」を合わせた「思わない」の42.8%を6.7ポイント上回っています。
- 年齢別にみると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は、30歳代が60.8%で突出して高く、それ以外の年代はいずれも40%台となっています。また、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」では、10歳代を除き、20歳代が49.5%で最も高く、最も低い70歳以上の32.1%とは17.4ポイントもの差があります。
- 前回調査（平成18年度）と比べると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は33.7%から15.8ポイント増加、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」は59.8%から17.0ポイント減少と大きく変動しています。また、年齢別にみても、全ての年代で同様の傾向となっています、

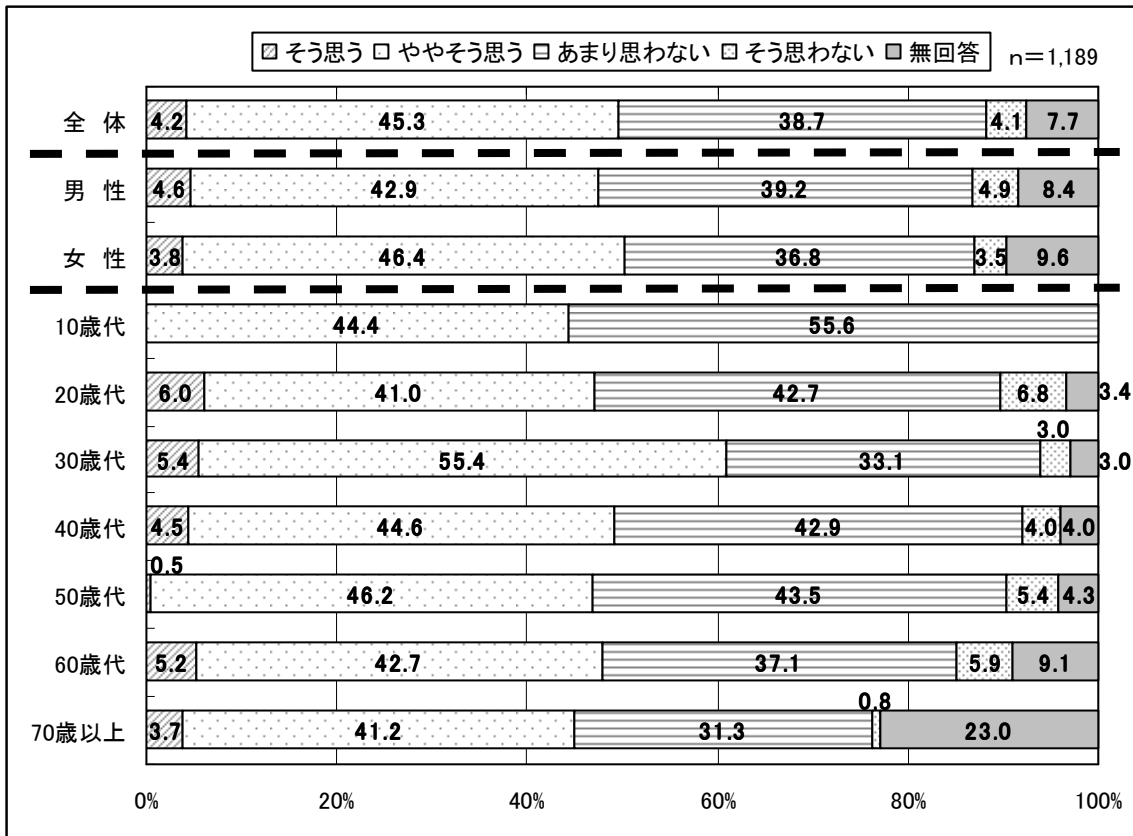
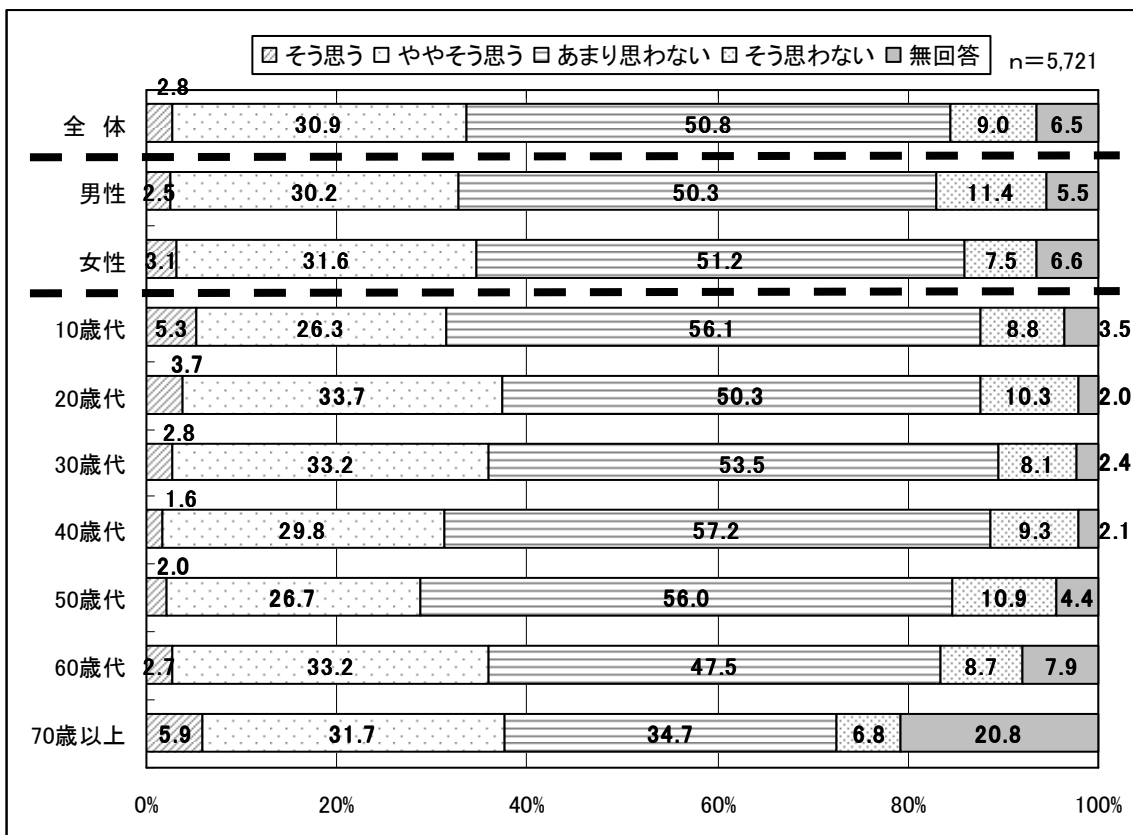


図3-6-3 小牧市は情報公開が十分に行われている（今回調査：H24年度）



【参考】図3-6-4 小牧市は情報公開が十分に行われている（前回調査：H18年度）

③地域活動や市民活動に参加したい

－30歳代と60歳代では「そう思う（そう思う＋やや思う）」が50%を超える－

- 「そう思う（回答比率 8.3%）」と「ややそう思う（41.3%）」を合わせた「そう思う」が 49.6%であり、「あまり思わない（35.4%）」と「そう思わない（7.8%）」を合わせた「思わない」の 43.2%を 6.4ポイント上回っています。
- 年齢別にみると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は、30歳代が 56.6%、60歳代が 51.7%と回答比率が5割を超えています。また、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」では、40歳代が 53.1%で最も高くなっています。

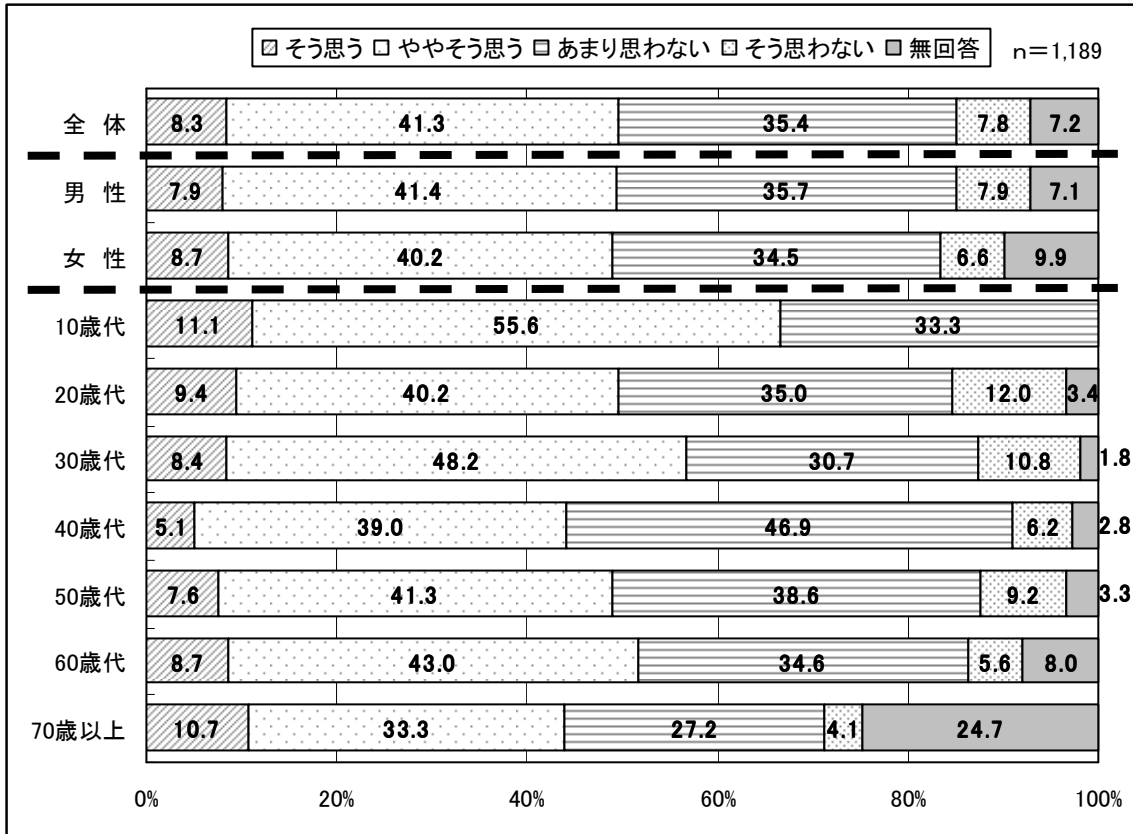
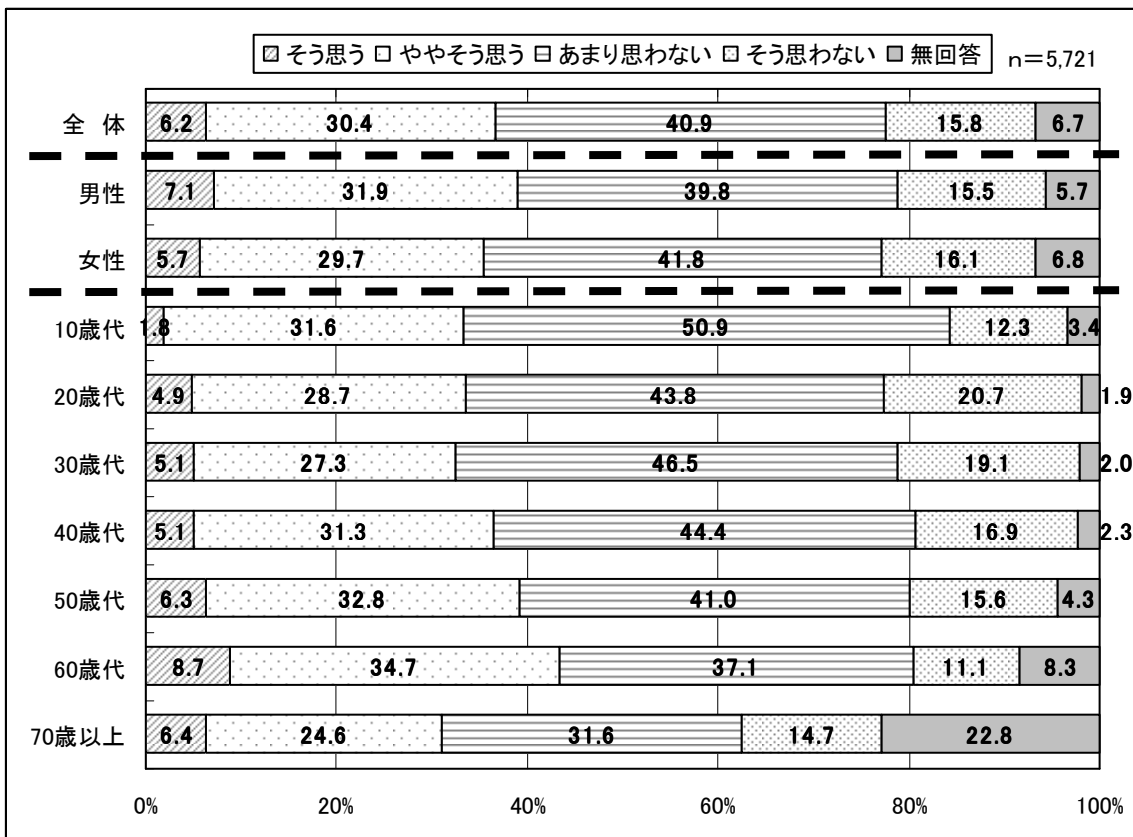


図3-6-5 地域活動や市民活動に参加したい（今回調査：H24年度）



【参考】図3-6-6 地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したい（前回調査：H18年度）

④これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要

－60 歳代以下ではいずれも「そう思う（そう思う＋やや思う）」が 80%台－

- 「そう思う（回答比率 28.6%）」と「ややそう思う（53.8%）」を合わせた「そう思う」が 82.4%であり、「あまり思わない（10.3%）」と「そう思わない（2.2%）」を合わせた「思わない」は 12.5%となっています。
- 年齢別にみると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は、70 歳以上の 74.4%を除き、いずれの年代も 80%台となっています。また、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」では、30 歳代が 15.6%と他の年代に比べやや高くなっています。
- 前回調査（平成 18 年度）と比べると、「そう思う（そう思う＋ややそう思う）」は 82.5%でほぼ同じ比率、「そう思わない（あまり思わない＋そう思わない）」は 11.7%から 0.8ポイントの微減となっています。

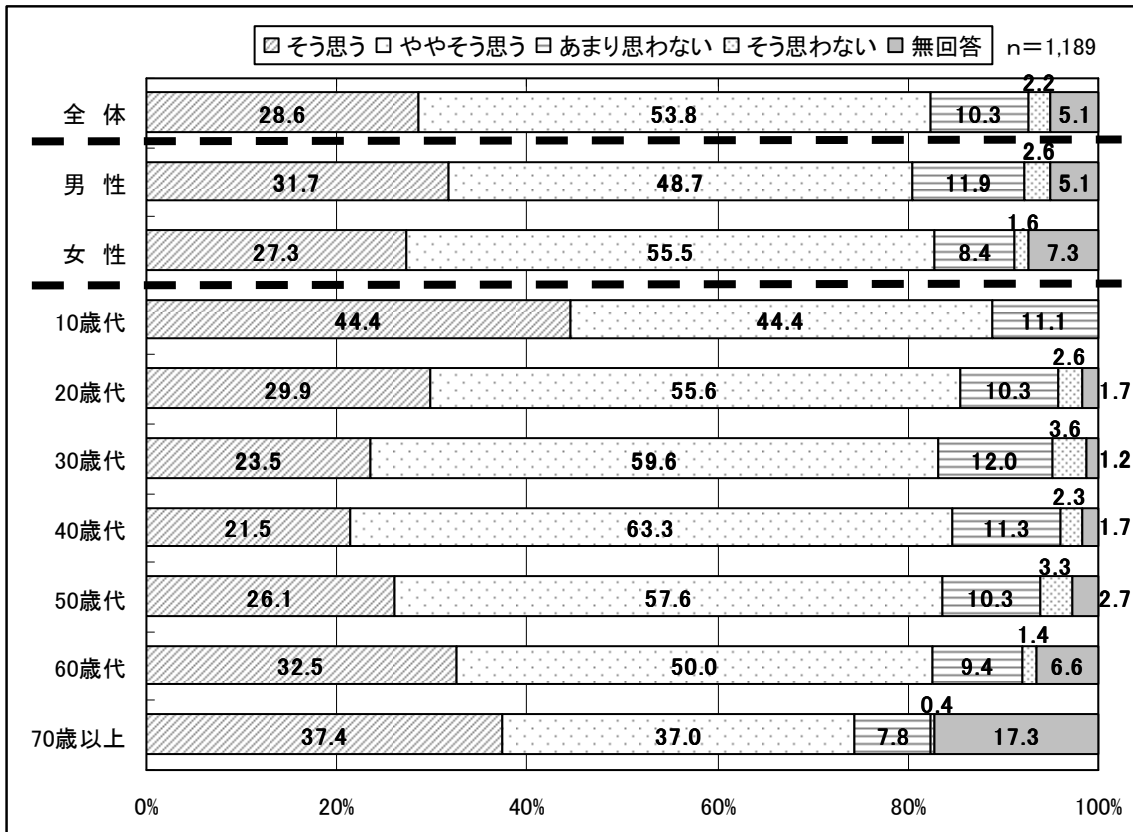
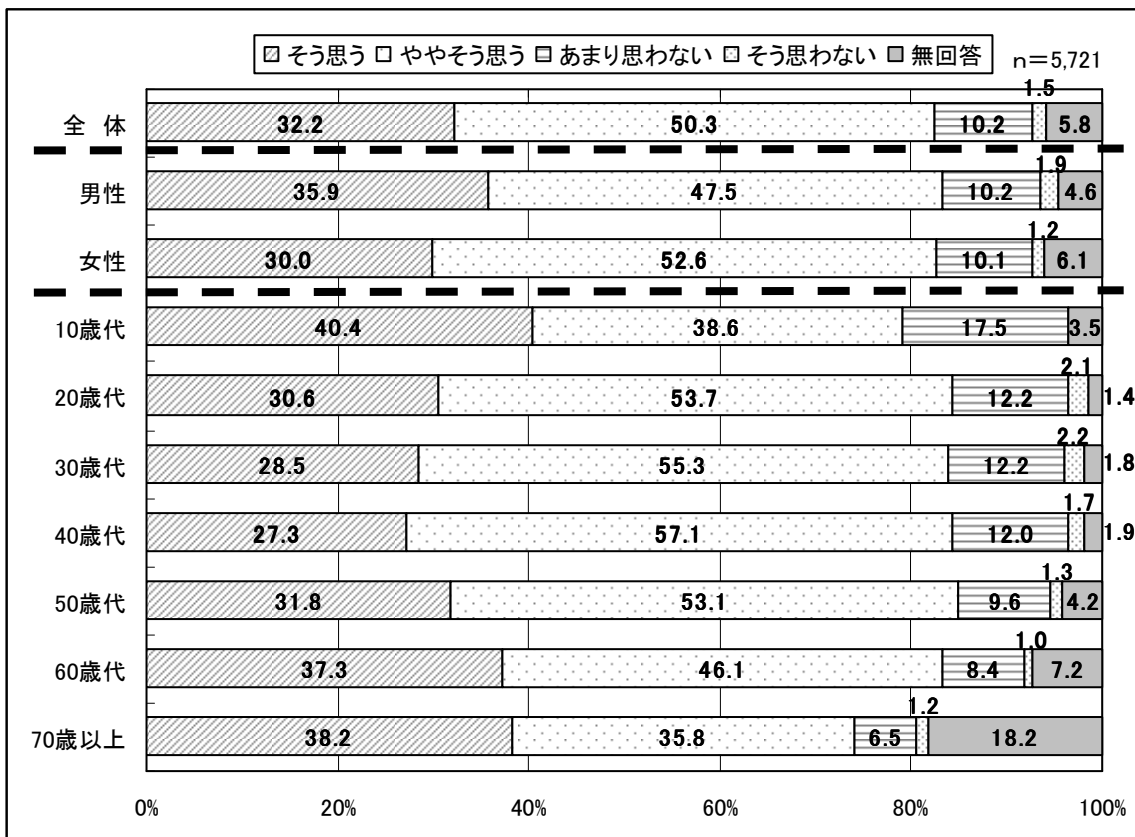


図3-6-7 これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要（今回調査：H24年度）



【参考】図3-6-8 これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要（前回調査：H18年度）

(2) 市民意見の市政への反映

問 30) 市民の意見を十分に反映した市政を行っていくために、何が重要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－40 歳代以下では「政策づくりの過程からの情報発信や意見募集」、
50 歳代以上では「情報公開制度の充実」が最も高い－

- 「情報公開制度の充実」が 36.2%で最も高く、以下、「政策づくりの過程からの情報発信や意見募集」の 34.8%、「アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実」の 29.7%の順となっています。
- 年齢別にみると、40 歳代以下では「政策づくりの過程からの情報発信や意見募集」、50 歳代以上では「情報公開制度の充実」が最も高くなっています。また、30 歳代では「アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実」が 37.3%で、他の年代に比べ回答比率が高くなっています。
- 前回調査（平成 18 年度）と比べると、「アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実」が 37.8%から 8.1 ポイント減少しているのが目立ちます。

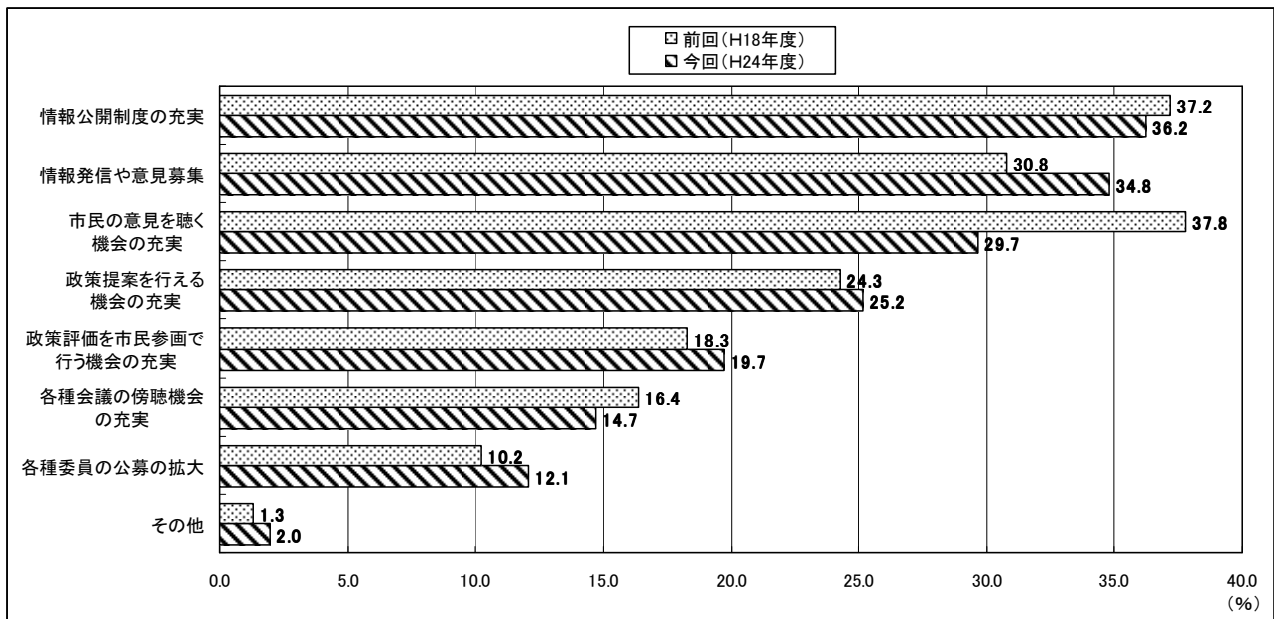


図 3-6-9 市民の意見を十分に反映した市政を行っていくため、重要だと思うこと

表3-6-1 市民の意見を十分に反映した市政を行っていくため、重要だと思うこと
 (上段：回答数、下段：比率(%))
 注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	情報公開制度の充実	政策づくりの過程からの情報発信や意見募集	政策づくりに関わる各種委員の公募の拡大	各種会議を市民が傍聴できる機会の充実	アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実	実施した政策の評価を市民参画で行うための機会の充実	市民が政策の提案を行える機会の充実	その他	無回答
全体		1,189	2,150	431 (36.2)	414 (34.8)	143 (12.1)	175 (14.7)	353 (29.7)	235 (19.7)	300 (25.2)	23 (2.0)	76 (6.4)
性別	男性	546	1,003	212 (38.8)	172 (31.5)	81 (14.8)	90 (16.5)	149 (27.3)	115 (21.1)	136 (24.9)	16 (2.9)	32 (5.9)
	女性	634	1,126	228 (36.0)	226 (35.6)	68 (10.7)	91 (14.4)	188 (29.7)	111 (17.5)	154 (24.3)	6 (0.9)	54 (8.5)
年齢	10歳代	9	17	2 (22.2)	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	3 (33.3)	3 (33.3)	4 (44.4)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	209	45 (38.5)	45 (38.5)	8 (6.8)	13 (11.1)	38 (32.5)	26 (22.2)	24 (20.5)	5 (4.3)	5 (4.3)
	30歳代	166	303	49 (29.5)	67 (40.4)	17 (10.2)	23 (13.9)	62 (37.3)	37 (22.3)	42 (25.3)	1 (0.6)	5 (3.0)
	40歳代	177	326	65 (36.7)	69 (39.0)	22 (12.4)	23 (13.0)	54 (30.5)	32 (18.1)	51 (28.8)	5 (2.8)	5 (2.8)
	50歳代	184	334	70 (38.0)	67 (36.4)	27 (14.7)	25 (13.6)	46 (25.0)	29 (15.8)	54 (29.3)	5 (2.7)	11 (6.0)
	60歳代	286	518	114 (39.9)	82 (28.7)	48 (16.8)	48 (16.8)	80 (28.0)	55 (19.2)	61 (21.3)	4 (1.4)	26 (9.1)
	70歳以上	243	426	95 (39.1)	68 (28.0)	25 (10.3)	48 (19.8)	57 (23.5)	43 (17.7)	54 (22.2)	2 (0.8)	34 (14.0)

(3) 地域活動の状況

問 31) あなたの住んでいる地域では、地域活動は盛んだと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

－「盛んに行われている」が「行われていない」を15.7ポイント上回る－

○「非常に盛んに行われていると思う（回答比率4.8%）」と「ある程度盛んに行われていると思う（47.0%）」を合わせた「盛んに行われている」が51.8%であり、「あまり盛んに行われていないと思う（29.0%）」と「ほとんど行われていないと思う（7.1%）」を合わせた「行われていない」の36.1%を15.7ポイント上回っています。

○居住地別では、三ツ淵の「盛んに行われている」が70.4%で突出しているほか、桃ヶ丘のみ「行われていない（52.9%）」が「盛んに行われている（38.6%）」を下回っています。

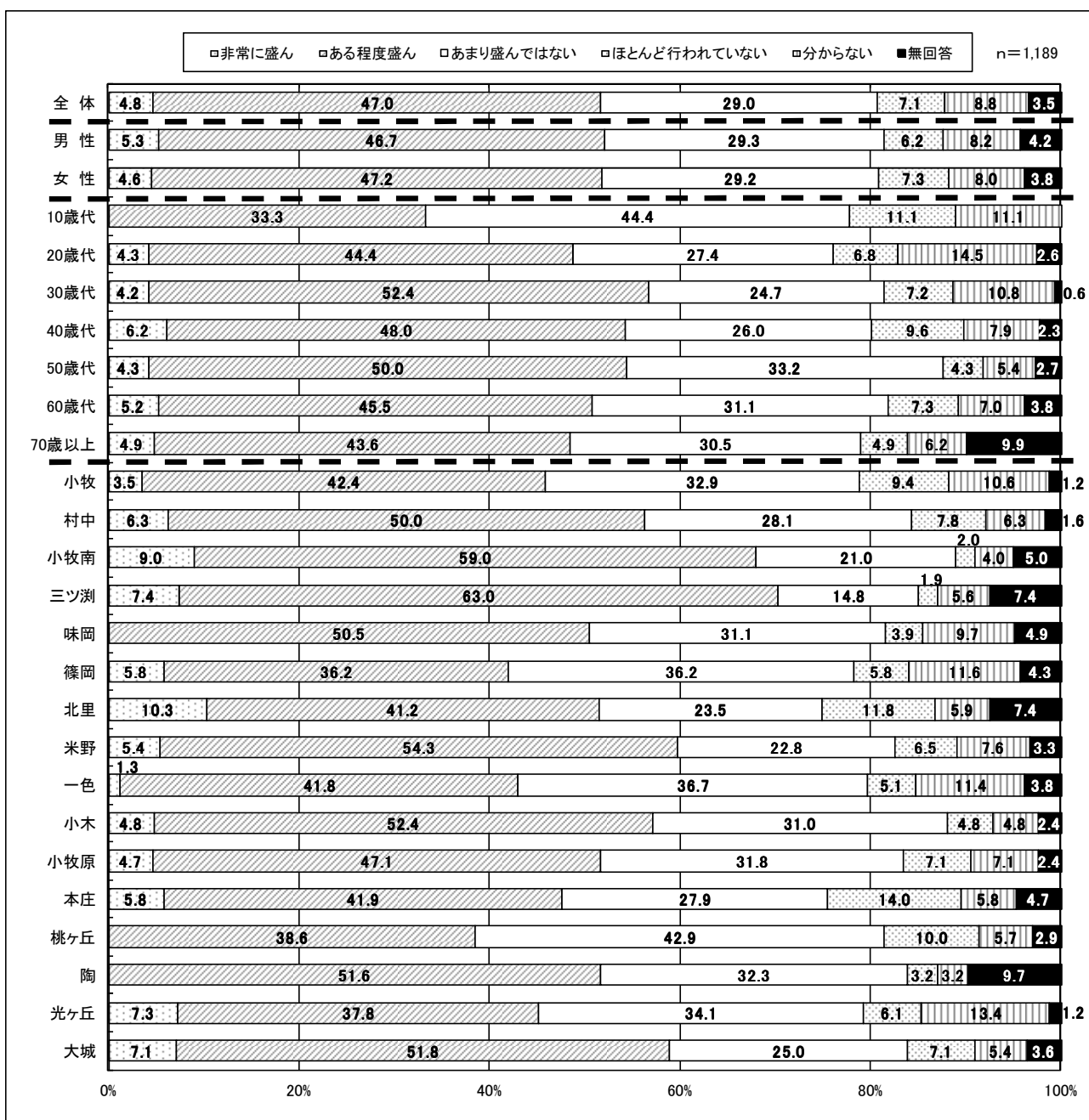


図3-6-10 住んでいる地域における地域活動の状況

(4) 公共サービスの提供に対する協力の意向

問 32) あなたは自分の持つ知識や経験、あるいは時間的なゆとりを活かして公共サービスの提供に協力してもいいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

－若い年代の方が「協力してもいいと思う」の回答比率が高い－

○「協力してもいいと思う」が 52.4%であり、「協力してもいいと思わない」の 42.6%を 9.8 ポイント上回っています。年齢別にみると、「協力してもいいと思う」が最も高いのは 20 歳代の 58.1%、最も低いのは 70 歳以上の 44.0%であり、概ね若い年代の方が回答比率が高い傾向となっています。

○居住地別にみると、「協力してもいいと思う」が最も高いのは大城の 60.7%、最も低いのは北里の 36.8%であり、両地区の間には大きな差があります。また、北里と陶は、「協力してもいいと思う」が「協力してもいいと思わない」を 16.1 ポイント下回っています。

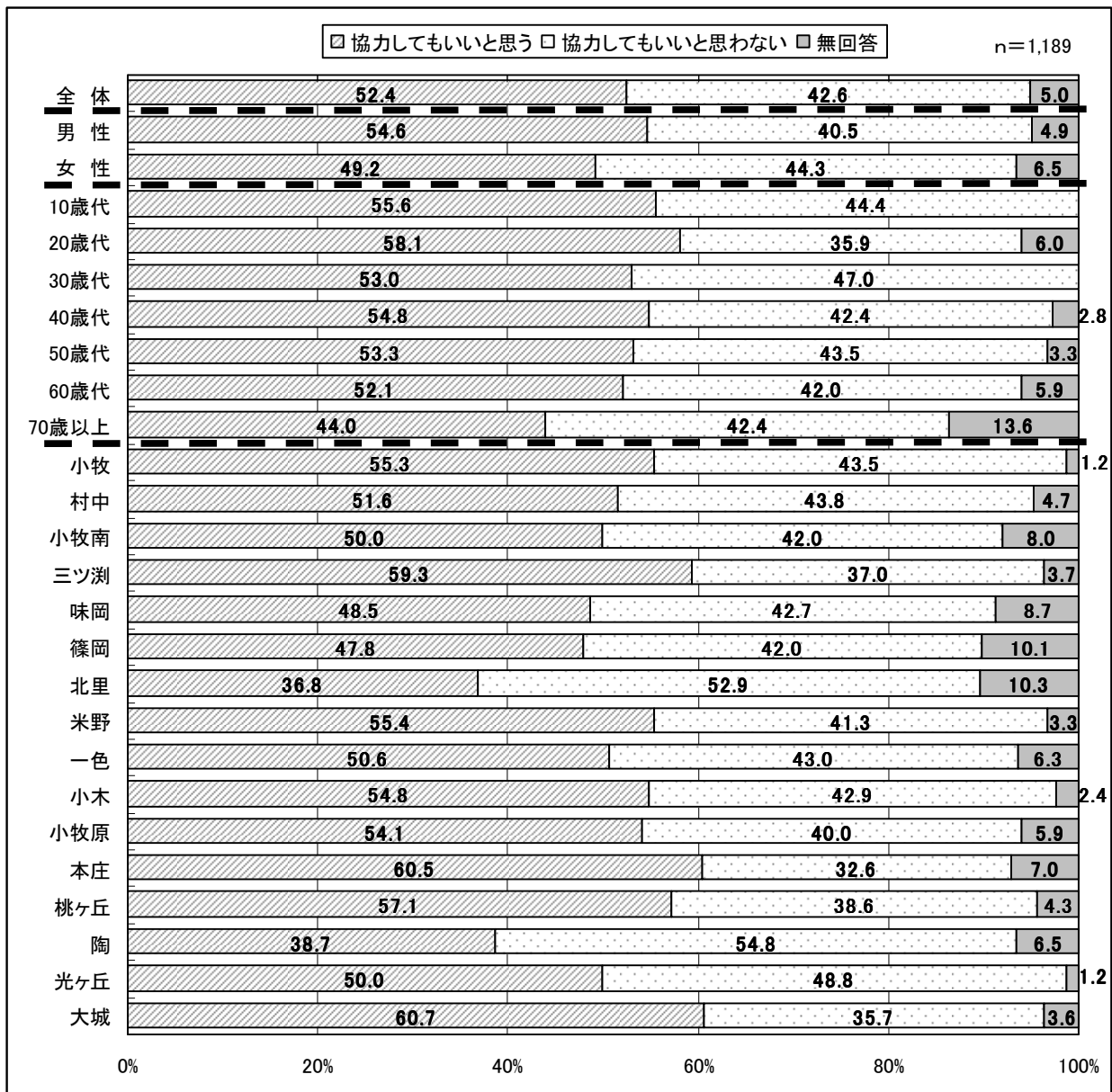


図 3-6-11 自らの知識や経験、時間的なゆとりを活かした公共サービスの提供に対する協力の意向

(5) 参加したい市民活動や地域活動の内容

問 33) あなたは、今後、条件が合えばどのような活動に参加したいと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－40 歳代以下では「子育て支援活動」、50 歳代と 60 歳代では「まちに緑や花を増やす美化活動」の回答比率が最も高い－

- 「まちに緑や花を増やす美化活動」が 22.3% で最も高く、以下、「子育て支援活動」の 18.5%、「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事」の 17.0% の順となっています。
- 年齢別にみると、40 歳代以下では「子育て支援活動」、50 歳代と 60 歳代では「まちに緑や花を増やす美化活動」が最も高くなっています。また、20 歳代と 30 歳代では「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事」、40 歳代と 50 歳代では「文化や歴史などのボランティア活動」、60 歳代以上では「道路や公園などの地域清掃活動」が 2 番目に高くなっています。
- 居住地別にみても、全 16 地区中 10 地区で「まちに緑や花を増やす美化活動」が最も高くなっています。

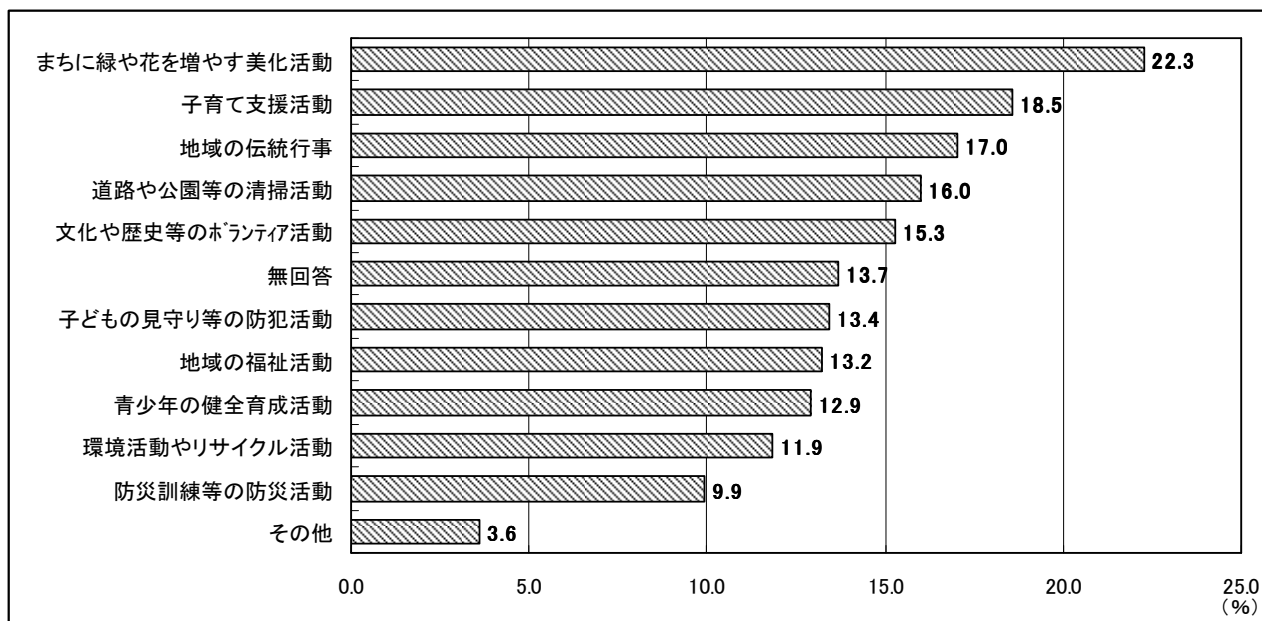


図 3-6-12 参加したい活動の内容

表3-6-2 参加したい活動の内容（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

	回答者数	合計	活動内容											無回答	
			お年寄りのお世話などの地域の福祉活動	青少年を健やかに育てるための活動	子育て支援活動	ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動	道路や公園などの地域清掃活動	まちに緑や花を増やす美化活動	防災訓練などの防災活動	子どもの見守りや夜間の見回りなどの防犯活動	文化や歴史などのボランティア活動	地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事	その他		
全体	1,189	1,995	157 (13.2)	153 (12.9)	221 (18.5)	141 (11.9)	190 (16.0)	265 (22.3)	118 (9.9)	160 (13.4)	182 (15.3)	202 (17.0)	43 (3.6)	163 (13.7)	
性別	男性	546	920	47 (8.6)	88 (16.1)	43 (7.9)	82 (15.0)	107 (19.6)	112 (20.5)	75 (13.7)	94 (17.2)	78 (14.3)	96 (17.6)	22 (4.0)	76 (13.9)
	女性	634	1,049	103 (16.2)	67 (10.6)	148 (23.3)	66 (10.4)	93 (14.7)	164 (25.9)	38 (6.0)	58 (9.1)	93 (14.7)	98 (15.5)	23 (3.6)	98 (15.5)
年齢	10歳代	9	18	2 (22.2)	0 (-)	3 (33.3)	1 (11.1)	2 (22.2)	3 (33.3)	1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	3 (33.3)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	199	19 (16.2)	10 (8.5)	28 (23.9)	15 (12.8)	11 (9.4)	21 (17.9)	10 (8.5)	14 (12.0)	25 (21.4)	26 (22.2)	8 (6.8)	12 (10.3)
	30歳代	166	284	23 (13.9)	22 (13.3)	48 (28.9)	16 (9.6)	23 (13.9)	29 (17.5)	25 (15.1)	30 (18.1)	20 (12.0)	32 (19.3)	0 (-)	16 (9.6)
	40歳代	177	294	25 (14.1)	32 (18.1)	44 (24.9)	14 (7.9)	24 (13.6)	33 (18.6)	15 (8.5)	27 (15.3)	34 (19.2)	22 (12.4)	6 (3.4)	18 (10.2)
	50歳代	184	300	20 (10.9)	27 (14.7)	25 (13.6)	19 (10.3)	25 (13.6)	50 (27.2)	21 (11.4)	20 (10.9)	36 (19.6)	24 (13.0)	7 (3.8)	26 (14.1)
	60歳代	286	486	35 (12.2)	35 (12.2)	29 (10.1)	46 (16.1)	63 (22.0)	85 (29.7)	21 (7.3)	37 (12.9)	31 (10.8)	52 (18.2)	10 (3.5)	42 (14.7)
	70歳以上	243	392	26 (10.7)	29 (11.9)	14 (5.8)	36 (14.8)	55 (22.6)	55 (22.6)	19 (7.8)	25 (10.3)	23 (9.5)	36 (14.8)	14 (5.8)	60 (24.7)
住まいの小学校区	小牧小学校区	85	149	16 (18.8)	11 (12.9)	12 (14.1)	8 (9.4)	14 (16.5)	28 (32.9)	9 (10.6)	12 (14.1)	15 (17.6)	2 (2.4)	10 (11.8)	
	村中小小学校区	64	108	9 (14.1)	12 (18.8)	13 (20.3)	6 (9.4)	13 (20.3)	17 (26.6)	3 (4.7)	11 (17.2)	7 (10.9)	8 (12.5)	0 (-)	9 (14.1)
	小牧南小学校区	100	173	13 (13.0)	20 (20.0)	22 (22.0)	12 (12.0)	16 (16.0)	22 (22.0)	12 (12.0)	8 (8.0)	17 (17.0)	17 (17.0)	3 (3.0)	11 (11.0)
	三ツ渕小学校区	54	86	7 (13.0)	5 (9.3)	7 (13.0)	9 (16.7)	13 (24.1)	12 (22.2)	1 (1.9)	4 (7.4)	7 (13.0)	7 (13.0)	2 (3.7)	12 (22.2)
	味噌小学校区	103	174	8 (7.8)	4 (3.9)	19 (18.4)	18 (17.5)	13 (12.6)	34 (33.0)	7 (6.8)	19 (18.4)	13 (12.6)	24 (23.3)	4 (3.9)	11 (10.7)
	篠岡小学校区	69	114	8 (11.6)	7 (10.1)	9 (13.0)	7 (10.1)	11 (15.9)	16 (23.2)	10 (14.5)	6 (8.7)	12 (17.4)	11 (15.9)	3 (4.3)	14 (20.3)
	北里小学校区	68	106	7 (10.3)	7 (10.3)	3 (4.4)	11 (16.2)	16 (23.5)	14 (20.6)	5 (7.4)	6 (8.8)	8 (11.8)	9 (13.2)	6 (8.8)	14 (20.6)
	米野小学校区	92	148	9 (9.8)	15 (16.3)	15 (16.3)	6 (6.5)	13 (14.1)	22 (23.9)	6 (6.5)	15 (16.3)	12 (13.0)	16 (17.4)	6 (6.5)	13 (14.1)
	一色小学校区	79	135	8 (10.1)	8 (10.1)	18 (22.8)	13 (16.5)	13 (16.5)	19 (24.1)	9 (11.4)	11 (13.9)	11 (13.9)	14 (17.7)	0 (-)	11 (13.9)
	小木小学校区	42	71	10 (23.8)	9 (21.4)	5 (11.9)	6 (14.3)	9 (21.4)	6 (14.3)	1 (2.4)	6 (14.3)	8 (19.0)	7 (16.7)	0 (-)	4 (9.5)
	小牧原小学校区	85	140	12 (14.1)	10 (11.8)	17 (20.0)	12 (14.1)	9 (10.6)	16 (18.8)	3 (3.5)	11 (12.9)	13 (15.3)	24 (28.2)	6 (7.1)	7 (8.2)
	本庄小学校区	86	146	15 (17.4)	13 (15.1)	10 (11.6)	8 (9.3)	17 (19.8)	19 (22.1)	15 (17.4)	8 (9.3)	13 (15.1)	11 (12.8)	2 (2.3)	15 (17.4)
	桃ヶ丘小学校区	70	114	10 (14.3)	11 (15.7)	15 (21.4)	9 (12.9)	12 (17.1)	15 (21.4)	6 (8.6)	8 (11.4)	9 (12.9)	6 (8.6)	3 (4.3)	10 (14.3)
	陶小学校区	31	49	2 (6.5)	6 (19.4)	3 (9.7)	6 (19.4)	4 (12.9)	2 (6.5)	4 (12.9)	6 (19.4)	3 (9.7)	5 (16.1)	2 (6.5)	6 (19.4)
	光ヶ丘小学校区	82	140	7 (8.5)	8 (9.8)	13 (15.9)	8 (9.8)	19 (23.2)	16 (19.5)	10 (12.2)	11 (13.4)	14 (17.1)	12 (14.6)	6 (7.3)	16 (19.5)
	大城小学校区	56	99	8 (14.3)	6 (10.7)	9 (16.1)	7 (12.5)	9 (16.1)	17 (30.4)	11 (19.6)	8 (14.3)	12 (21.4)	7 (12.5)	0 (-)	5 (8.9)

(6) 市民活動や地域活動への参加状況

問 34) 現在のあなたの市民活動や地域活動などへの参加状況について、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

－若い年代ほど参加の意向が低くなる傾向－

- 「既に参加している（回答比率 13.8%）」と「参加しようと思っている（17.4%）」を合わせた「意向を持つ」が 31.2%であり、「あまり参加しようと思わない（39.0%）」と「参加しようとは思わない（9.1%）」を合わせた「意向を持たない」の 48.1%を大きく下回っています。
- 年齢別にみると、若い年代ほど「意向を持つ」は低くなる傾向となっています。また、居住地別では、村中と一色において「意向を持つ」が「意向を持たない」をそれぞれ 3.2 ポイント、6.2 ポイント上回っています。

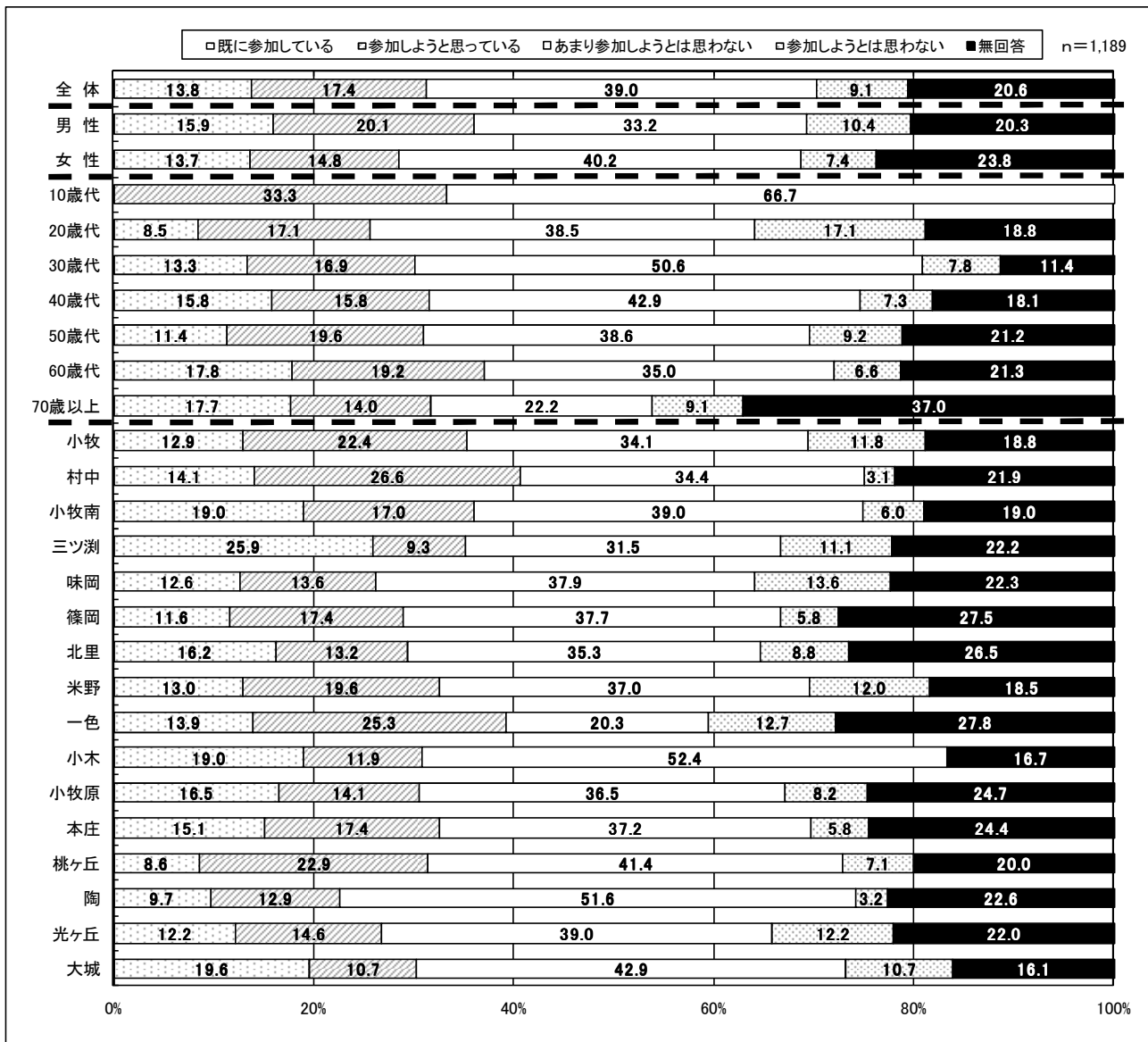


図3-6-13 市民活動や地域活動などへの参加状況

(7) 参加している又は参加しようと思っている活動の内容

問 34-1) 参加している、または、参加しようと思っている活動は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。(※対象は、問 34 で「既に参加している」「参加しようと思っている」を選択した回答者)

— 「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事」と
「道路や公園などの地域清掃活動」が突出している—

○「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事」が 36.5% で最も高く、「道路や公園などの地域清掃活動」が 31.8% でこれに次いでいます。

○年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代では「地域の伝統行事、祭り

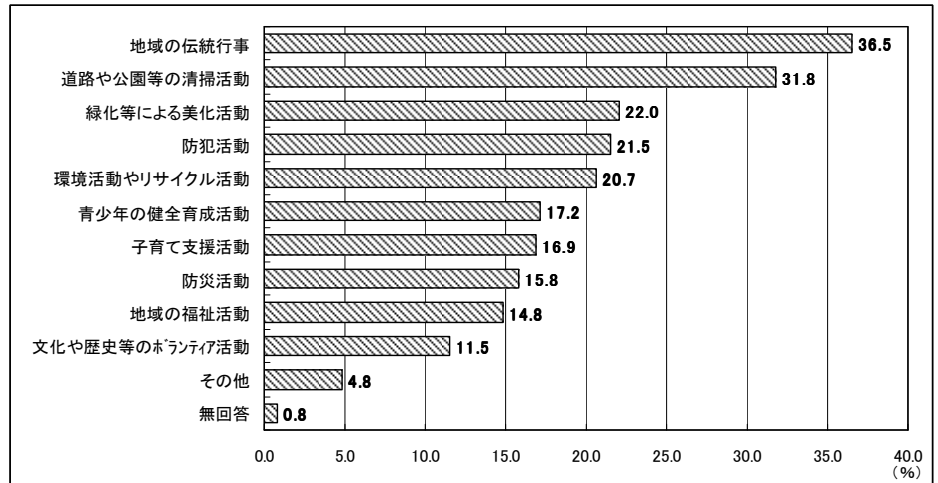


図 3-6-14 参加している又は参加しようと思っている活動の内容

や盆踊りなどの行事」、40 歳代では「子どもの見守りや夜間の見回りなどの防犯活動」、60 歳代では「道路や公園などの地域清掃活動」が最も高くなっています。

表3-6-3 参加している又は参加したいと思っている活動の内容
(上段：回答数、下段：比率(％))
注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	お年寄りのお世話などの地域の福祉活動	青少年を健やかに育てるための活動	子育て支援活動	ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動	道路や公園などの地域清掃活動	まちに緑や花を増やす美化活動	防災訓練などの防災活動	子どもの見守りや夜間の見回りなどの防犯活動	文化や歴史などのホントニア活動	地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事	その他	無回答
全体		380	814	56 (14.8)	65 (17.2)	64 (16.9)	78 (20.7)	121 (31.8)	84 (22.0)	60 (15.8)	82 (21.5)	44 (11.5)	139 (36.5)	18 (4.8)	3 (0.8)
性別	男性	197	427	23 (11.7)	44 (22.3)	19 (9.6)	43 (21.8)	69 (35.0)	47 (23.9)	29 (14.7)	55 (27.9)	19 (9.6)	69 (35.0)	6 (3.0)	4 (2.0)
	女性	181	416	40 (22.1)	24 (13.3)	39 (21.5)	40 (22.1)	56 (30.9)	45 (24.9)	30 (16.6)	33 (18.2)	25 (13.8)	72 (39.8)	12 (6.6)	0 (-)
年齢	10歳代	3	11	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)	2 (66.7)	2 (66.7)	2 (66.7)	0 (-)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	30	57	6 (20.0)	3 (10.0)	7 (23.3)	5 (16.7)	8 (26.7)	5 (16.7)	2 (6.7)	3 (10.0)	3 (10.0)	12 (40.0)	3 (10.0)	0 (-)
	30歳代	50	98	3 (6.0)	5 (10.0)	16 (32.0)	11 (22.0)	16 (32.0)	3 (6.0)	11 (22.0)	7 (14.0)	4 (8.0)	19 (38.0)	3 (6.0)	0 (-)
	40歳代	56	107	6 (10.7)	11 (19.6)	11 (19.6)	9 (16.1)	14 (25.0)	9 (16.1)	4 (7.1)	20 (35.7)	7 (12.5)	15 (26.8)	1 (1.8)	0 (-)
	50歳代	57	120	8 (14.0)	14 (24.6)	6 (10.5)	8 (14.0)	12 (21.1)	16 (28.1)	11 (19.3)	10 (17.5)	8 (14.0)	22 (38.6)	4 (7.0)	1 (1.8)
	60歳代	106	268	20 (18.9)	21 (19.8)	10 (9.4)	31 (29.2)	43 (40.6)	39 (36.8)	16 (15.1)	32 (30.2)	11 (10.4)	39 (36.8)	5 (4.7)	1 (0.9)
	70歳以上	77	181	20 (26.0)	13 (16.9)	8 (10.4)	18 (23.4)	31 (40.3)	18 (23.4)	12 (15.6)	16 (20.8)	10 (13.0)	31 (40.3)	2 (2.6)	2 (2.6)

(8) 活動に参加しようと思わない理由

問 34-2) 活動に参加しようと思わない理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(※対象は、問 34 で「あまり参加しようと思わない」「参加しようと思わない」を選択した回答者)

—概ね全ての年代で「関心はあるが、時間に余裕がない」が最も高い—

- 「関心はあるが、時間に余裕がない」が 49.5% で突出しています。
- 年齢別にみると、20 歳代の「好きな人がやればよい」、30 歳代と 40 歳代の「関心がない」が他の年代と比べ高い回答比率となっています。

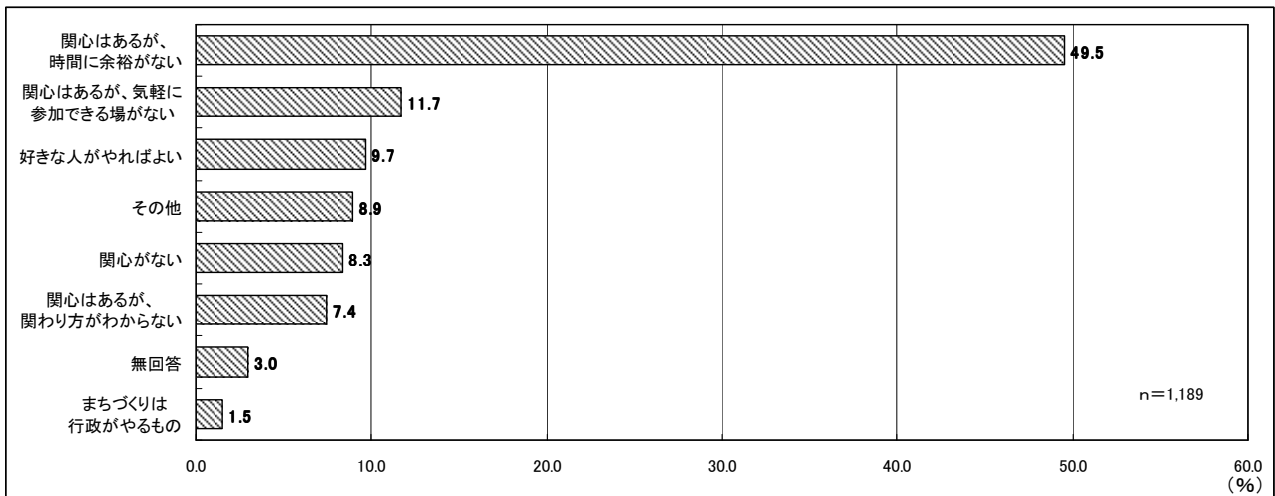


図 3-6-15 活動に参加しようと思わない理由

表3-6-4 活動に参加しようと思わない理由（上段：回答数、下段：比率（％））

注）「網掛・白太字」は第1位

		合計	市民活動や地域活動に関心はあるが、時間に余裕がない	市民活動や地域活動に関心はあるが、関わり方がわからない	市民活動や地域活動に関心はあるが、気軽に参加できる場がない	市民活動や地域活動は、好きな人がやればよい	市民活動や地域活動に関心がない	まちづくりは行政がやるもので、市民活動等は活発でなくてもよい	その他	無回答
全体		573 (100.0)	284 (49.5)	42 (7.4)	67 (11.7)	55 (9.7)	48 (8.3)	9 (1.5)	51 (8.9)	17 (3.0)
性別	男性	238 (100.0)	108 (45.4)	18 (7.6)	29 (12.2)	21 (8.8)	24 (10.1)	6 (2.5)	24 (10.1)	8 (3.4)
	女性	302 (100.0)	146 (48.3)	25 (8.3)	37 (12.3)	31 (10.3)	19 (6.3)	3 (1.0)	31 (10.3)	10 (3.3)
年齢	10歳代	6 (100.0)	5 (83.3)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	65 (100.0)	30 (46.2)	5 (7.7)	7 (10.8)	13 (20.0)	5 (7.7)	1 (1.5)	4 (6.2)	0 (-)
	30歳代	97 (100.0)	54 (55.7)	6 (6.2)	8 (8.2)	9 (9.3)	11 (11.3)	1 (1.0)	5 (5.2)	3 (3.1)
	40歳代	89 (100.0)	51 (57.3)	6 (6.7)	11 (12.4)	3 (3.4)	10 (11.2)	1 (1.1)	6 (6.7)	1 (1.1)
	50歳代	88 (100.0)	48 (54.5)	7 (8.0)	9 (10.2)	6 (6.8)	3 (3.4)	1 (1.1)	10 (11.4)	4 (4.5)
	60歳代	119 (100.0)	51 (42.9)	12 (10.1)	18 (15.1)	13 (10.9)	9 (7.6)	2 (1.7)	9 (7.6)	5 (4.2)
	70歳以上	76 (100.0)	15 (19.7)	7 (9.2)	12 (15.8)	8 (10.5)	5 (6.6)	3 (3.9)	21 (27.6)	5 (6.6)

7 行政サービス【問 35・36】

(1) 窓口サービスの利便性向上のための対応策

問 35) 市民の窓口サービスの利便性向上のためには、どのような対応策が必要だと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

－「休日や時間外のサービスを充実する」が54.1%で最も高い－

- 「休日や時間外のサービスを充実する」が54.1%で最も高く、以下、「各支所で受けられるサービスを充実する」の34.2%、「庁舎内窓口の一元化を進め、関連のあるサービスを一箇所で受けられるようにする」の32.9%の順となっています。
- 年齢別にみると、20歳代～50歳代では「休日や時間外のサービスを充実する」、60歳代では「庁舎内窓口の一元化を進め、関連のあるサービスを一箇所で受けられるようにする」、70歳以上では「各支所で受けられるサービスを充実する」が最も高くなっています。
- また、日常的にインターネットを利用する機会が多いと考えられる20歳代～40歳代では、「電子サービスを充実し、自宅で各種手続きができるようにする」が他の年代に比べ高い回答比率となっているのが特徴的といえます。

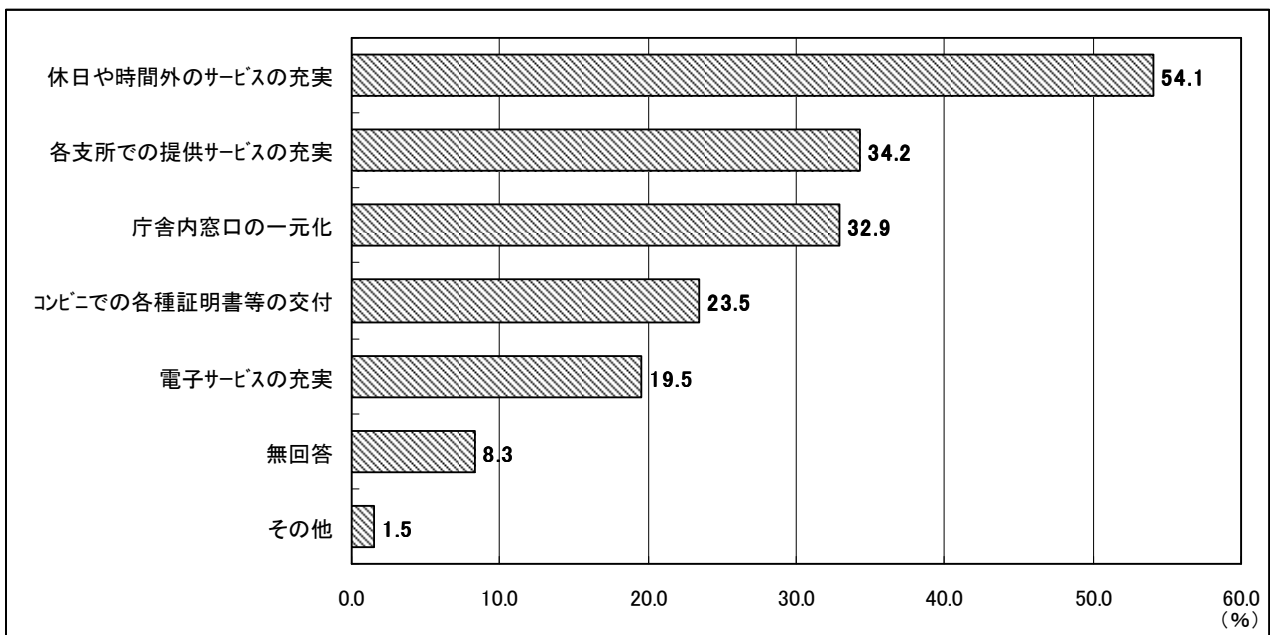


図 3-7-1 窓口サービスの利便性向上のための対応策

表 3-7-1 窓口サービスの利便性向上のための対応策

(上段：回答数、下段：比率(%))

注)「網掛・白太字」は第1位

		回答者数	合計	庁舎内窓口 の一元化を 進め、関連 のあるサー ビスを一箇 所で受けら れるようにす る	休日や時間 外のサービ スを充実す る	各支所で受 けられる サービスを 充実する	コンビニエ ンスストアで各 種証明書等 の交付など ができるよう にする	電子サービ スを充実し、 自宅で各種 手続きがで きるようにす る	その他	無回答
全 体		1,189	2,069	391 (32.9)	643 (54.1)	407 (34.2)	279 (23.5)	232 (19.5)	18 (1.5)	99 (8.3)
性 別	男性	546	956	205 (37.5)	281 (51.5)	179 (32.8)	122 (22.3)	114 (20.9)	10 (1.8)	45 (8.2)
	女性	634	1,091	218 (34.4)	321 (50.6)	252 (39.7)	141 (22.2)	90 (14.2)	8 (1.3)	61 (9.6)
年 齢	10歳代	9	14	1 (11.1)	3 (33.3)	3 (33.3)	5 (55.6)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)
	20歳代	117	205	29 (24.8)	72 (61.5)	21 (17.9)	40 (34.2)	32 (27.4)	4 (3.4)	7 (6.0)
	30歳代	166	304	44 (26.5)	118 (71.1)	54 (32.5)	35 (21.1)	44 (26.5)	0 (-)	9 (5.4)
	40歳代	177	311	45 (25.4)	112 (63.3)	54 (30.5)	34 (19.2)	51 (28.8)	3 (1.7)	12 (6.8)
	50歳代	184	321	56 (30.4)	111 (60.3)	66 (35.9)	41 (22.3)	29 (15.8)	3 (1.6)	15 (8.2)
	60歳代	286	496	151 (52.8)	122 (42.7)	121 (42.3)	54 (18.9)	25 (8.7)	6 (2.1)	17 (5.9)
	70歳以上	243	400	98 (40.3)	67 (27.6)	112 (46.1)	54 (22.2)	21 (8.6)	2 (0.8)	46 (18.9)

(2) 行政サービスと市民負担のバランス

問 36) 行政サービスと市民負担のバランスをどのように考えますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

—30 歳代～60 歳代では「行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき」が40%を超える—

- 「行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき」が40.5%で最も高く、以下、「受益者負担を増やすべきで、住民全体の負担を増やすべきではない」の23.4%、「負担が増えるのであれば、行政サービスの充実をある程度見合わせることは仕方がない」の13.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、30 歳代～60 歳代では「行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき」がいずれも40%台となっています。また、30 歳代では「負担が増えるのであれば、行政サービスの充実をある程度見合わせることは仕方がない」が20.5%で他の年代に比べ高い回答比率となっているのが目立ちます。

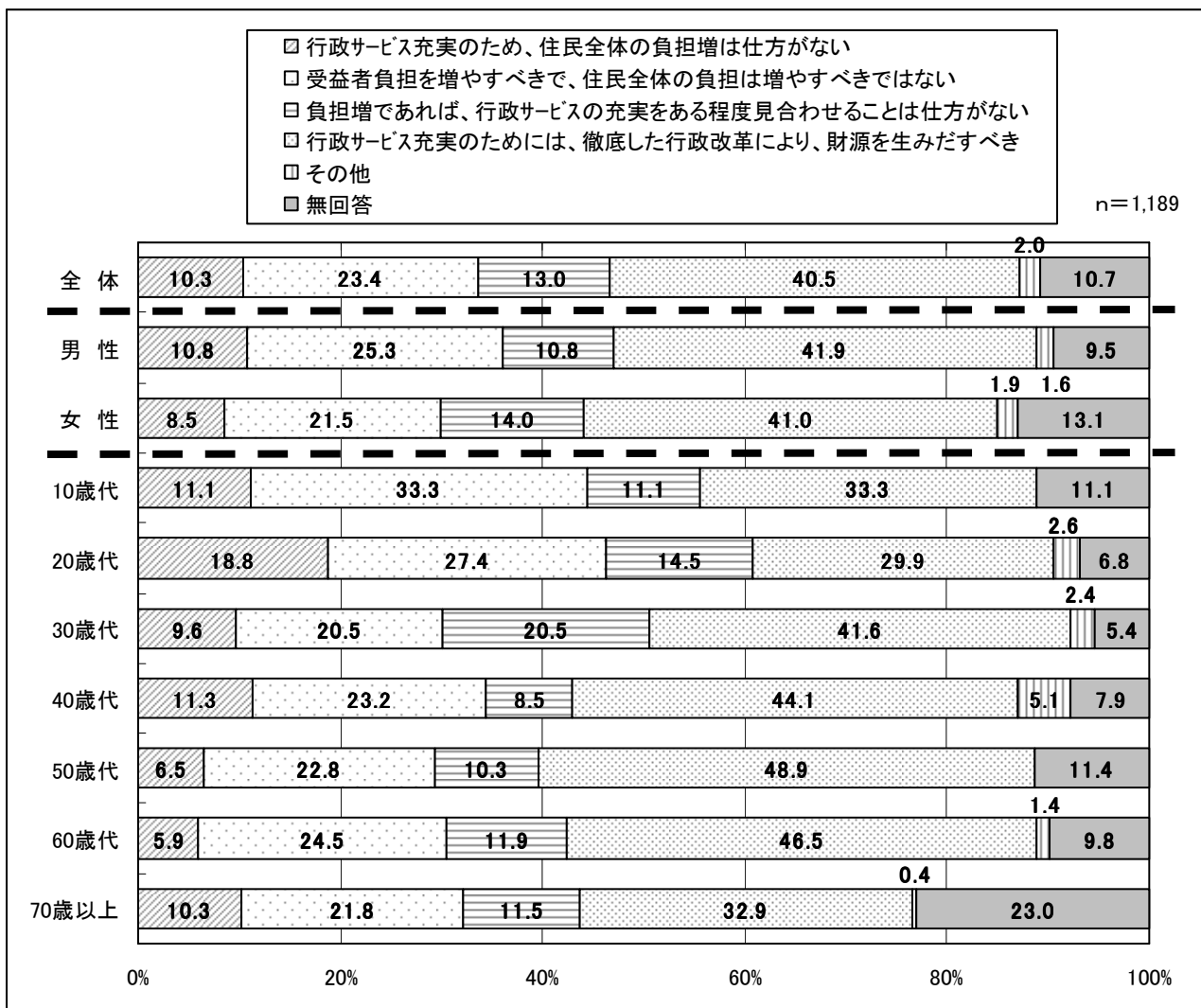


図 3-7-2 行政サービスと市民負担のバランスのあり方

まちづくりに関する市民意向調査

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小牧市では、平成 21 年 3 月に「第 6 次小牧市総合計画」を策定し、将来都市像に掲げる「人と緑 かがやく創造のまち」の実現に向けた様々な施策に取り組んでいます。

この総合計画は策定してから 5 年が経過する平成 25 年度末に中間年を迎えることから、本計画のうち、各行政分野の施策を総合的・体系的に示す「基本計画」について、現在、計画の改定に向けた準備作業を進めています。

そこで、計画の改定における重要な情報として、小牧市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や今後、力を入れるべき施策などについて、市民の皆様のお考えを把握するためのアンケート調査を実施させていただくこととしました。

調査対象は、小牧市に住民登録している満 18 歳以上（生年月日が平成 6 年 3 月 31 日以前）の方から無作為に抽出した 3,000 人の方です。

お忙しい中、誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 24 年 7 月
小 牧 市

<ご記入に際してのお願い>

- この調査は無記名形式で行い、ご回答いただいたアンケート調査票から個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありませんので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- 封筒の宛名に表示のあるご本人様がご記入ください。ただし、ご本人様の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません。
- 黒のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとご記入ください。
- ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票に直接ご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート調査票は、8月6日（月）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストへ投函してください。

総合計画とは

総合計画とは、小牧市の最上位の計画であり、まちづくりの指針となるもので、市が目指すまちづくりの方向性やそれを実現するための施策などを定めた重要な計画です。

【総合計画の3つの役割】

- ・ 市の最上位に位置する「羅針盤」としての役割
- ・ 目指すまちの姿の達成度を計る「基準」としての役割
- ・ 市民と行政の「共通目標」であり「約束ごと」としての役割

「第 6 次小牧市総合計画」は、市役所（新庁舎 1 階）情報公開コーナーや市ホームページで閲覧することができます。

問9) 市内に引っ越された理由は、次のどれにあたりますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 市内に土地や家屋があるため | 2 身内の面倒をみるため |
| 3 家業を継ぐため | 4 故郷に愛着があるため |
| 5 市内で就職するため | 6 転勤など仕事の事情 |
| 7 結婚のため | 8 学校の都合 |
| 9 住環境が良いため(交通・買物・治安など) | 10 市民サービスが充実しているため |
| 11 田舎暮らしに魅力を感じたため | 12 地域の歴史や文化に魅力を感じたため |
| 13 その他() | |

問10) あなたは、小牧市にお住まいになって、通算で何年になりますか。(○は1つだけ)

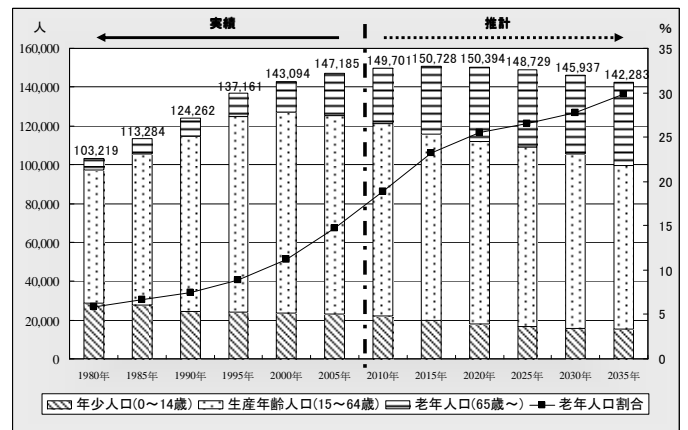
- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 | 3 5年以上~10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上 | |

小牧市を取り巻く状況

将来人口

- 本市の人口は、今後、2015(平成27)年をピークに減少傾向で推移すると予想されている。
- 老年人口(65歳以上)は年々増加傾向であり、総人口に占める割合が2000(平成12)年に約10%であったのが、2035(平成47)年には約30%に達すると推計され、急速に高齢化が進む。
- 一方、生産年齢人口(15歳から64歳)は今後も減少傾向で推移すると推計されている。
- 市の人口や生産年齢人口が減少すると、税収も減少し、また、高齢化の進行により、高齢者福祉など福祉関連経費が増加していくことが予想される。

小牧市における年齢階層別人口の推移・推計

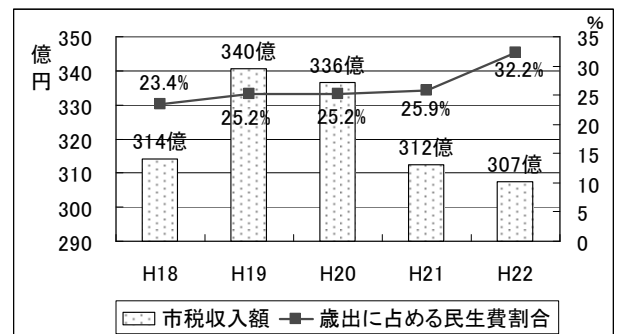


資料: 総務省統計局「2005年 国勢調査」より作成

歳入歳出

- 本市の市税収入は、平成19年度をピークに減少に転じている。
- 歳出に占める民生費(社会保障の充実を図るための経費)が増加傾向を続けており、民生費が占める割合は約3割に達している。

市税収入及び歳出に占める民生費割合の推移



上記の「小牧市を取り巻く状況」を踏まえ、次ページからの設問に回答してください。

2 「市政全般」に対する満足度・重要度について、うかがいます。

問 11) 小牧市が取り組んでいる以下の施策（基本的取組）に関して、「①現在の満足度」と「②今後の重要度」をうかがいます。回答例にならって、日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

施 策 名	①現在の満足度					②今後の重要度				
	満足	まあ満足	いどちらもない	やや不満	不満	重要	まあ重要	いどちらもない	あまり重要でない	重要でない
<回答例> 46 健全な財政運営		○				○				
1 自治会・コミュニティなど地域活動の活性化										
2 国際交流や外国人との共生										
3 市政への市民参加や市民との協働										
4 ボランティア活動の充実										
5 産学官連携 ^{注1)} によるまちづくりの推進										
6 地震や風水害などの防災対策										
7 消防体制・救急体制の充実										
8 ごみの処理やリサイクルの推進										
9 省エネの推進などによる地球環境への負荷軽減										
10 太陽光などの再生可能エネルギーの利活用										
11 大気・水質汚染や騒音など公害対策										
12 鉄道・バスなどの公共交通の充実										
13 地域の安全対策・防犯対策										
14 医療体制の充実										
15 予防接種や健康診断などの各種保健サービスの充実										
16 生活習慣病予防などの健康づくりの推進										
17 多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実										
18 高齢者への福祉サービスの充実										
19 高齢者の生きがいづくり										
20 障がい者（児）への福祉サービスの充実										
21 生活に困った人の自立の支援										
22 学校（小・中学校）教育の充実										
23 青少年の健全育成										

注1) 産（地域産業）・学（大学）・官（行政）のそれぞれが持つ知的・人的・物的資源を相互活用することで、魅力あるまちづくり及び地域産業の振興を図っていくこと。

施策名	①現在の満足度					②今後の重要度				
	満足	まあ満足	いどちらとも	やや不満	不満	重要	まあ重要	いどちらとも	あまり重要でない	重要でない
24 生涯学習の場や機会の充実										
25 図書館機能の強化										
26 男女共同参画の推進										
27 スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実										
28 文化・芸術活動の振興										
29 歴史・文化財の保全や継承										
30 区画整理などによる市街地整備の推進										
31 中心市街地の活性化 (P6 中心市街地の概ねのエリア参照)										
32 良好な街並みや景観の整備										
33 歩道や道路の整備										
34 水道水の安定供給										
35 し尿処理・下水道などの衛生対策										
36 河川や水路などの整備										
37 公園・緑地の整備や緑化の推進										
38 自然環境の保全										
39 農業の振興										
40 地産地消 ^{注2)} 及び食育 ^{注3)} 推進										
41 工業の活力の維持・向上										
42 商業の活力の維持・向上										
43 観光資源の整備や活用										
44 市政情報の提供・公開										
45 市政への市民意見の反映										
46 健全な財政運営										
47 効率的な行政運営										
48 窓口サービスの充実										
49 児童館や市民センターなどの公共施設の利便性の向上										
50 公共施設の適正配置や有効活用										
51 全体的にみた市の取組の評価										

注2) 地域で生産された農産物を地域で消費しようとする活動をとおして、農業者と消費者を結びつける取組のこと。

注3) 食について考える習慣や食に関する様々な知識等を身につけるための学習などの取組のこと。

問 12) 問 11 の施策のうち、今後最も優先して実施すべき施策を5つ選び、該当する施策の番号を記入欄に記入してください。

例

1 2					
-----	--	--	--	--	--

問 13) 問 11 を振り返り、総合的にみて小牧市は住みよいまちだと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1 住みよい	2 どちらかといえば住みよい
3 どちらかといえば住みにくい	4 住みにくい

問 14) あなたが考える小牧市のイメージについて、現在の小牧市のイメージ (A欄)と、今後の望ましい小牧市のイメージ (B欄)を、それぞれ3つまで選択し、下の欄に記入してください。

1 防災・防犯体制が整ったまち 2 外国人との交流が盛んなまち 3 文化・芸術活動が盛んなまち 4 子育て施設・サービスが充実しているまち 5 リサイクルや省エネルギー対策などが進んだ環境に配慮したまち 6 地域活動や市民活動が活発なまち 7 市民病院などの医療施設が充実しているまち 8 高齢者や障がい者（児）にやさしいまち 9 学校教育が充実しているまち 10 スポーツ関連施設や活動が充実しているまち 11 公園や道路などの都市基盤が整備されたまち 12 小牧山などの豊かな自然に囲まれたまち 13 工場が多く立地しているまち 14 商業施設が充実しているまち 15 名古屋市への通勤・通学者が多いまち 16 鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち 17 市外から多くの観光客が訪れるまち

A欄 【現在の小牧市のイメージ】			B欄 【今後の望ましい小牧市のイメージ】		

3 「今後の定住意向」について、うかがいます。

問 15) あなたは、今後も小牧市で暮らしたいと思いますか。

1 今後も暮らしたい

2 暮らしたいとは思わない

問 15-1) 問 15 で「1 今後も暮らしたい」を選んだ方にうかがいます。その理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 緑が多い
- 2 医療・福祉サービスが充実している
- 3 子育て関連施設・サービスが充実している
- 4 教育環境が良い
- 5 交通の便が良い
- 6 公共施設が充実している
- 7 買い物や外食が便利
- 8 自慢できる資源や特産品が多い
- 9 災害が少ない
- 10 犯罪が少ない
- 11 地域での人間関係が良い
- 12 学校や仕事、家族の都合
- 13 愛着がある
- 14 その他
(具体的に_____)

問 15-2) 問 15 で「2 暮らしたいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 緑が少ない
- 2 医療・福祉サービスが充実していない
- 3 子育て関連施設・サービスが充実していない
- 4 教育環境が悪い
- 5 交通の便が悪い
- 6 公共施設が充実していない
- 7 買い物や外食が不便
- 8 自慢できる資源や特産品が少ない
- 9 災害が多い
- 10 犯罪が多い
- 11 地域での人間関係が良くない
- 12 学校や仕事、家族の都合
- 13 愛着がない
- 14 その他
(具体的に_____)

4 「中心市街地の活性化」について、うかがいます。

中心市街地は、市民の暮らしに関わる様々な都市機能が集積するとともに、公共交通機関を利用して市外から訪れた来訪者の第一印象を左右する「小牧市の顔」となっています。

問 16～18 では、中心市街地の現状に対する印象と、今後、目指すべきまちの姿などについて、あなたご自身のお考えをうかがいます。



<参考：中心市街地の概ねのエリア（点線内）>

問 16) 現在の中心市街地全体の印象について、どのように思われますか。また、そう思う理由を具体的にご記入ください。

1 良い	2 まあ良い	3 やや悪い	4 悪い	5 どちらでもない
------	--------	--------	------	-----------

理由	
----	--

問 17) 今後、中心市街地の『にぎわい』を創出し、その活性化を図るためには、どのような市街地を目指すべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

1 子どもからお年寄りまで、より多くの人々が居住する市街地
2 子育て支援や高齢者福祉など、暮らしに身近な公共サービスが充実した市街地
3 市民の自発的な生涯学習活動や芸術等の文化活動が充実した市街地
4 起業支援などにより、働く場所が充実した市街地
5 魅力的な店舗が数多く集まり、買い物を楽しめる市街地
6 子どもからお年寄りまで、多様な世代がふれあい、交流できる市街地
7 年間を通じてイベントが盛んに開催され、市内外からより多くの人々が集う市街地
8 歴史や文化が薫る、良好な街並み景観が整った市街地
9 鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい市街地
10 歩行者や自転車利用者が安全で快適に憩い、移動できる空間が整った市街地
11 中心市街地周辺に点在する歴史的建物が保存され歴史と文化を感じられる市街地
12 名古屋コーチンや桃などの小牧ならではの美味しい食が楽しめる市街地
13 史跡小牧山などの市内の観光資源が整備され、市外から多くの観光客が訪れる市街地
14 その他（具体的に_____）

問 18) あなたは、中心市街地に住んでいますか。または、住んでみたいと思いますか。

1 住んでいる →問 18-1,2 へ	2 住んでいないが、住んでみたい →問 18-1,2 へ
3 住んでいないし、住みたくない →問 19 へ	

問 18-1) 住んでみて良かった点、または、住んでみたい理由は何ですか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1 鉄道やバスが利用しやすい	2 日常的な買い物に便利
3 病院や診療所など医療機関が近い	4 公共施設が利用しやすい
5 通勤・通学先に近い	6 自動車を使わずに生活できる
7 街並み景観が整っている	
8 その他（具体的に_____）	

問 18-2) 中心市街地に住んでいる、または、住む場合に希望する住宅の種類は何ですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1 民間の分譲マンション	2 民間の賃貸マンション・アパート	
3 持ち家の一戸建て	4 借家の一戸建て	5 公営住宅
6 その他（具体的に_____）		

5 「個別のまちづくり課題」について、うかがいます。

◆ごみの減量について

問 19) 小牧市は、ごみを減量するために、資源・ごみの分別収集を実施しています。今後さらにごみの減量を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1 子どもから大人まで多くの市民がごみの問題を学習できるような機会を増やす
2 ごみの減量に関する情報の提供を充実させる（ホームページ、広報等）
3 生ごみ処理機購入補助などによる生ごみの堆肥化の取組を広める
4 資源を出せる場所（資源回収ステーション等）を増やす
5 資源の分別種類を増やす
6 その他（具体的に_____）

◆環境について

問 20) 温室効果ガスの排出量の増加などにより引き起こされている地球温暖化への対策が求められていますが、小牧市が地球温暖化防止に配慮した行動を普及させるために、さらにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1 家庭や学校、地域などで、地球温暖化防止について学ぶ機会をつくる
2 ケルビズ・ウォームビズや自転車・公共交通機関を利用するなどの実践運動を積極的に展開する
3 省エネの効果や必要性について広報活動を充実させる
4 太陽光発電システムなど再生可能エネルギーの活用に対して補助などを行って支援する
5 その他（具体的に_____）

◆景観について

問 21) 良好な都市景観づくりには、どのような取り組みが必要だと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 山や丘陵、水辺などの自然景観を残す |
| 2 | 建物の高さや立地を規制し、山なみなどの眺望を確保する |
| 3 | 看板や広告塔等の屋外広告物を規制し、道路沿いの景観をきれいにする |
| 4 | 古い街並みなど特色ある地域・建物を指定し、保全再生をしていく |
| 5 | 敷地内の緑の保護や生垣などの身近な緑を増やす |
| 6 | その他（具体的に_____） |

◆子育て支援について

問 22) 日常の子育てを楽しく、安心して行うために、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- | | | | |
|----|-----------------|---|----------------------|
| 1 | 子育てについての講座 | 2 | 子どもの発育や幼児教育のプログラムの提供 |
| 3 | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 4 | 子どもの病気や障害についての相談 |
| 5 | 子育て中の親同士の仲間づくり | 6 | 父親向けの育児講座など |
| 7 | 親の不安や悩みの相談 | 8 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 9 | 行政による子育て情報の提供 | | |
| 10 | その他（具体的に_____） | | |

◆高齢社会の対策について

問 23) 本格的な高齢社会の到来に向けて、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 高齢者が働く場を拓げる |
| 2 | 高齢者が生きがいを持てるような社会参加（生涯学習、ボランティアなど）の機会を提供する |
| 3 | 地域の人たちが互いに支えあえる仕組みづくりを進める |
| 4 | 健康相談や健康づくりをする機会を充実する |
| 5 | 老人ホームなどの福祉施設や在宅介護などのサービスを充実する |
| 6 | その他（具体的に_____） |

◆生き方について

問 24) 近年、団塊の世代と呼ばれる人たちが社会の第一線を退く時期を迎えています。あなたが第一線を退くとき、あなたならどのような生き方をしたいですか。すでに第二の人生を歩んでおられる方は今のお気持ちで、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 可能な限り、収入を得るために働く
- 2 健康に気をつけ、自分の趣味を楽しみながら生きていく
- 3 自分の住んでいる地域のためになんらかの役割を担いながら生きていく
- 4 今まで地域や職場で培ってきた能力や特技を活かしながら生きていく
- 5 その他（具体的に_____）

◆教育について

問 25) 子どもたちの豊かな心と自立性をはぐくむため、小牧市はどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- 1 温かい家庭づくりなどの家庭教育の推進
- 2 不登校生徒への適応指導の充実
- 3 少人数学習による授業の充実
- 4 学校・地域・警察などの連携による非行防止
- 5 地域と連携した学校づくり
- 6 その他（具体的に_____）

◆外国人との共生について

問 26) 外国人との共生を進める上で、地域、企業や市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- 1 日頃から外国人も含めた地域住民の交流に努める（挨拶など）
- 2 外国人も地域活動に参加しやすいよう考慮する（文化祭、体育祭、防災訓練、清掃など）
- 3 多文化共生^{注4)}を進める市民団体を育成する
- 4 外国人に日本語や日本の生活についての学習機会を提供する
- 5 多言語による情報提供に努める
- 6 外国人の考え方、生活実態を日本人市民が理解する場や機会を提供する
- 7 外国人と交流できるイベント等の機会を増やす
- 8 その他（具体的に_____）

注 4) 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

◆産業について

問 27) まちの活力維持・創造の観点から、市の産業を振興し、活性化させるために何が必要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 先端産業や成長産業などの誘致による市の強みや特性を活かした産業の集積・形成 |
| 2 | 市内企業の操業継続・事業拡大などの支援や起業の支援などによる産業の育成・強化 |
| 3 | 地域ブランド ^{注5)} の創造やコミュニティビジネス ^{注6)} の促進などによる地域資源を活かした産業の創出 |
| 4 | 市外からの来訪者を呼び込み、交流人口 ^{注7)} を増やすような観光の振興 |
| 5 | 魅力ある商品や宅配などの地域に密着したサービスを提供するような商業の活性化 |
| 6 | 地産地消の推進や第六次産業 ^{注8)} などの推進による農業の振興 |
| 7 | その他（具体的に_____） |

注5) 地域の自然・歴史などに関連した商品・サービスのブランド化を通じ、地域の活性化につなげようとする取組のこと。

注6) 市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生をとおして、その活動の利益を地域に還元する事業のこと。

注7) その地域を訪れる人のこと。

注8) 農業などの第一次産業が食品加工や流通販売にも業務展開している経営形態のこと。

◆行政改革について

問 28) あなたは、今後小牧市にどのような行政改革を求めますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

- | | | | |
|----|----------------------------------|----|----------------------------------|
| 1 | 職員の意識改革、資質の向上 | 2 | 市民参画・協働 ^{注9)} のまちづくりの推進 |
| 3 | 行政事務の効率化 | 4 | 公共事業や行政サービスの見直し |
| 5 | 民間活力の導入（民営化・民間委託等） | 6 | 積極的で分かりやすい情報開示 |
| 7 | 行政サービスの受益者負担 ^{注10)} の徹底 | 8 | 補助金の削減・見直し |
| 9 | 広域行政の推進 | 10 | 組織の機動性の向上 |
| 11 | その他（具体的に_____） | | |

注9) さまざまな主体がお互いの立場や特性を認め合い、協力して活動すること。

注10) 行政サービスを直接享受する人の負担のこと。例：水道料金、巡回バス利用料

6 「市民参画・協働のまちづくり」について、うかがいます。

問 29) 市民参画・協働について、どのようにお考えですか。以下の①～④のすべての項目について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び○をつけてください。

項 目	そう 思う	やや そう 思う	あまり 思わ ない	そう 思わ ない
回答例 ③地域活動や市民活動に参加したい		○		
①小牧市のまちづくりに関心がある				
②小牧市は情報公開が十分に行われている				
③地域活動や市民活動に参加したい				
④これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要だ				

問 30) 市民の意見を十分に反映した市政を行っていくために、何が重要だと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1 情報公開制度の充実 2 政策づくりの過程からの情報発信や意見募集 3 政策づくりに関わる各種委員の公募の拡大 4 各種会議を市民が傍聴できる機会の充実 5 アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実 6 実施した政策の評価を市民参画で行うための機会の充実 7 市民が政策の提案を行える機会の充実 8 その他（具体的に_____）
--

問 31) あなたの住んでいる地域では、地域活動は盛んだと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1 非常に盛んに行われていると思う 2 ある程度盛んに行われていると思う 3 あまり盛んに行われていないと思う 4 ほとんど行われていないと思う 5 分からない
--

問 32) あなたは自分の持つ知識や経験、あるいは時間的なゆとりを活かして公共サービスの提供に協力してもいいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1 思う	2 思わない
------	--------

問 33) あなたは、今後、条件が合えばどのような活動に参加したいと思いますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- 1 お年寄りのお世話などの地域の福祉活動
- 2 青少年を健やかに育てるための活動
- 3 子育て支援活動
- 4 ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動
- 5 道路や公園などの地域清掃活動
- 6 まちに緑や花を増やす美化活動
- 7 防災訓練などの防災活動
- 8 子どもの見守りや夜間の見回りなどの防犯活動
- 9 文化や歴史などのボランティア活動
- 10 地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事
- 11 その他（具体的に_____）

問 34) 現在のあなたの市民活動や地域活動などへの参加状況について、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---|----------|
| 1 既に参加している | → | 問 34-1 へ |
| 2 参加しようと思っている | | |
| 3 あまり参加しようとは思わない | → | 問 34-2 へ |
| 4 参加しようとは思わない | | |

問 34-1) 参加している、または、参加しようと思っている活動は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- 1 お年寄りのお世話などの地域の福祉活動
- 2 青少年を健やかに育てるための活動
- 3 子育て支援活動
- 4 ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動
- 5 道路や公園などの地域清掃活動
- 6 まちに緑や花を増やす美化活動
- 7 防災訓練などの防災活動
- 8 子どもの見守りや夜間の見回りなどの防犯活動
- 9 文化や歴史などのボランティア活動
- 10 地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの行事
- 11 その他（具体的に_____）

→問 35 へ

問 34-2) 活動に参加しようとは思わない理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 市民活動や地域活動に関心はあるが、時間に余裕がない
- 2 市民活動や地域活動に関心はあるが、関わり方がわからない
- 3 市民活動や地域活動に関心はあるが、気軽に参加できる場がない
- 4 市民活動や地域活動は、好きな人がやればよい
- 5 市民活動や地域活動に関心がない
- 6 まちづくりは行政がやるもので、市民活動等は活発でなくてもよい
- 7 その他（具体的に_____）

7 「行政サービス」について、うかがいます。

問 35) 市民の窓口サービスの利便性向上のためには、どのような対応策が必要だと思えますか。あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- 1 庁舎内窓口の一元化を進め、関連のあるサービスを一箇所で受けられるようにする
- 2 休日や時間外のサービスを充実する
- 3 各支所で受けられるサービスを充実する
- 4 コンビニエンスストアで各種証明書等の交付などができるようにする
- 5 電子サービスを充実し、自宅で各種手続きができるようにする
- 6 その他（具体的に_____）

問 36) 行政サービスと市民負担のバランスをどのように考えますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 行政サービスの充実のために、住民全体の負担が増えるのは仕方がない
- 2 受益者負担を増やすべきで、住民全体の負担を増やすべきではない
- 3 負担が増えるのであれば、行政サービスの充実をある程度見合わせることは仕方がない
- 4 行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき
- 5 その他（具体的に_____）

最後に、小牧市の施策や事業、提供している行政サービス、地域の課題など、市政全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。
ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れ、
8月6日（月）までに郵便ポストに投函してください。

—まちづくりに関する市民意向調査結果 報告書—

平成 25 年 1 月

編集・発行：小牧市市長公室市政戦略課

〒485-8650

愛知県小牧市堀の内三丁目 1 番地

TEL 0568-76-1105

FAX 0568-75-5714

E-mail shisei@city.komaki.lg.jp